

環境に関するアンケート調査
(平成 22 年度)

環境に関するアンケート調査

目次

調査の概要	1
Q 1. 横浜の環境の現状について	2
Q 2. 横浜の環境についてどのように感じているか	2
Q 3. 横浜の環境は10年前と比べてどのようになったと感じているか	7
Q 4. 環境に対する関心や行動について	8
Q 5. 次の環境問題や環境活動について、関心のあるもの	8
Q 6. 環境にやさしい生活をするために、実践していること	9
Q 7. 環境行動を実践するうえで難しい点、行動できない、あるいは行動しない理由	17
Q 8. 環境の保全と生活の便利さ・快適さについて	17
Q 9. 環境の保全と生活の便利さ・快適さのバランスの現在の状況	18
Q 10. 地域の環境保全活動に参加したいと思うか	18
Q 11. どのような活動や取組に参加しているか、参加したいと思うか	19
Q 12. どのような形態の活動に参加しているか、参加したいと思うか	19
Q 13. 地域の環境保全活動に参加しない・参加したいと思わない理由	20
Q 14. 家庭・地域・学校・環境活動団体・事業所等と行政との協働・連携の仕組み	20
Q 15. 環境に関する情報について、欲しいと思う情報	21
Q 16. 環境の情報を得る主な手段は何か	21
Q 17. 住まいの近くで、環境問題について困ることや気づいたこと	22
Q 18. 身近な緑を感じられる環境があるか	22
Q 19. 横浜市が住宅用雨水浸透マスの設置に、助成制度を設けていることの認知	23
Q 20. 生物多様性という言葉を知っているか	23
Q 21. 身近な動植物（園芸種、ペットを除く）に興味・関心はあるか	24
Q 22. 日常生活の中で、どういった時に自然の豊かさを感じるか	24
Q 23. 公園や森林、水辺の広場など身近な自然環境に足を運ぶ頻度	25
Q 24. 身近な動植物（園芸種、ペットを除く）は減っていると感じるか	25
Q 25. 円海山周辺等比較的多く残されている自然環境を保全していくことについて	26
Q 26. 横浜の中心部にはほとんど自然がないことについてどう考えるか	26
Q 27. 企業による自然環境や生き物に配慮した取組で特に期待すること	27
Q 28. 身近な生き物がいる環境を守るための横浜市の取組で特に必要だと思うもの	27
Q 29. 横浜市の環境に関する計画・施策等についての認知	28
Q 30. 横浜市の情報について見るもの	28
Q 31. 横浜市が現在行っている環境に関する取組について、どのように感じるか	29
Q 32. 今後、横浜市に優先的に取り組んで欲しい事項	36
Q 33. 予算が限られている中で環境に配慮した取組や行動実践のために注力すべき分野	37
居住地区	38
職業	38
性別	39
年代	39

調査の概要

1 調査目的

横浜みどり税を充当している「横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）」、「環境管理計画」改定、「生物多様性地域戦略」策定、「環境アクションプラン」の効果測定等環境関連施策全般に対する市民意識を把握することを目的とする。

2 調査地域

横浜市在住者

3 調査対象者

対象者条件：20歳以上の男女

「平成21年中の人口動態と平成22年1月1日現在の年齢別人口」より
人口構成により割付

4 有効回答数

人口構成比に基づき、性・年代別に割付け、合計1000人を目標とした。

(人)

	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	88	118	91	94	128	519
女性	78	111	85	90	139	503
合計	166	229	176	184	267	1,022

※グラフ中の地域の分けは以下の通り

地域 東部（鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区）
西部（保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区）
南部（港南区、磯子区、金沢区、栄区）
北部（港北区、緑区、青葉区、都筑区）

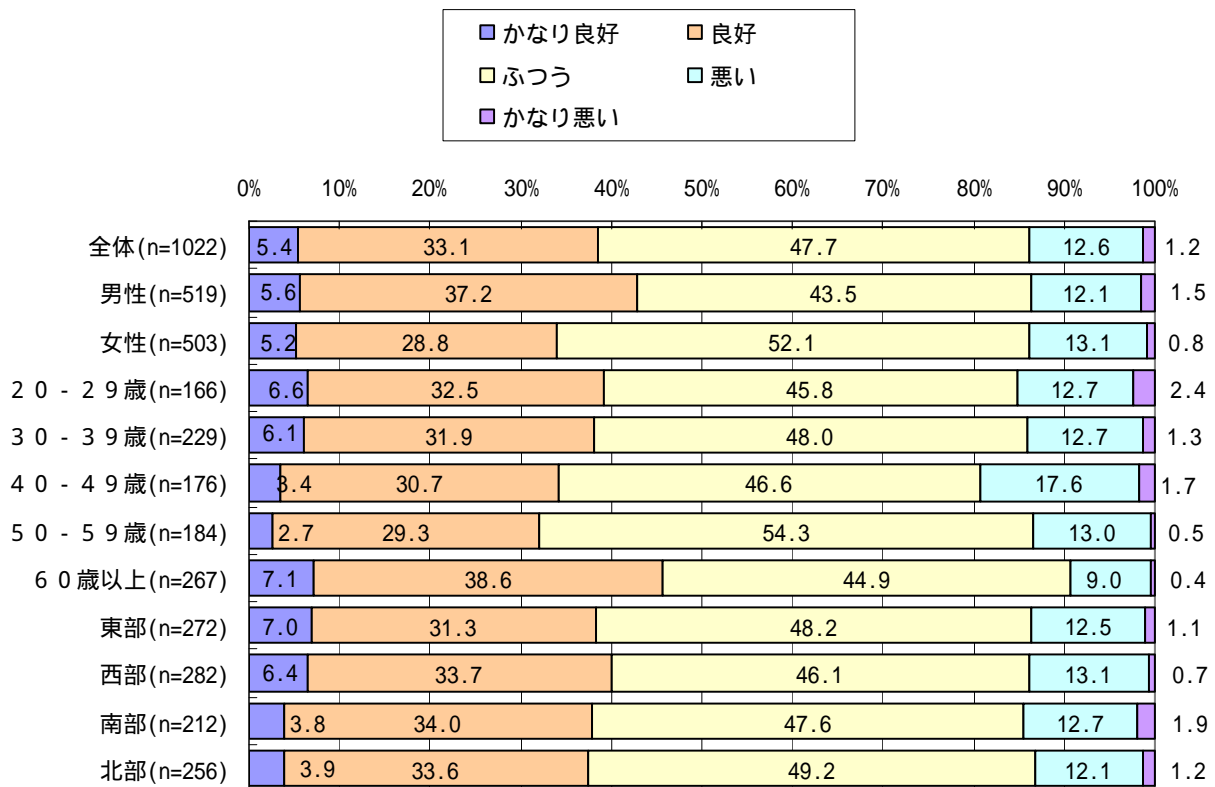
5 調査方法

インターネット調査（登録モニターによるWEB調査）

6 実施時期

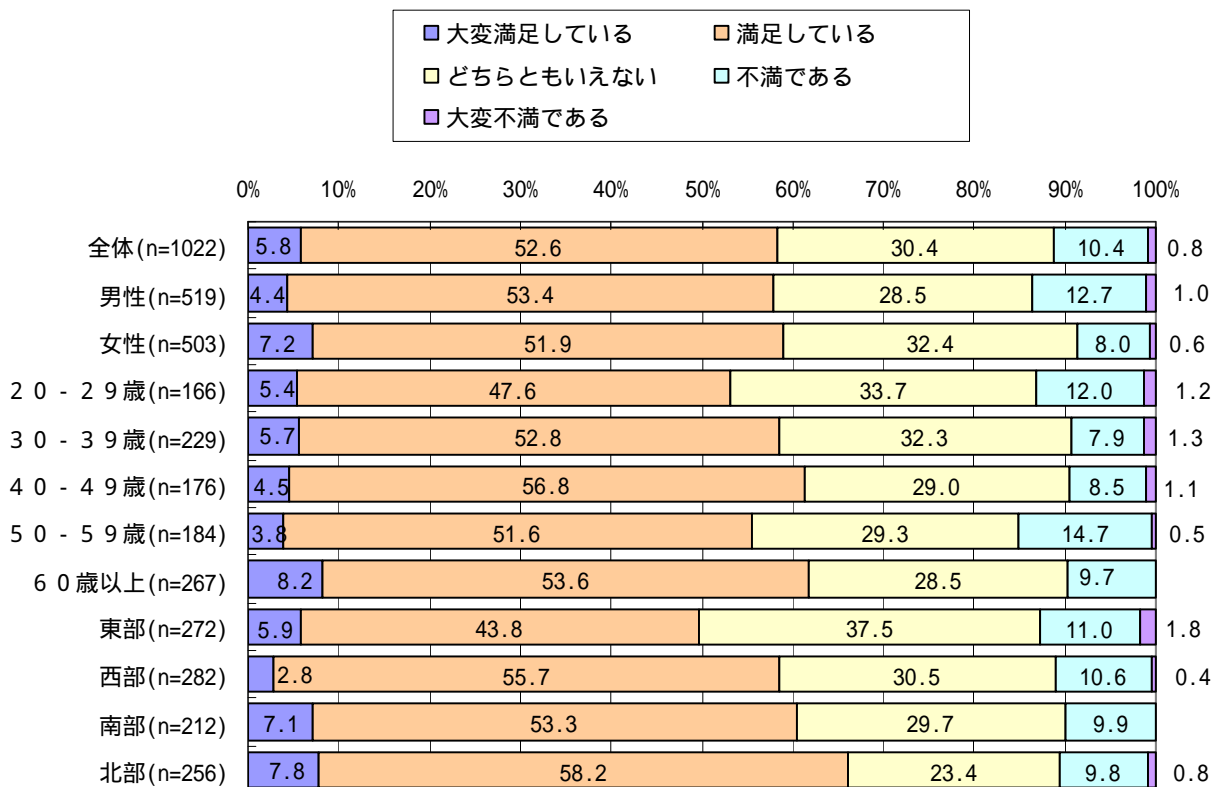
平成22年11月26日（金）～12月2日（木）

Q1. 横浜の環境の現状についてどのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選び下さい。

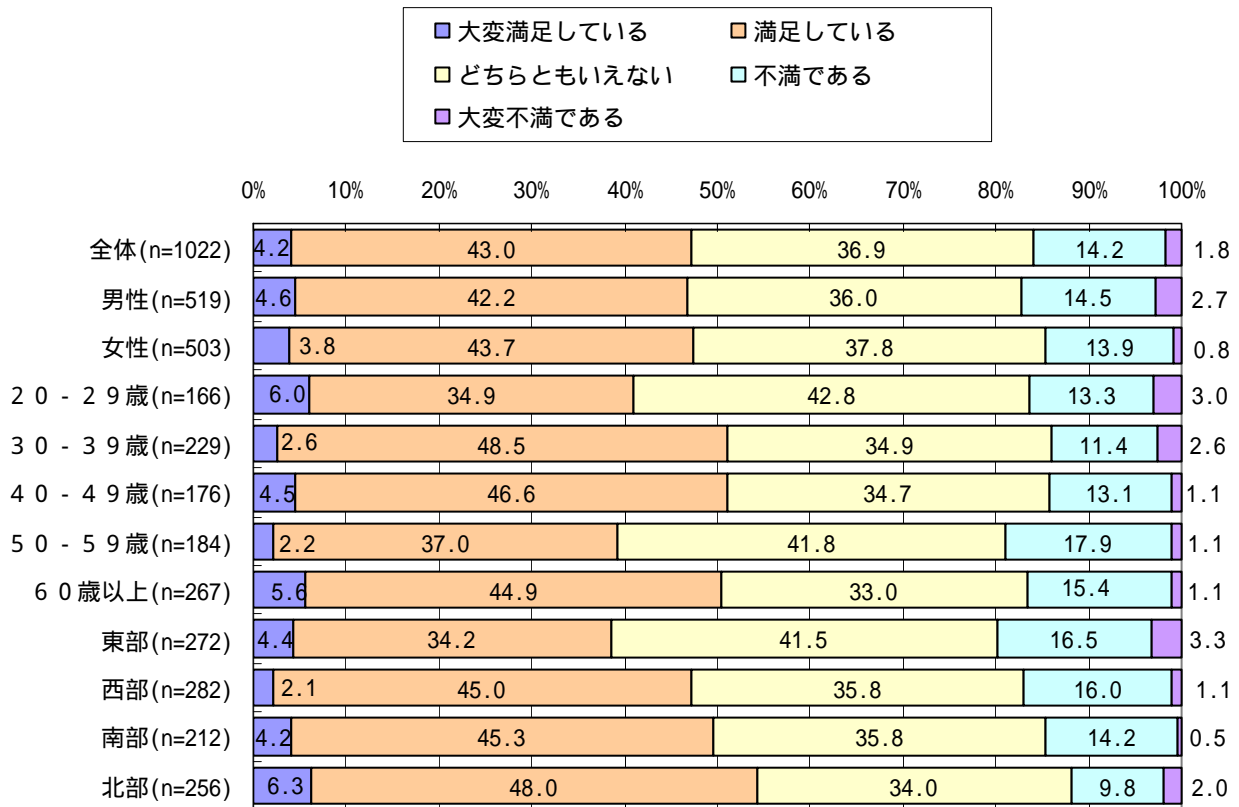


Q2. 横浜市内の、次の(1)~(10)について、どのように感じていますか。項目ごとに、最も近いものを1つお選び下さい。

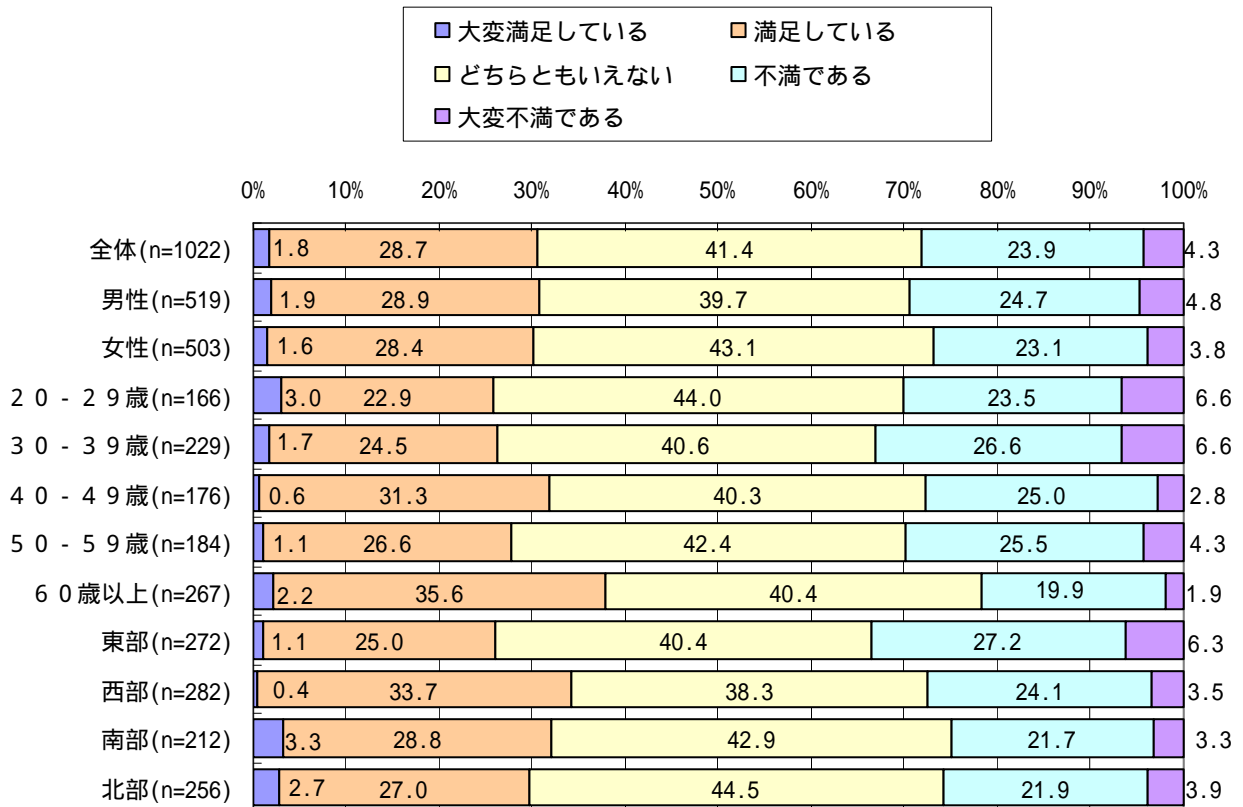
(1) 公園や街路樹などの緑



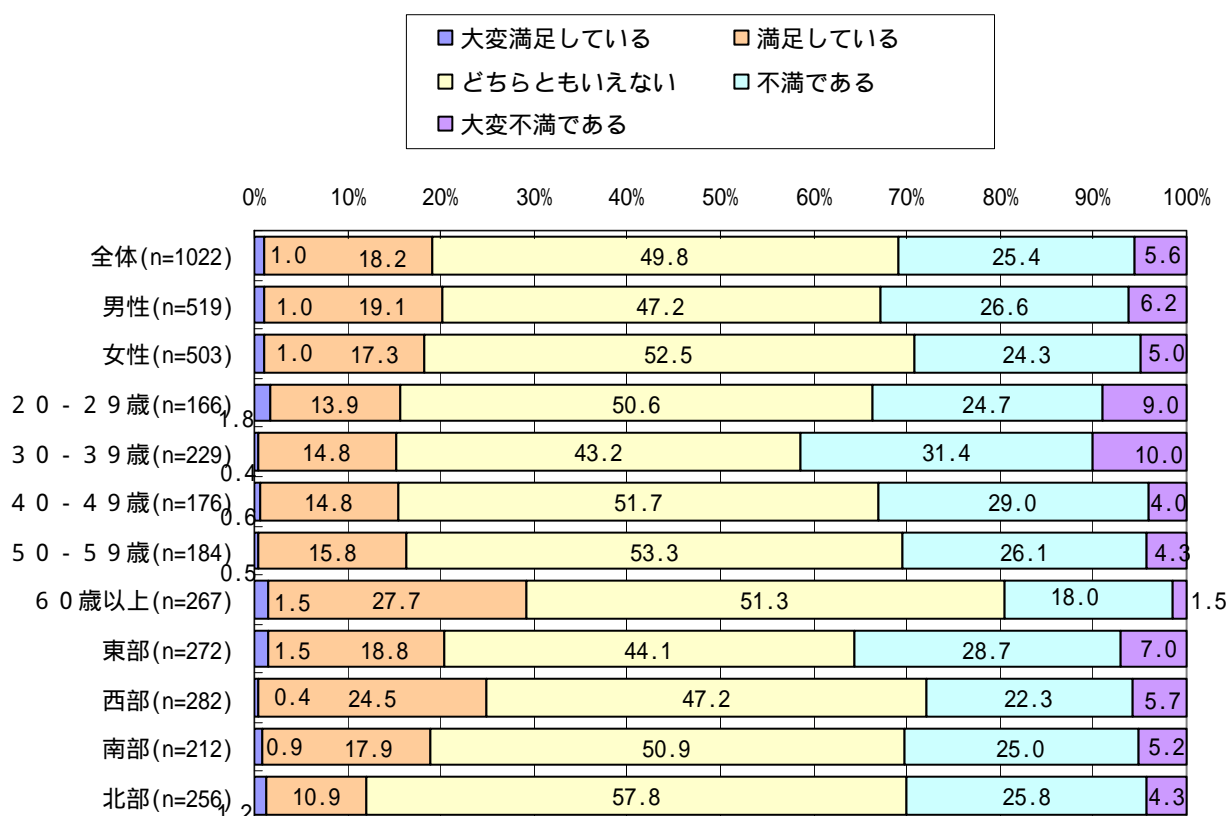
(2) 里山や森林などの緑



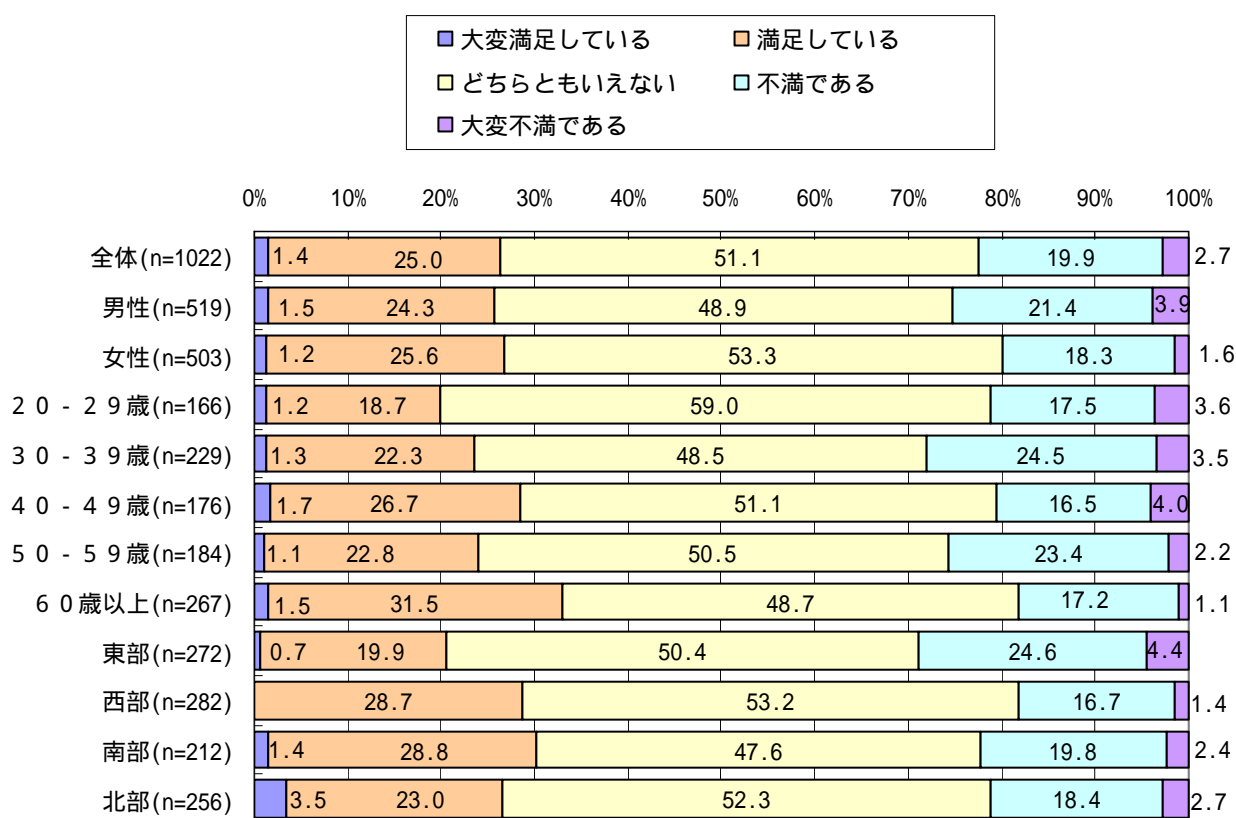
(3) 河川や池などの水辺



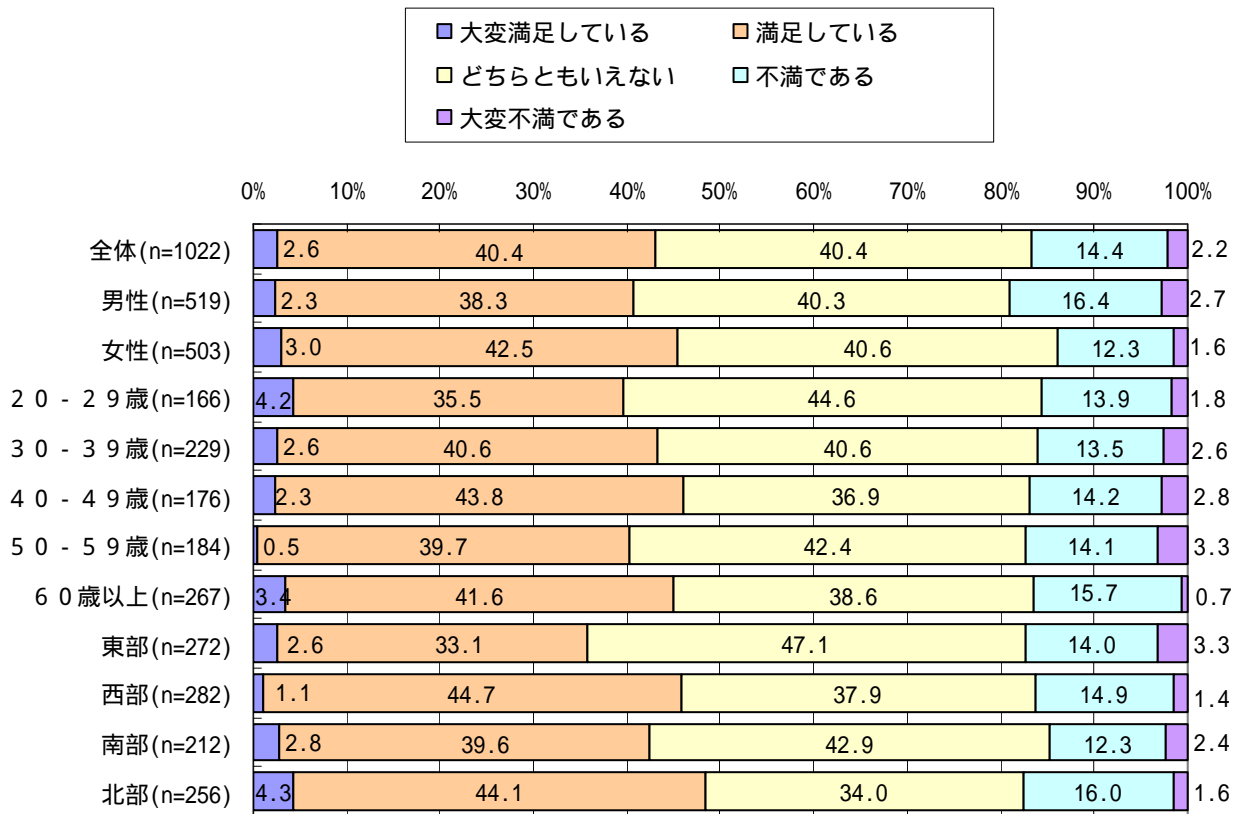
(4) 横浜港の水質の状況



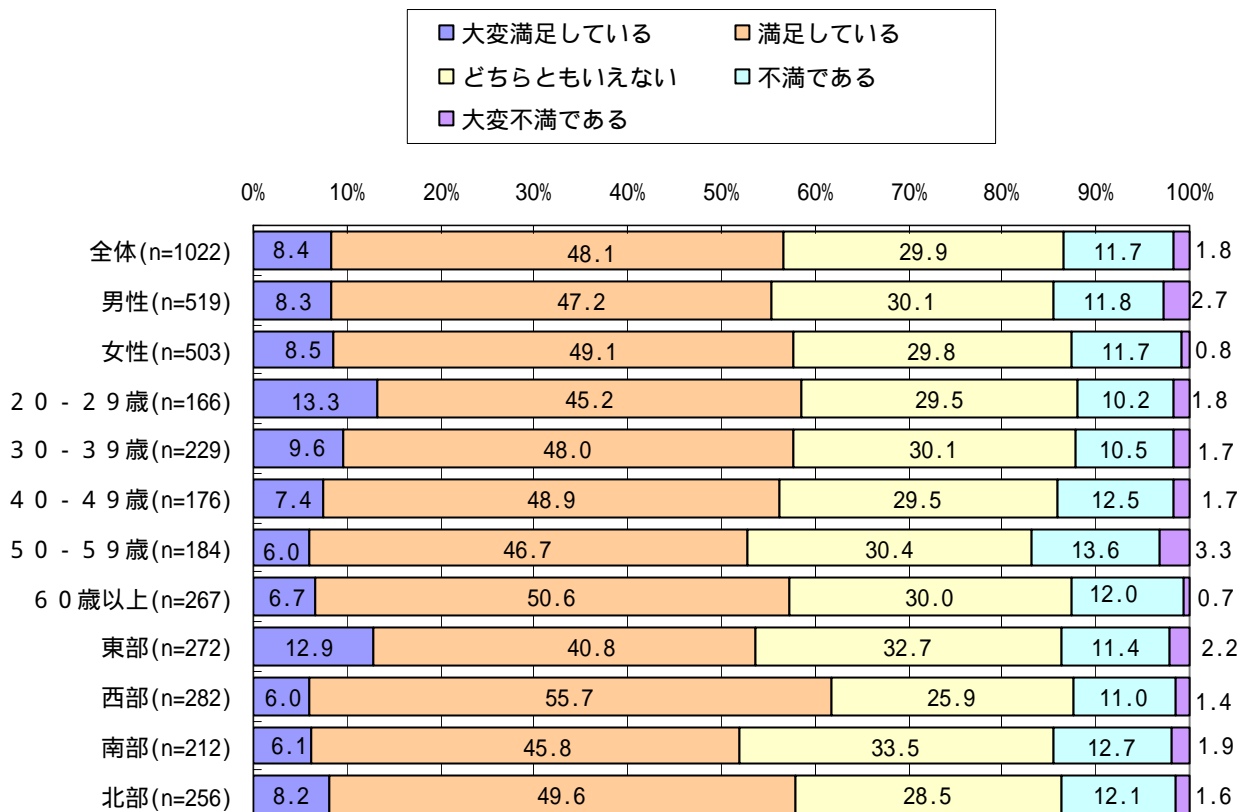
(5) 昆虫や魚、鳥などの自然の中の生き物の状況



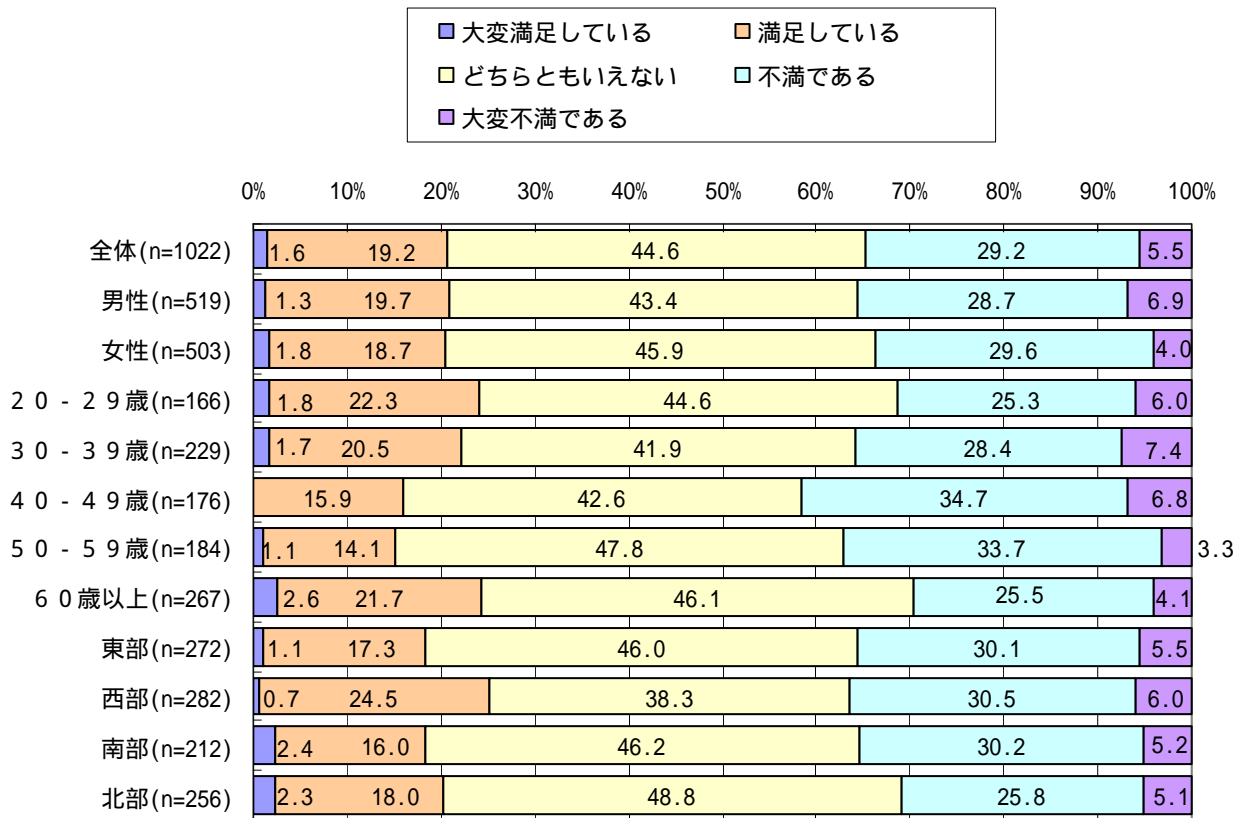
(6) 市街化と自然とのバランス



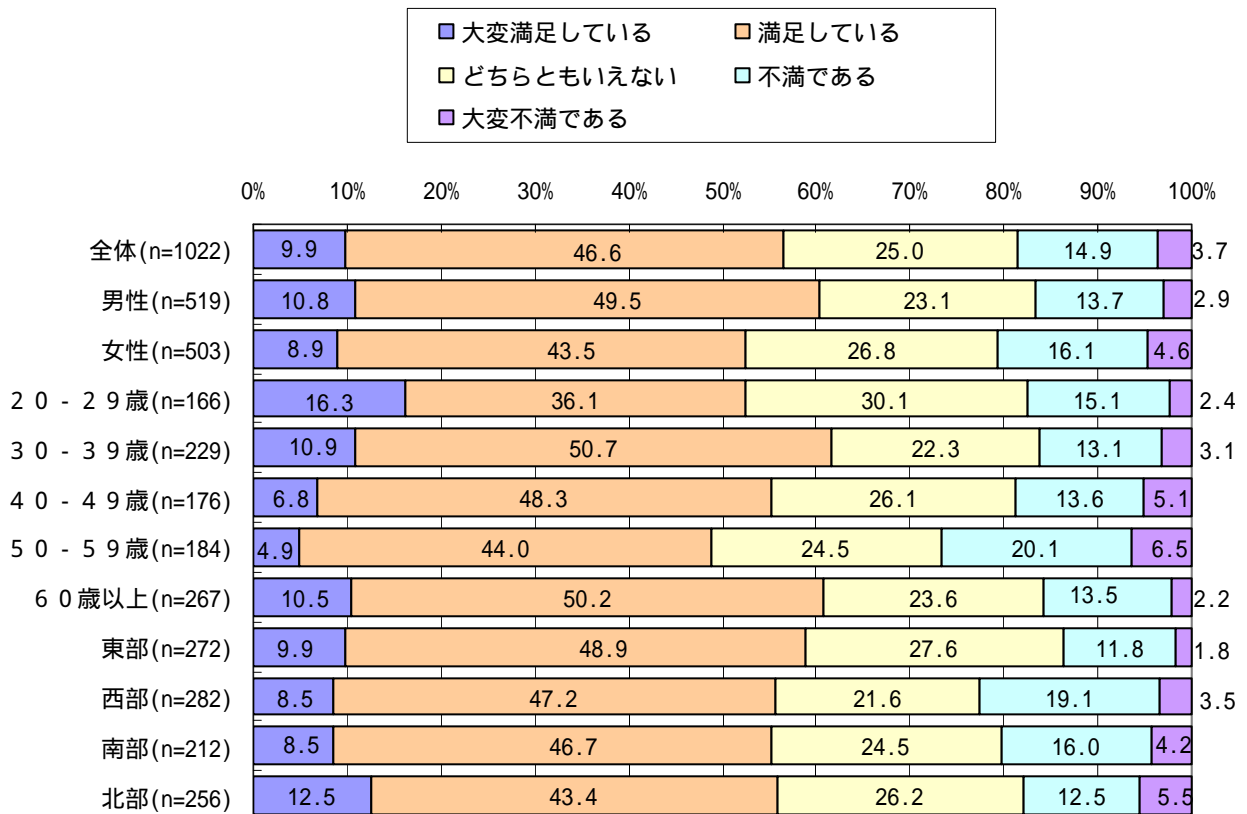
(7) 街並み、景観



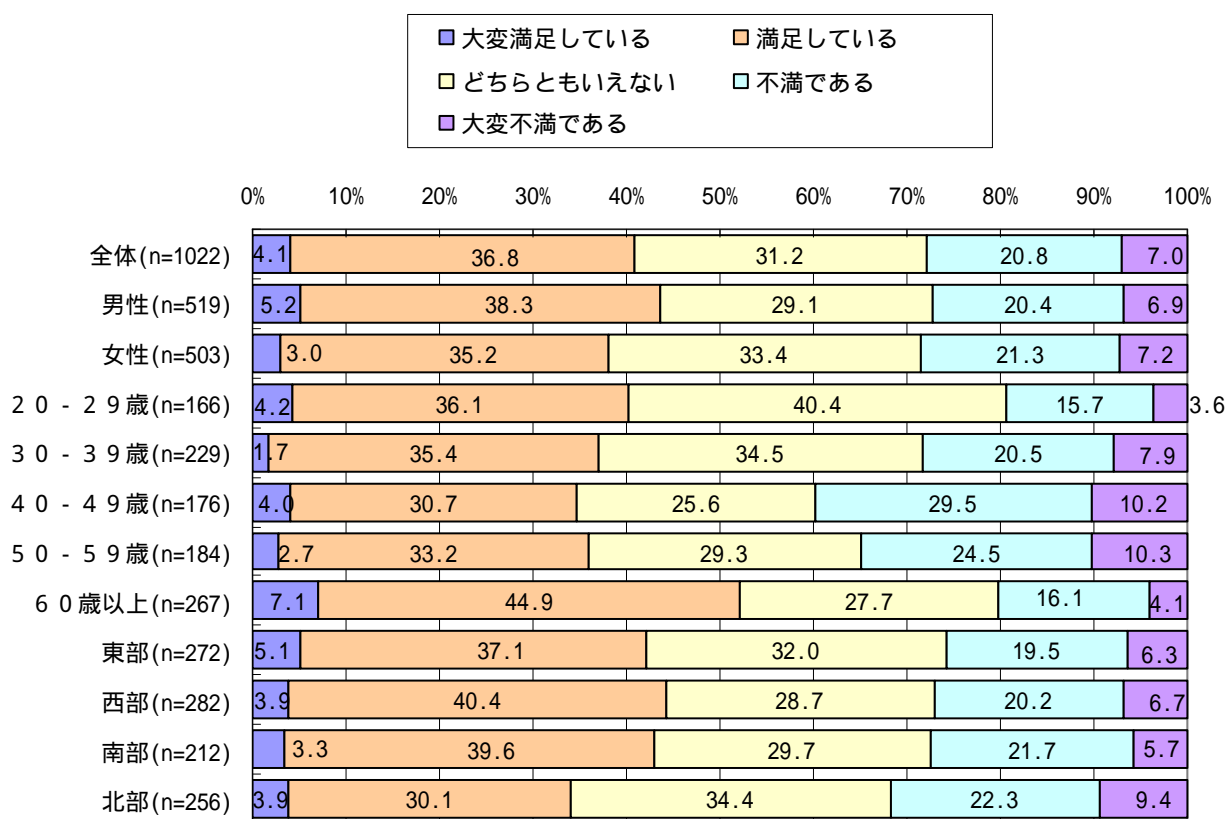
(8) 大気や騒音・振動などの状況 (生活環境の状況)



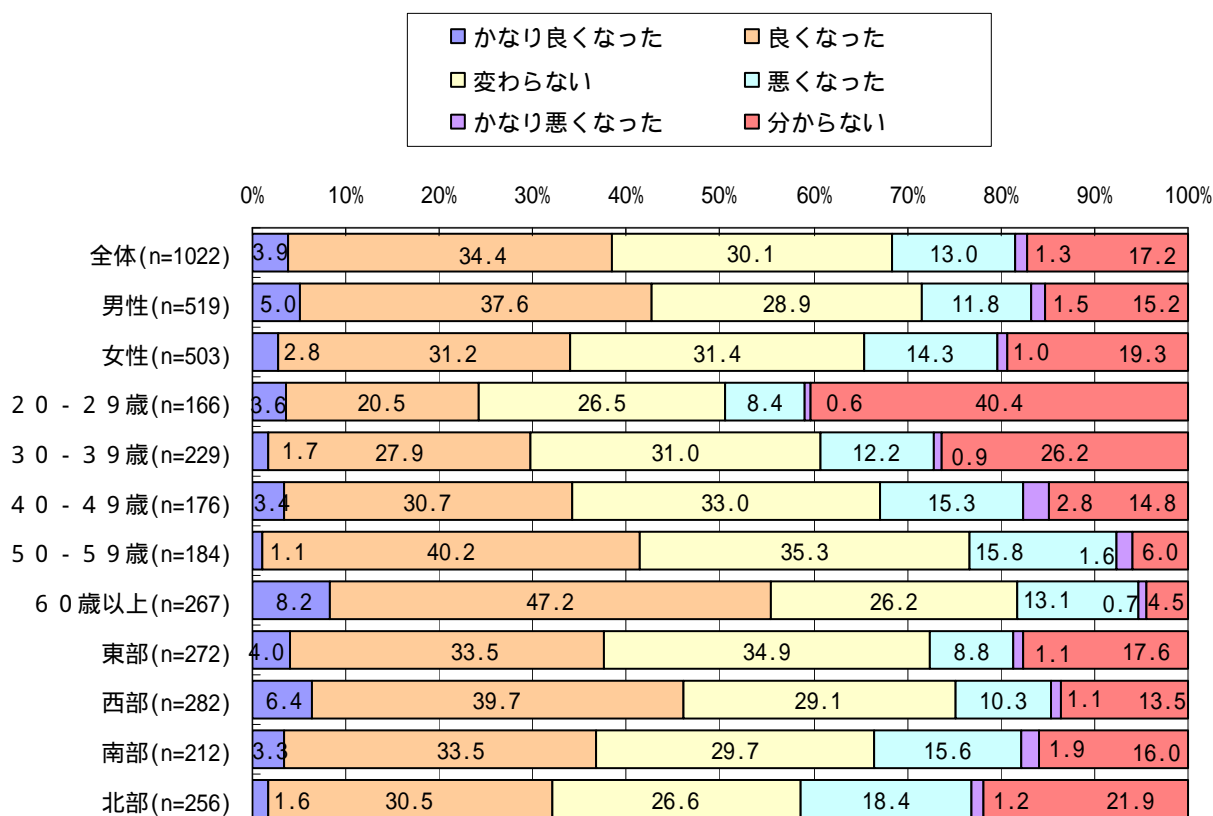
(9) 鉄道やバスなど、公共交通の使いやすさ



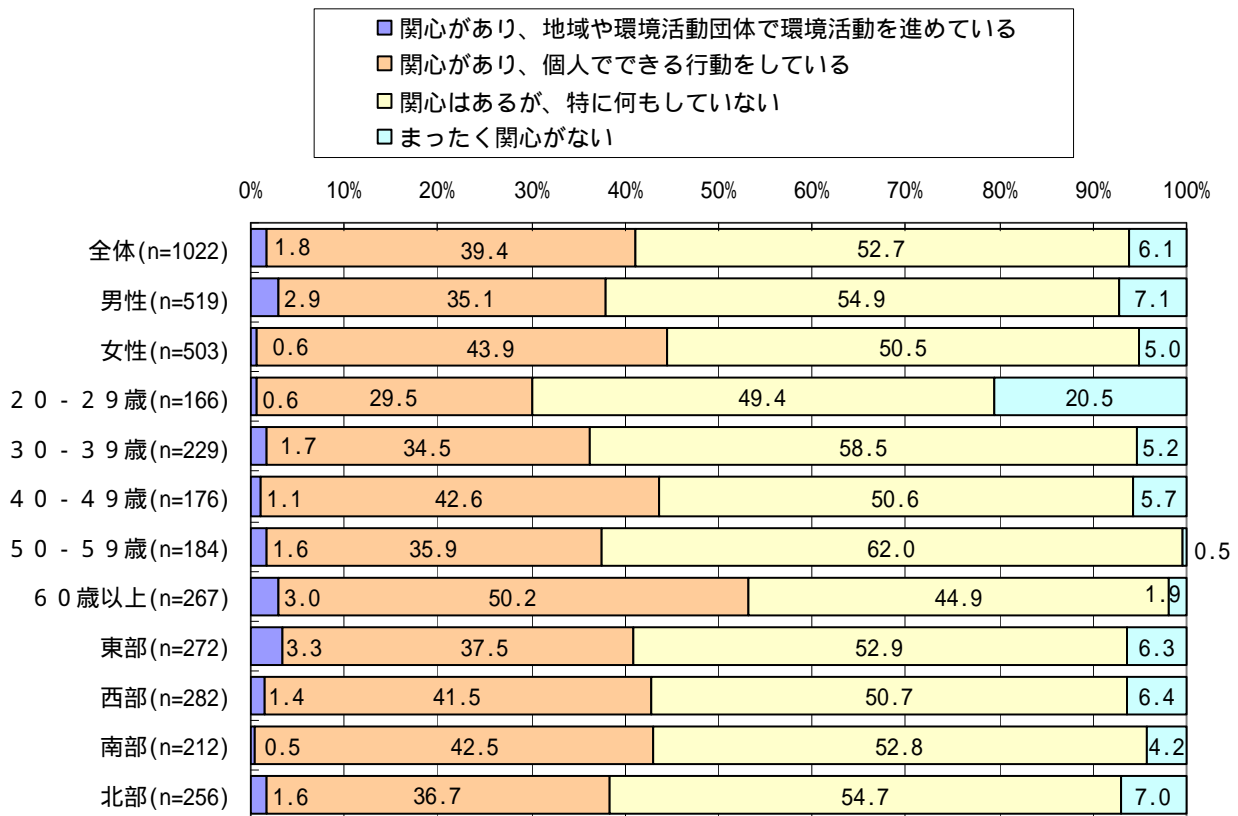
(10) ごみ処理（資源回収や分別収集など）の状況



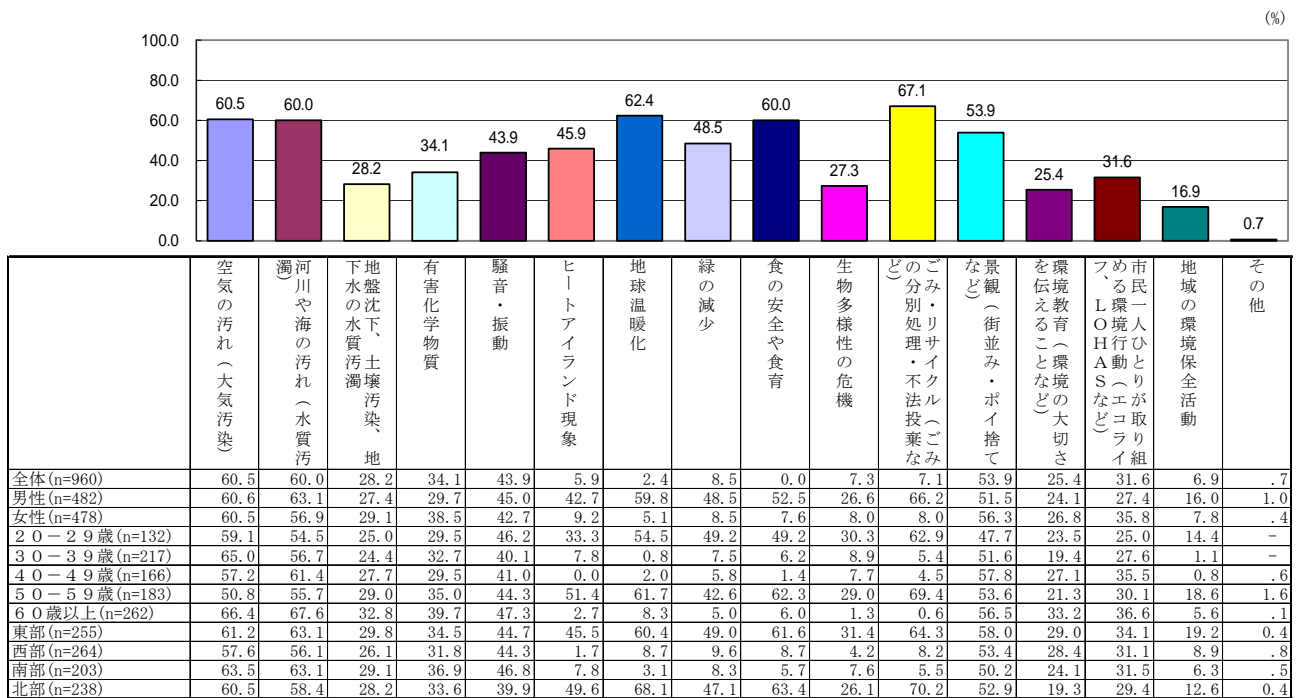
Q3. 横浜の環境は10年前と比べてどのようになったと感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選び下さい。



Q4. 環境に対する関心や行動について伺います。最も近いものを1つお選び下さい。

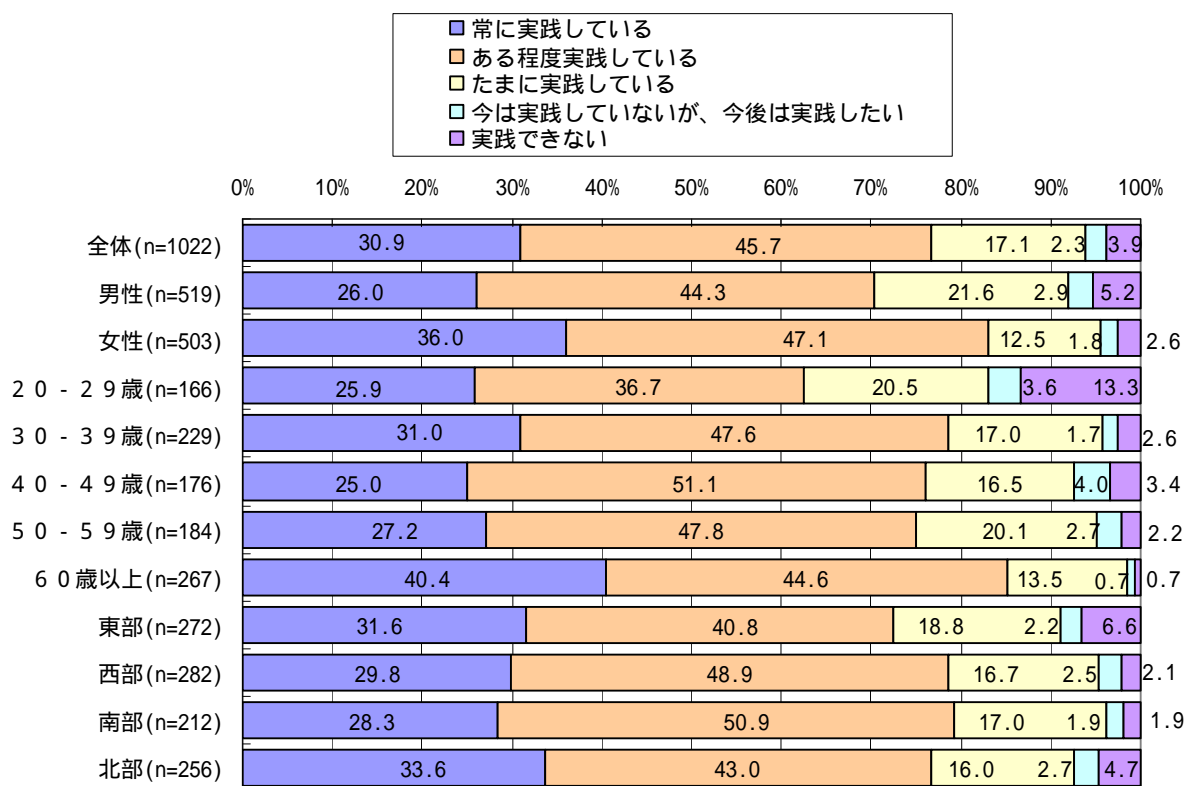


Q5. Q4 で、(1)~(3)を選んだ方に伺います。次の環境問題や環境活動について、関心のあるものすべてをお選び下さい。

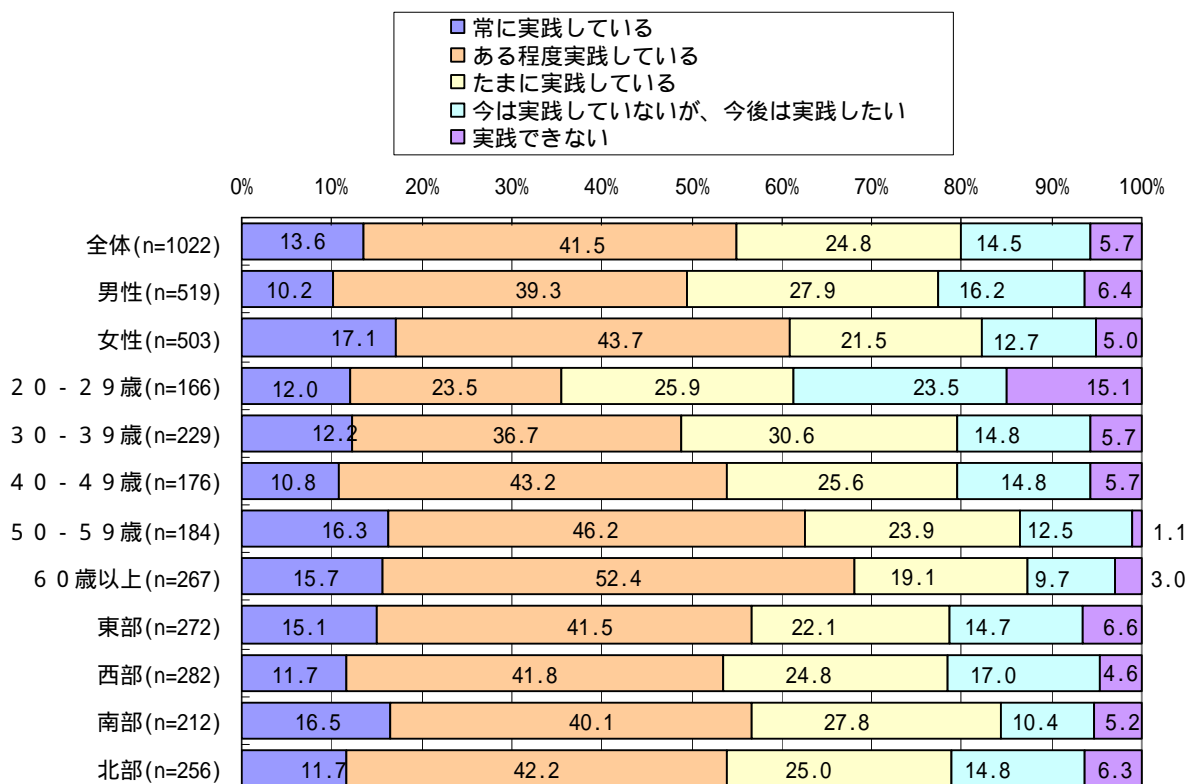


Q6. 環境にやさしい生活をするために、実践していることはありますか。項目ごとに、最も近いものを1つお選び下さい。

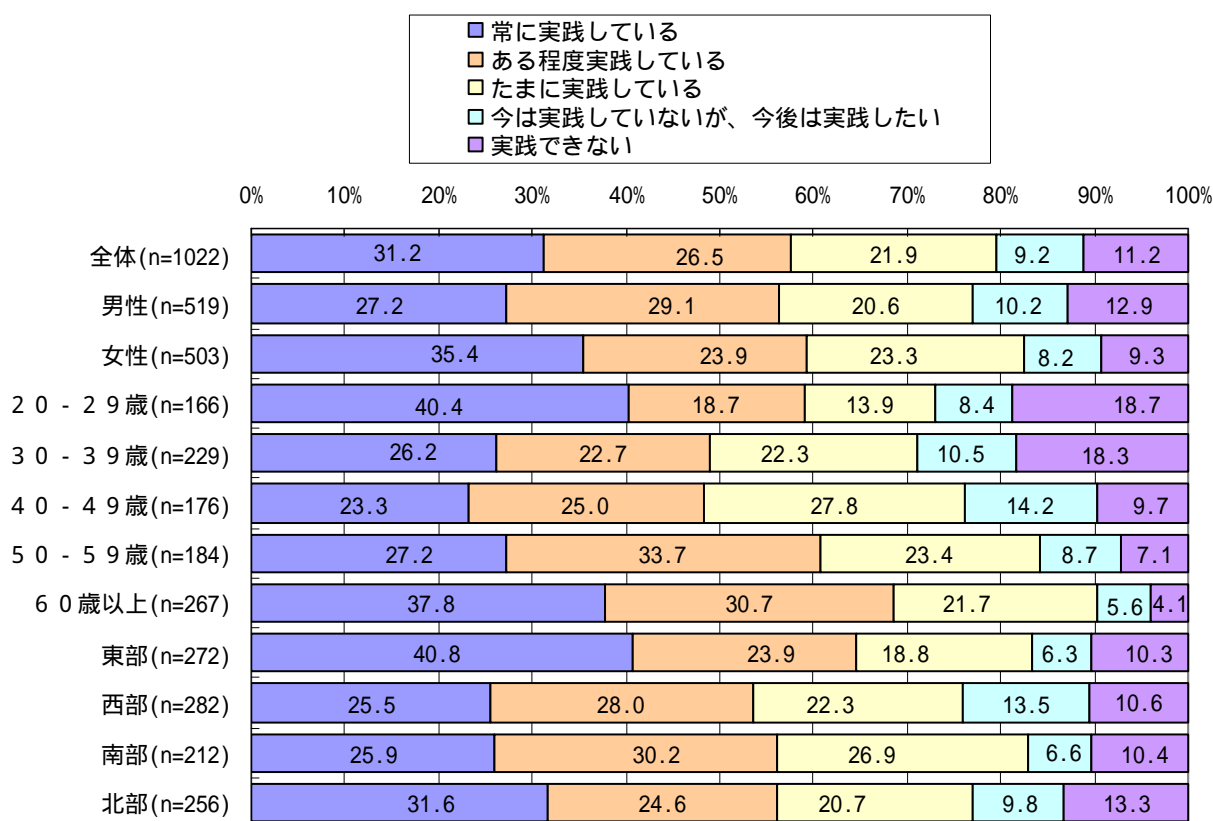
(1) 電気やガス、水のムダづかいに気をつける（こまめにコンセントを抜く、冷暖房の適切な温度設定など）



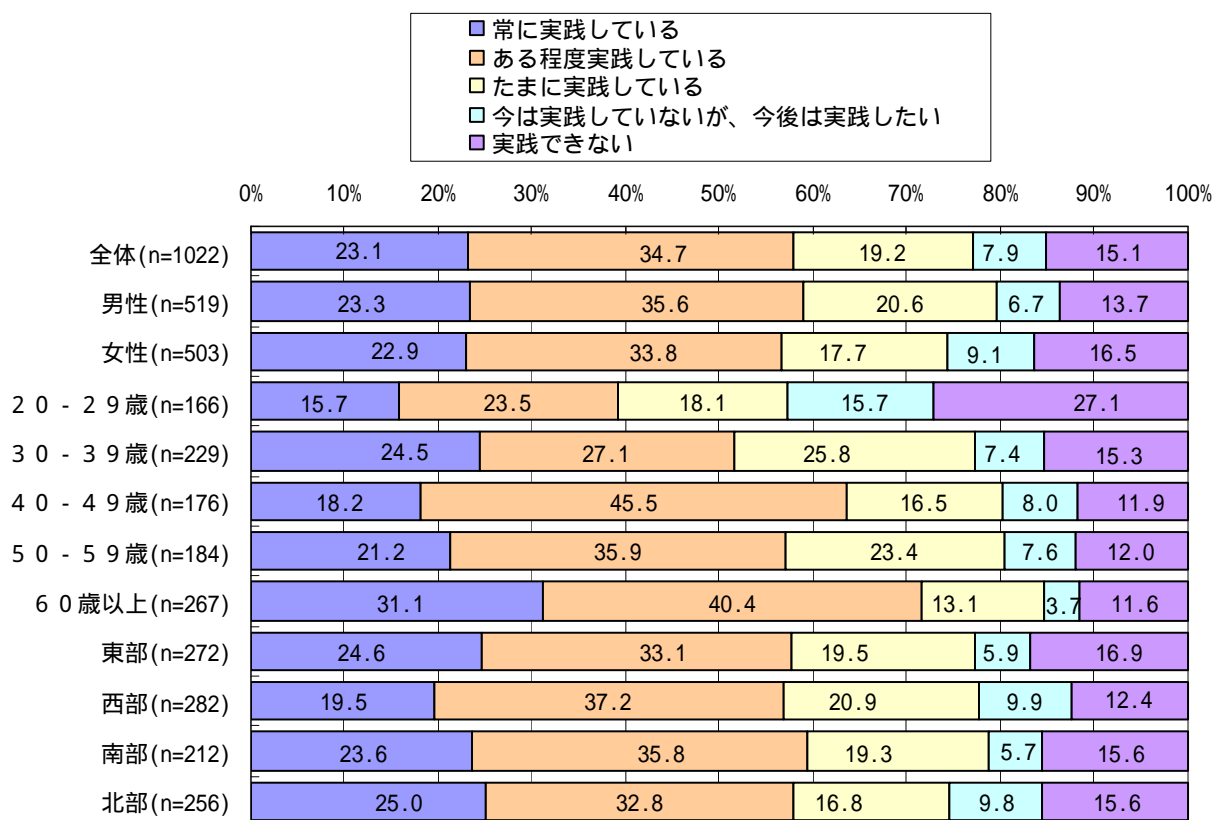
(2) エネルギー効率のよい製品等を選択して購入する（買い替え時に省エネ型製品を選択するなど）



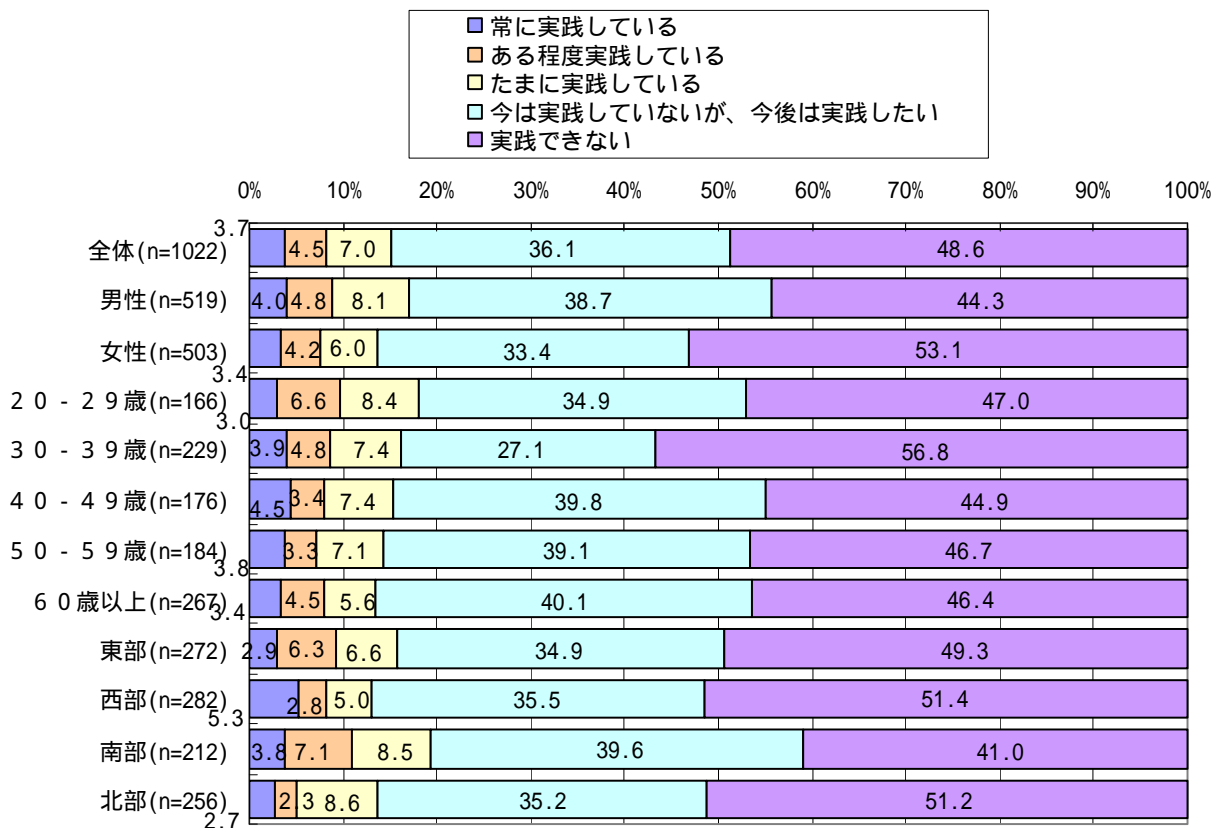
(3) 公共交通機関を利用し、なるべく自家用車の利用を控える



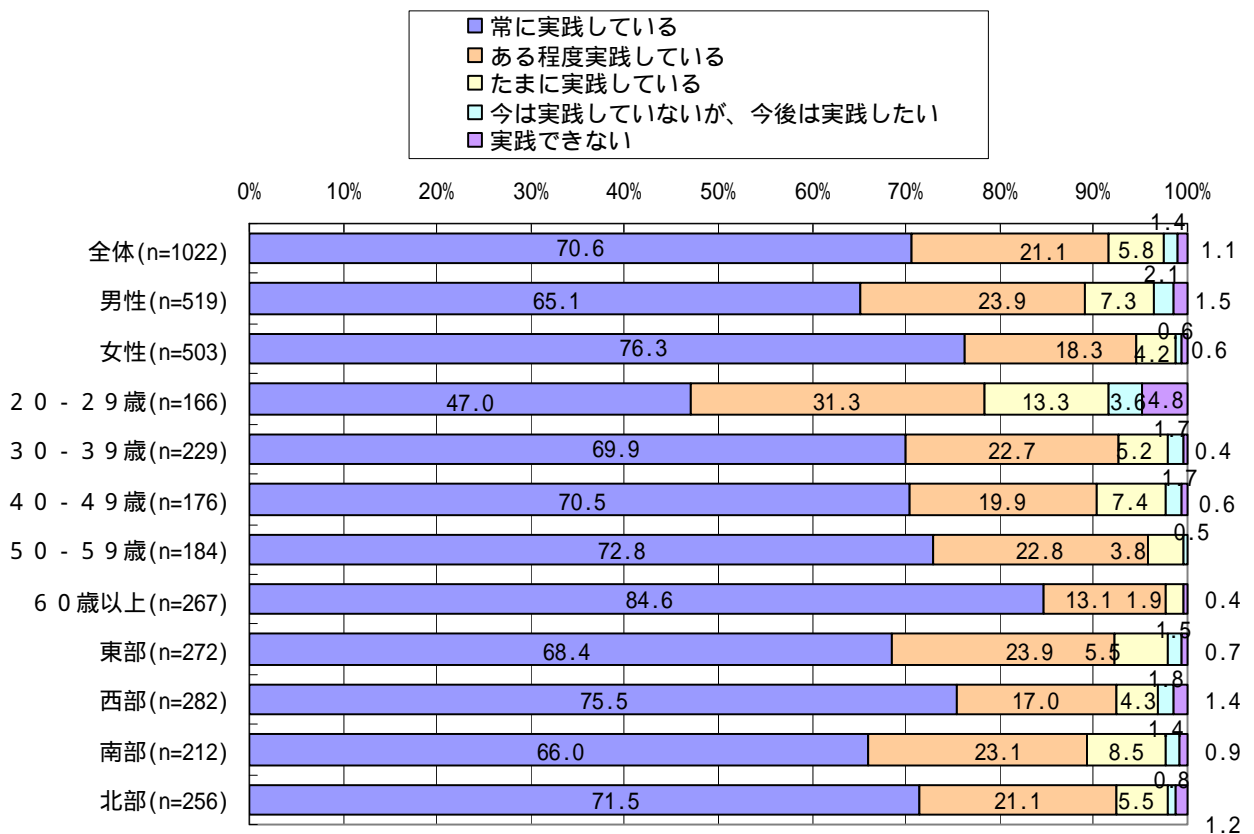
(4) 車に乗るときは、エコドライブ（急発進、急加速を避けるなど環境に配慮した運転）に気をつける



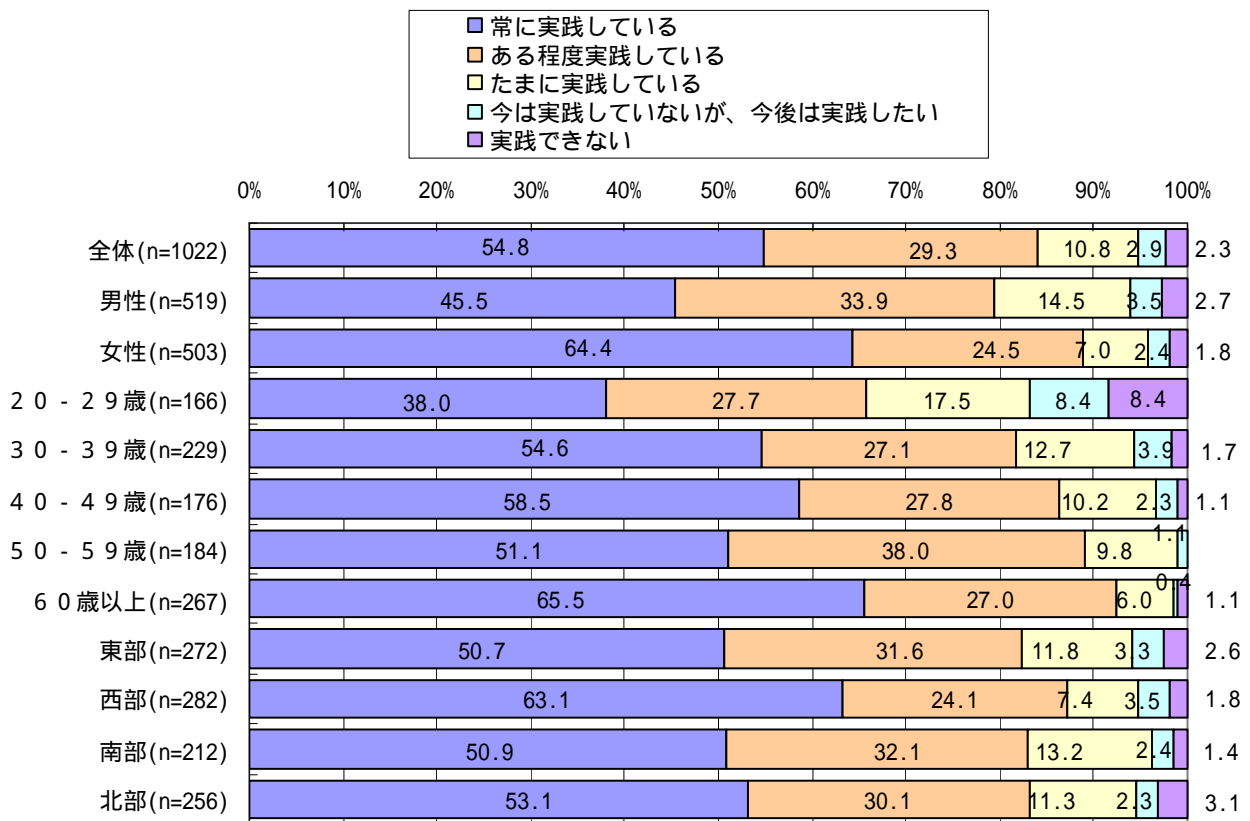
(5) 太陽熱やヒートポンプ技術を利用した給湯設備、太陽光を利用した発電設備などを自宅に設置する



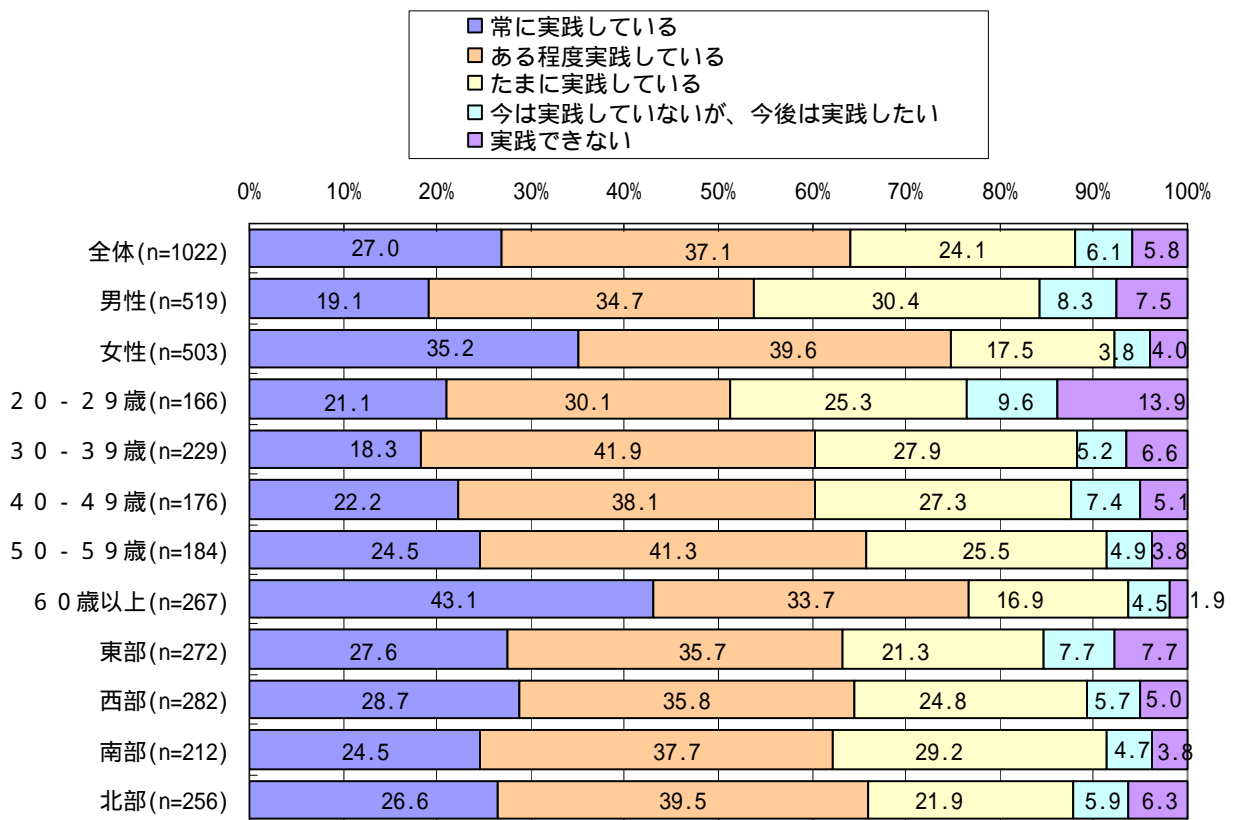
(6) ごみはルールに従い、分別して出す



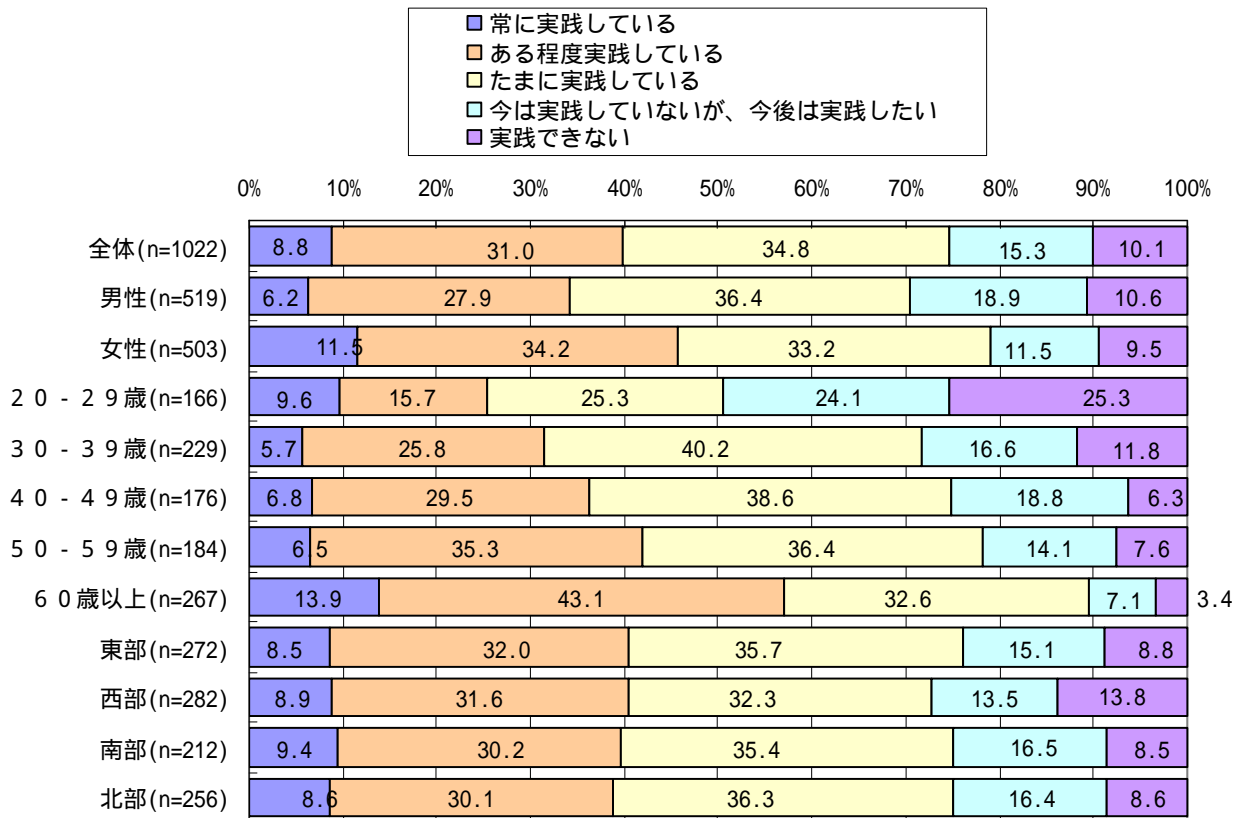
(7) 資源となるものは回収に出す



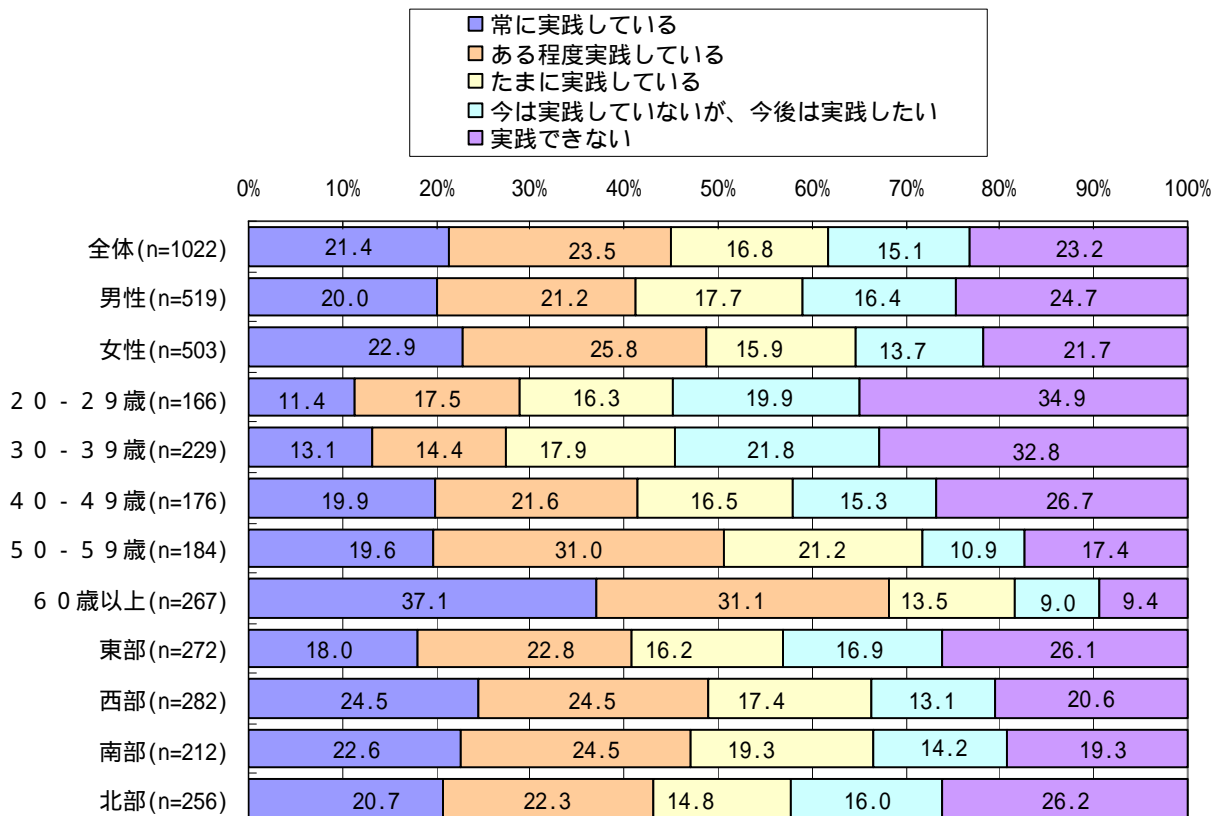
(8) 買い物では商品の過剰な包装は断っている、あるいはレジ袋をもらわない



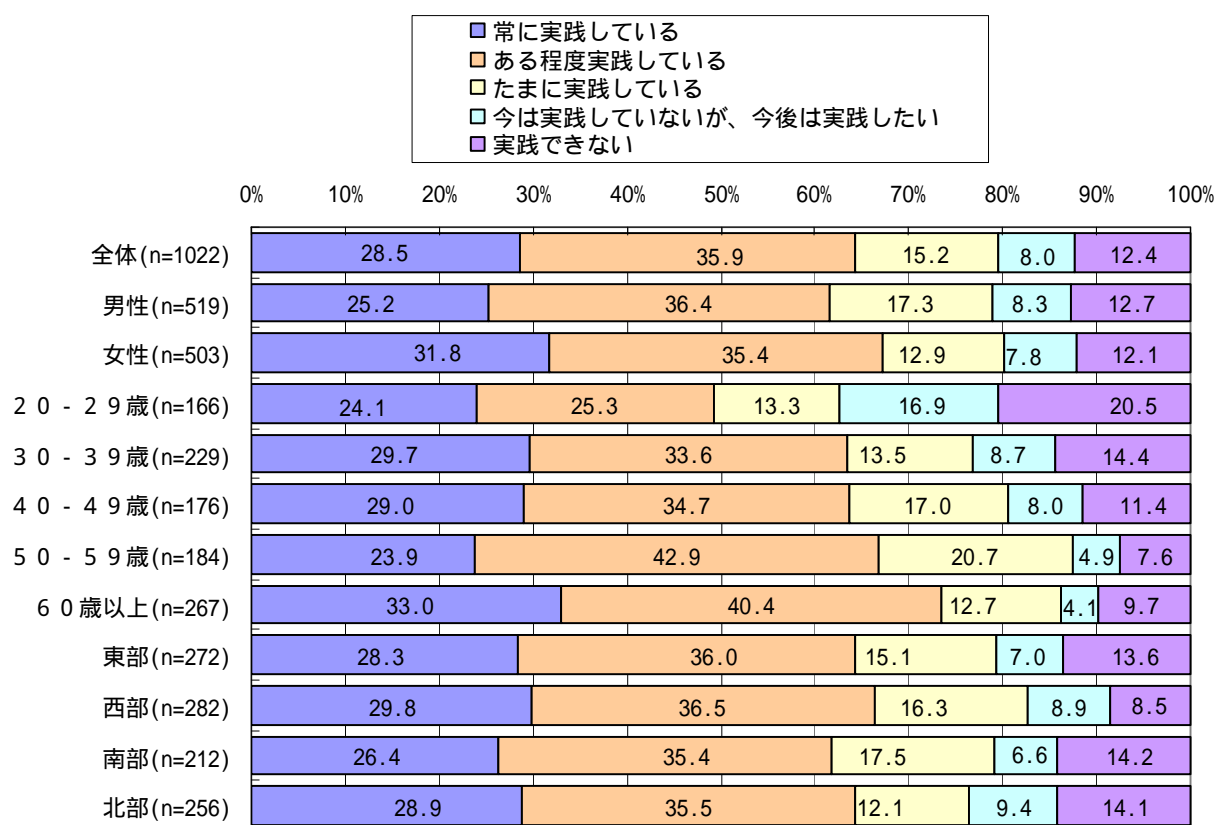
(9) 割高でもリサイクルしやすい製品など環境にやさしい商品を選んで買う（詰替え商品、再生材を用いた商品など）



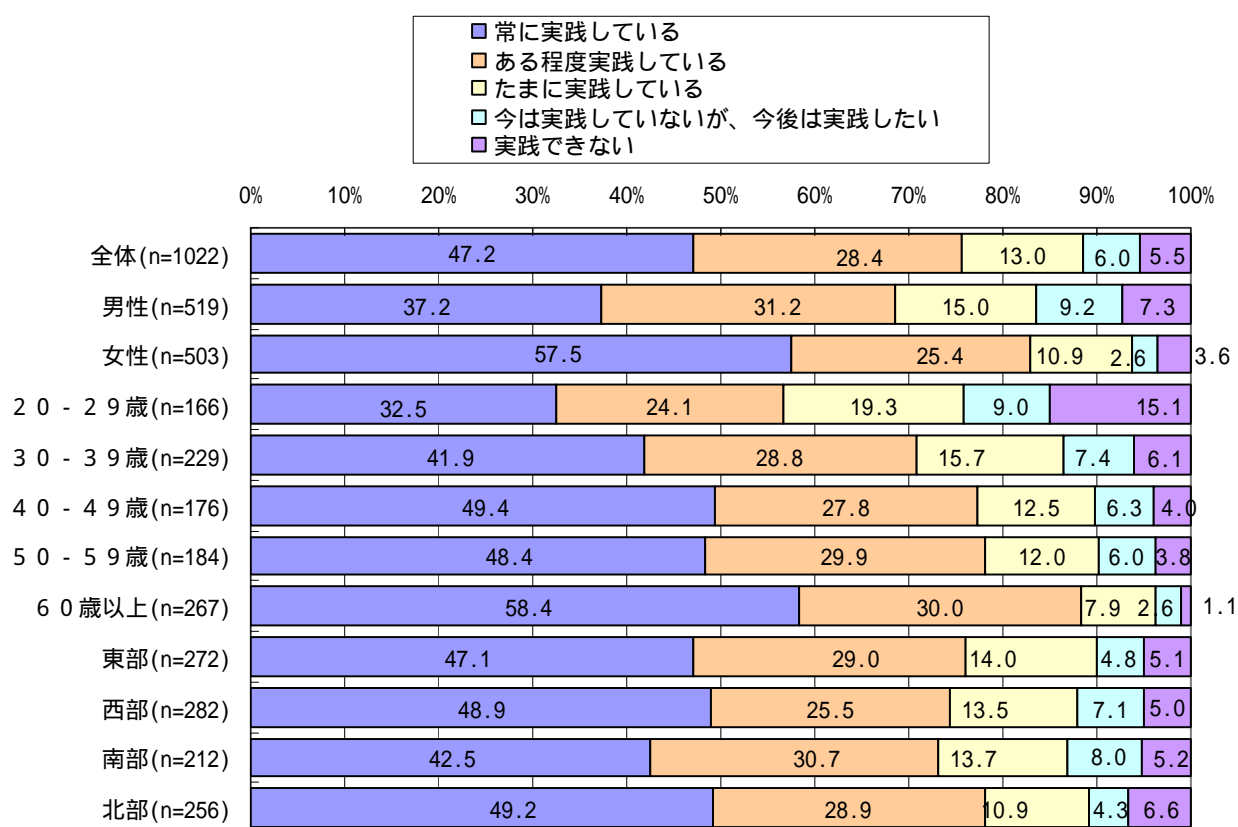
(10) 生け垣や庭、ベランダなどで緑を育てている



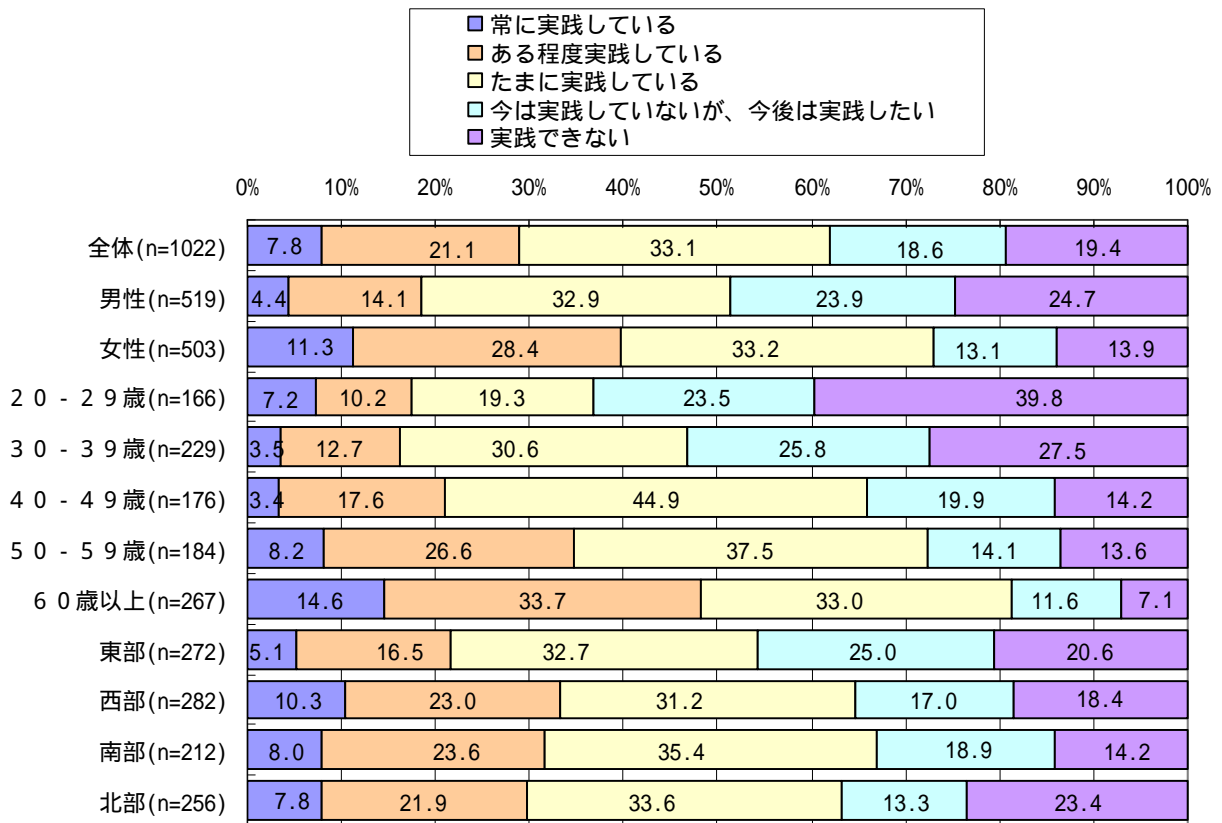
(11) 自動車の運転や音響装置の使用にあたって、騒音を出さない



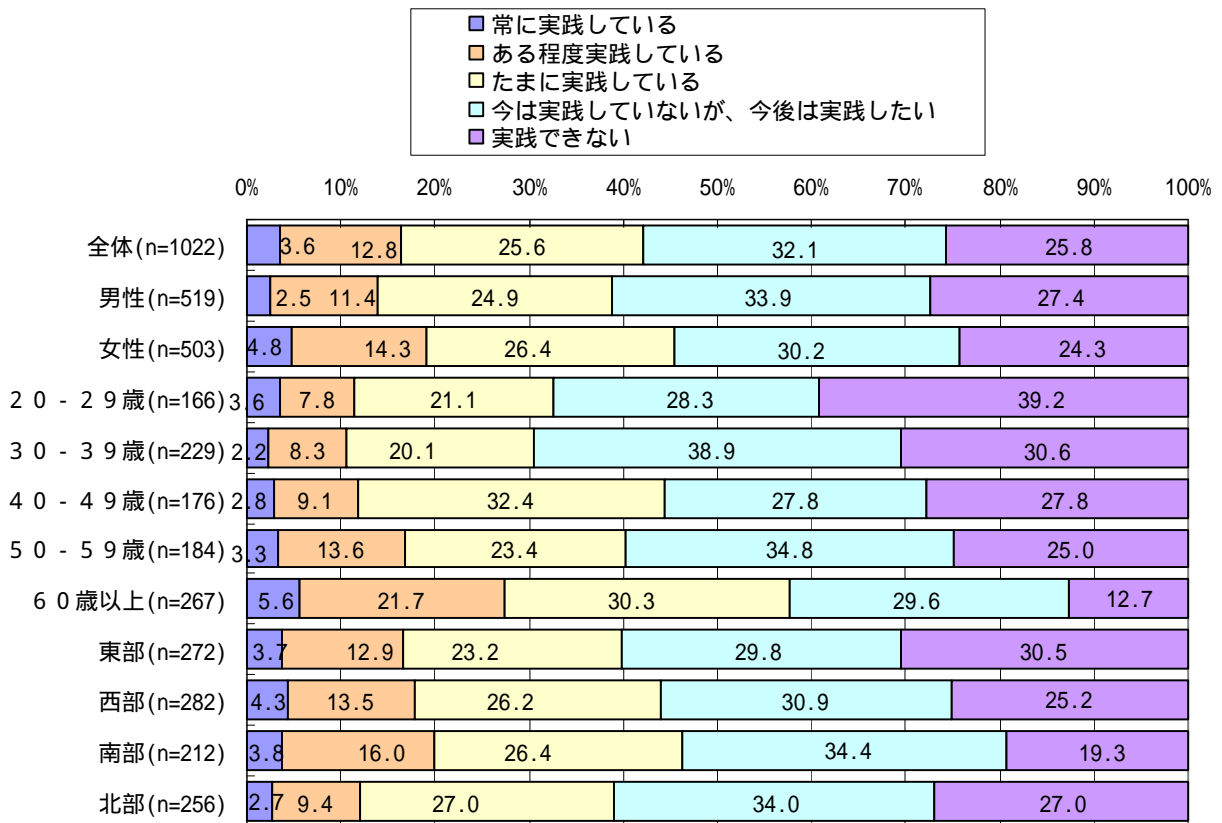
(12) 食用油を排水溝に流さない



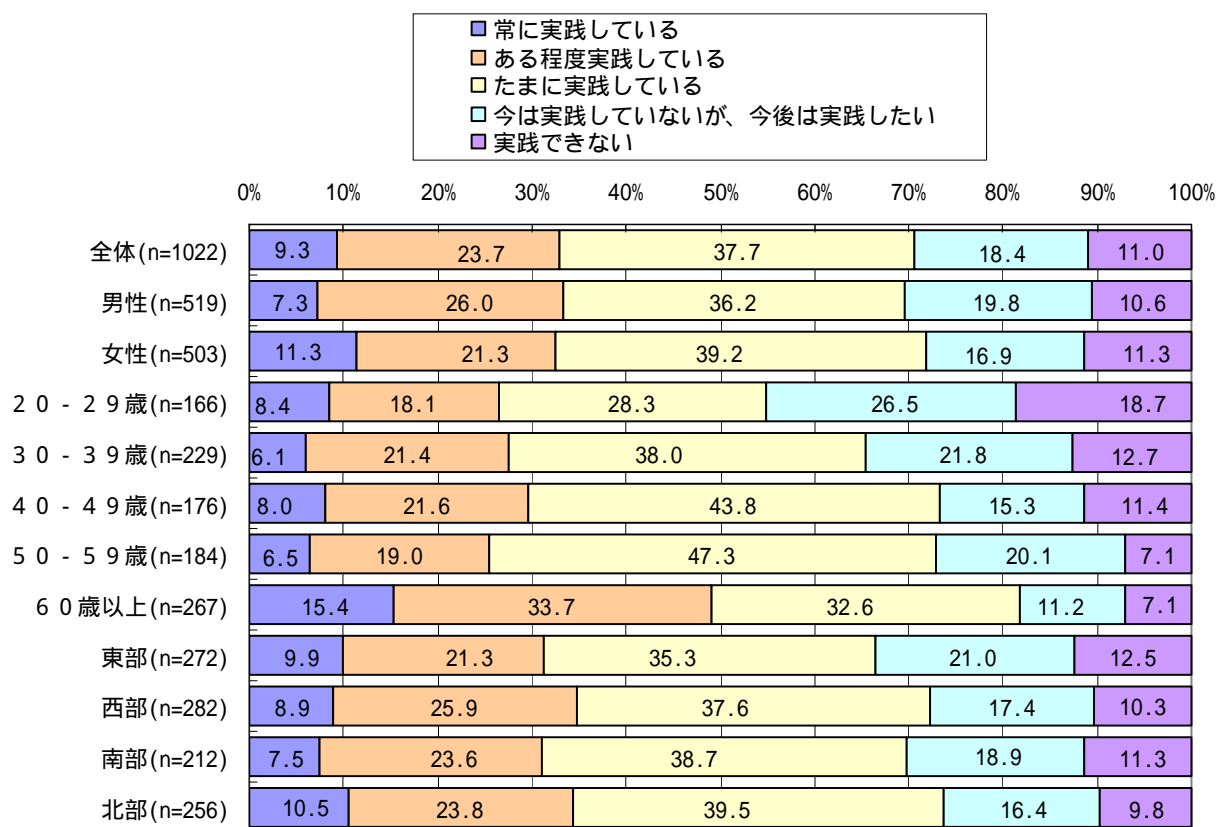
(13) 横浜産の野菜や果物を選んで買う



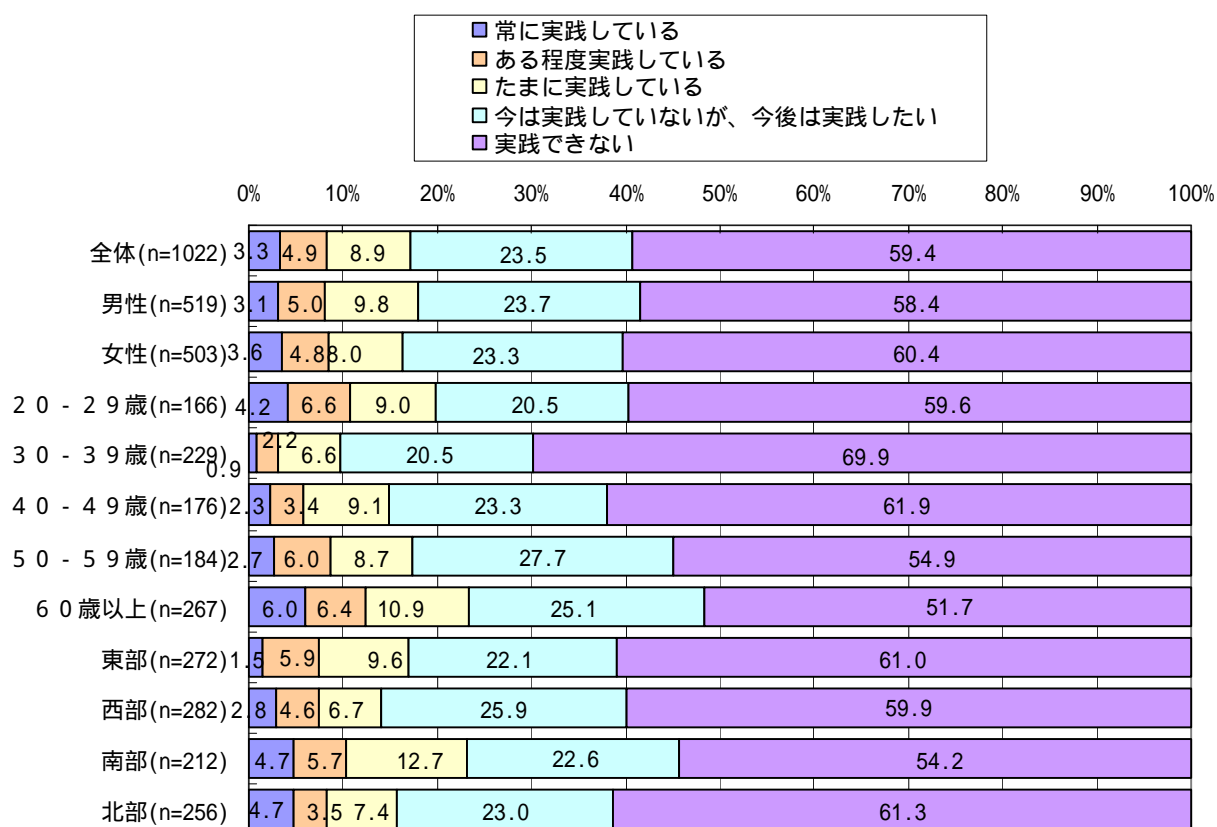
(14) 水辺や緑の保全と創造のための募金などに応じる



(15) 近くの川や公園・森や里山などに出かけ自然環境に触れ合う

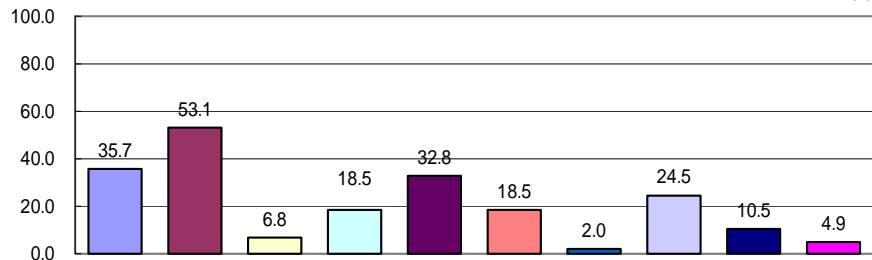


(16) 雨水浸透マスや雨水貯留タンクを設置している



Q7. Q6 で示したような様々な環境行動がありますが、実践するうえで難しい点、行動できない、あるいは行動しない理由は何ですか。(1) から(10)の中であなたの考えに近いものを3つまでお選び下さい。

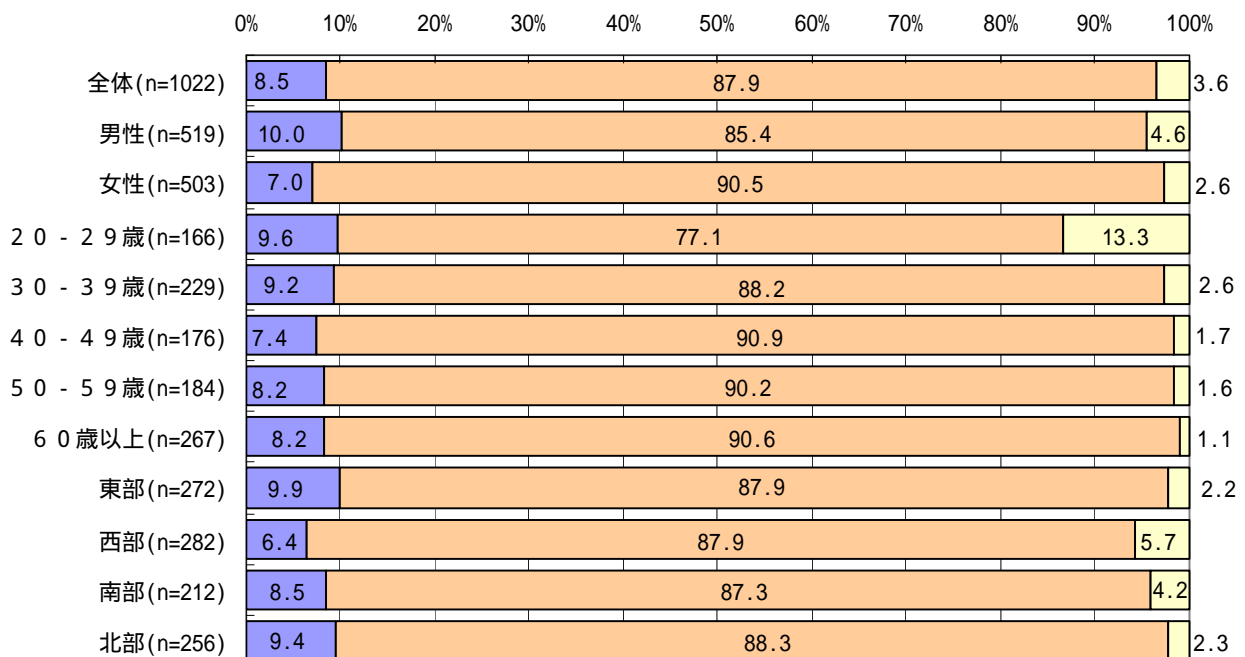
(%)



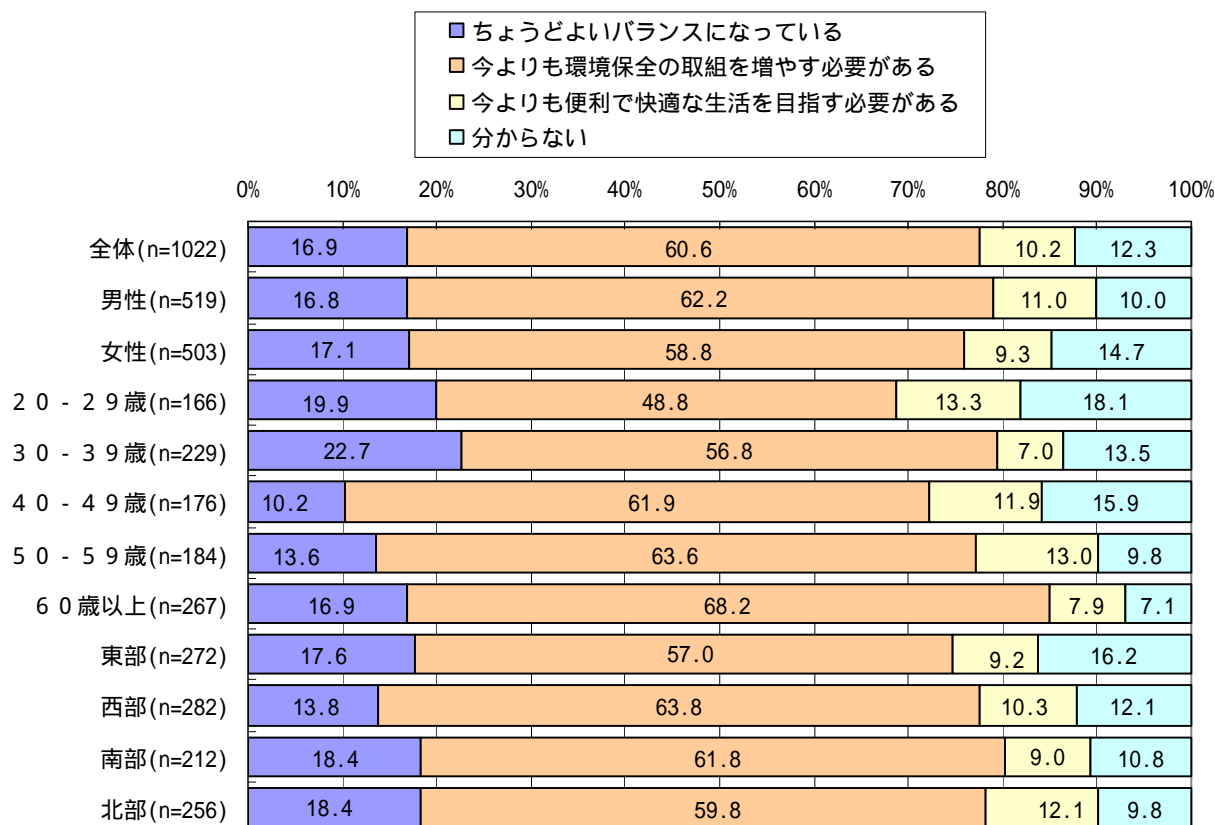
	い行動するための時間がな	い行動するためのお金がな	れ家族や仲間の協力が得ら	な環境問題の現状が分から	き行動による効果を実感で	面倒くさい	自分ひとりくらい行動し	何をすればよいか分から	る窓口がないなど相談でき	必要性を感じない
全体 (n=1022)	35.7	53.1	6.8	18.5	32.8	18.5	2.0	24.5	10.5	4.9
男性 (n=519)	41.0	52.8	6.6	16.8	34.7	22.9	2.5	21.2	8.3	6.4
女性 (n=503)	30.2	53.5	7.0	20.3	30.8	13.9	1.4	27.8	12.7	3.4
20 - 29歳 (n=166)	38.0	48.8	5.4	16.9	29.5	34.3	4.2	23.5	4.8	10.8
30 - 39歳 (n=229)	36.7	59.4	5.7	13.5	30.6	17.9	0.9	30.1	7.0	6.6
40 - 49歳 (n=176)	47.2	60.8	7.4	18.2	24.4	17.0	2.8	23.9	5.7	3.4
50 - 59歳 (n=184)	40.8	52.2	4.9	21.2	35.9	16.8	2.2	19.0	13.0	2.2
60歳以上 (n=267)	22.5	46.1	9.4	22.1	40.1	11.2	0.7	24.3	18.4	2.6
東部 (n=272)	36.8	52.9	7.0	15.8	32.4	19.1	2.9	28.7	11.4	7.0
西部 (n=282)	37.2	55.7	7.1	18.1	34.8	18.1	1.1	21.3	10.3	5.7
南部 (n=212)	33.0	47.6	7.5	20.3	30.7	17.0	2.8	25.9	13.2	3.8
北部 (n=256)	35.2	55.1	5.5	20.3	32.8	19.5	1.2	22.3	7.4	2.7

Q8. 環境の保全と生活の便利さ・快適さについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。次のうち、あてはまるものを1つお選び下さい。

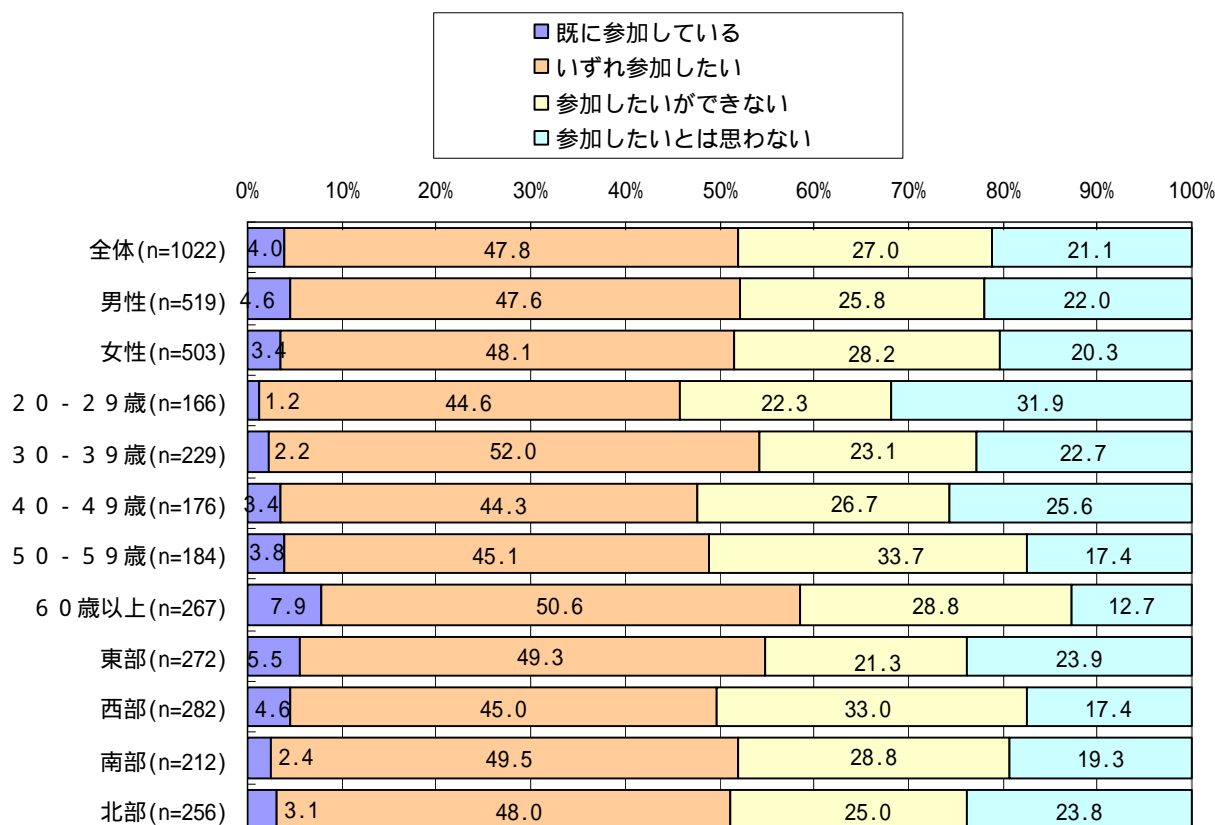
- 生活の便利さ・快適さよりも環境の保全を優先すべきだ
- 環境の保全に十分配慮しつつ、生活の便利さ・快適さもある程度確保したい
- 環境の保全よりも、便利で快適な生活を優先したい



Q9. Q8 で回答していただいた環境の保全と生活の便利さ・快適さのバランスの現在の状況について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。次のうち、あてはまるものを1つお選び下さい。

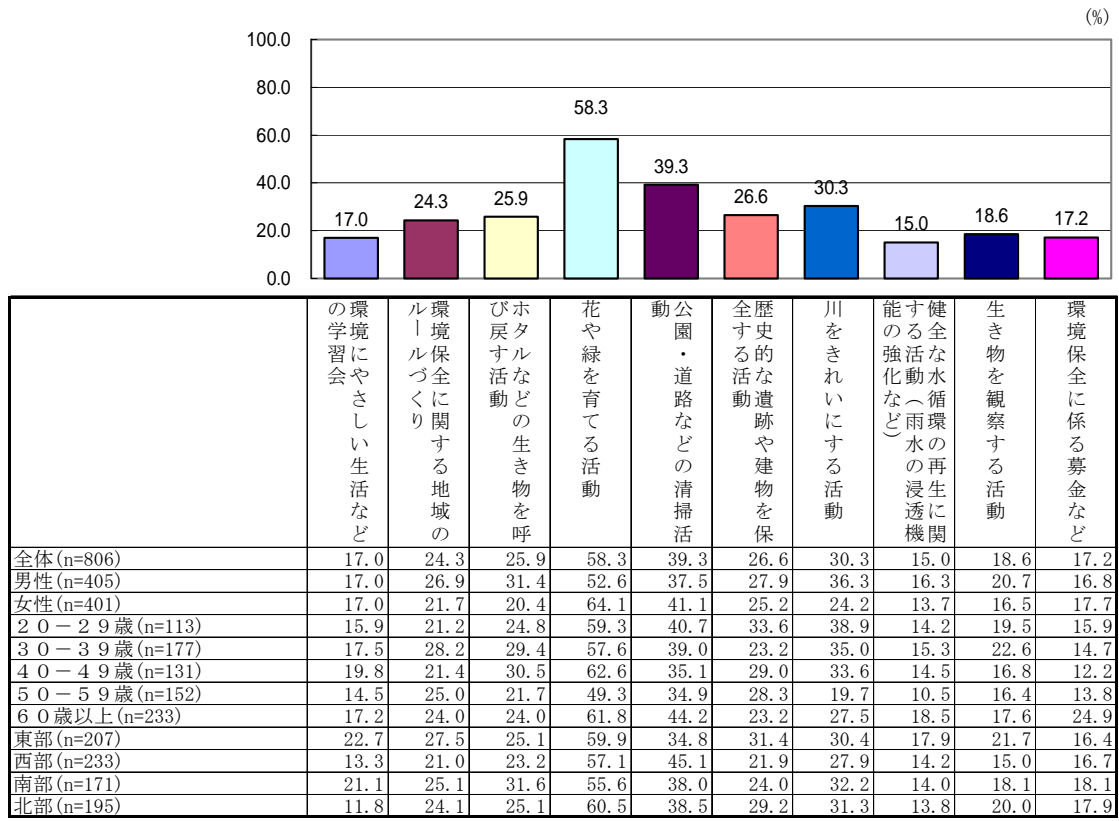


Q10. 地域の環境保全活動に参加したいと思いませんか。次のうち、あてはまるものを1つお選び下さい。

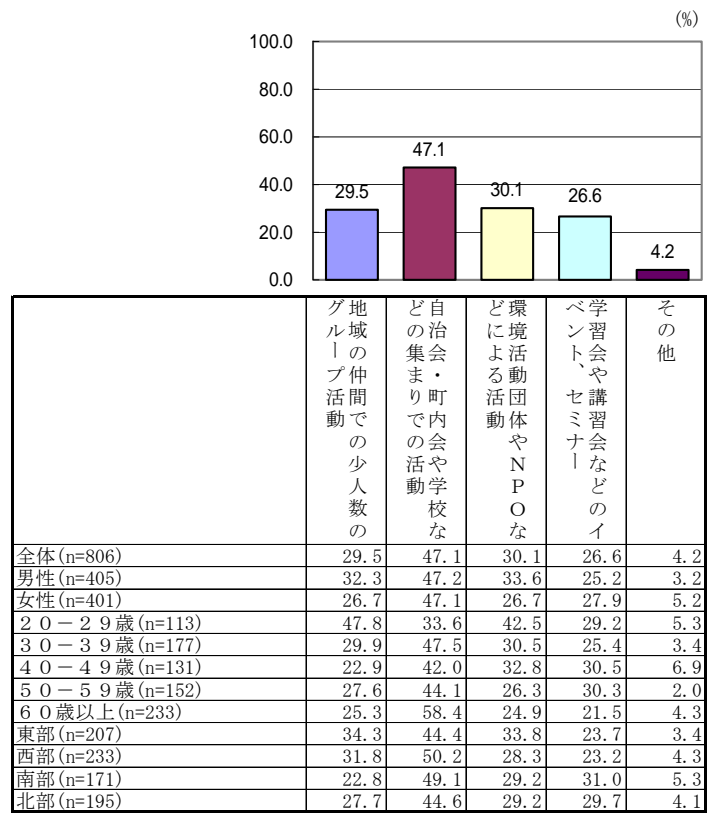


Q11. Q10 で、(1)～(3)を選んだ方に伺います。

どのような活動や取組に参加していますか、あるいは参加したいと思いますか。次のうち、あてはまるものをすべてお選び下さい。

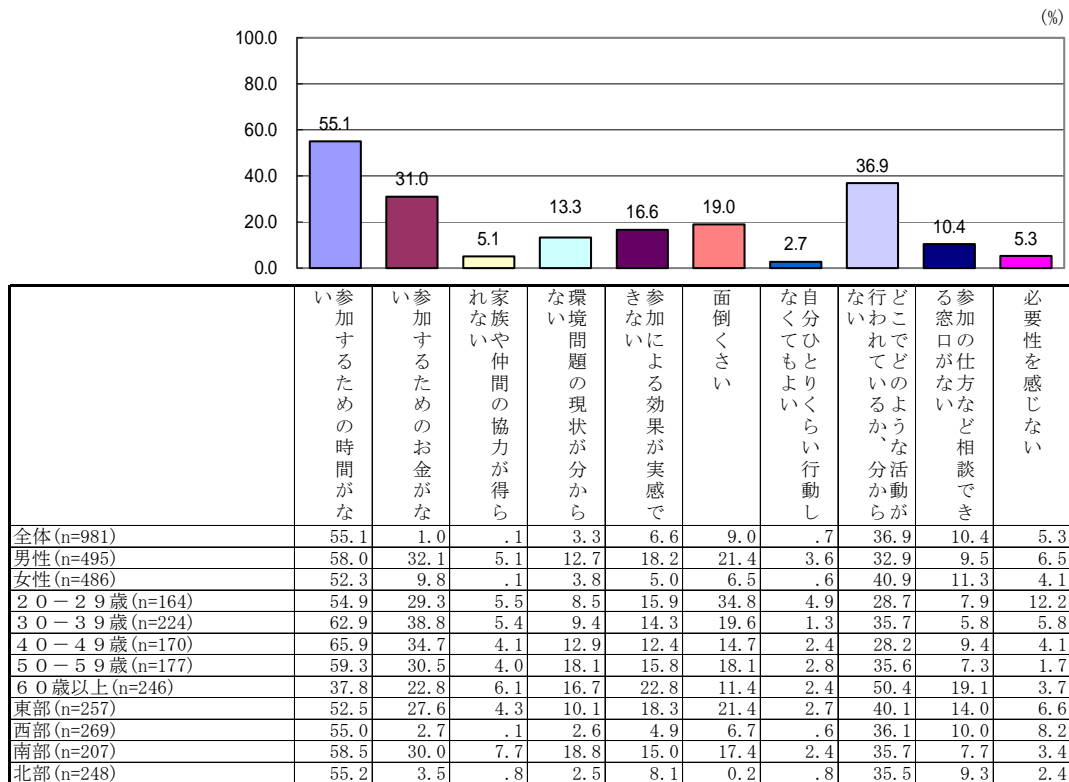


Q12. Q10 で、(1)～(3)を選んだ方に伺います。どのような形態の活動に参加していますか、あるいは参加したいと思いますか。次のうち、あてはまるものをすべてお選び下さい。

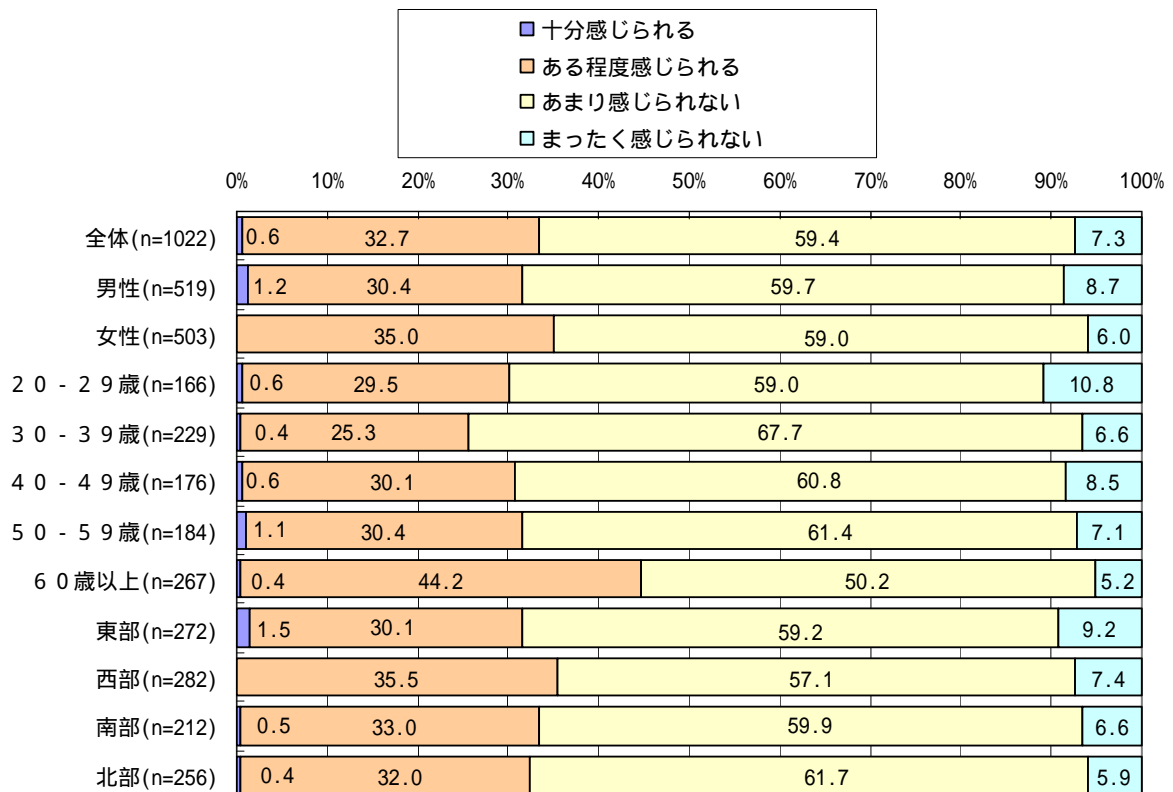


Q13. Q10 で(2)～(4)を選んだ方に伺います。

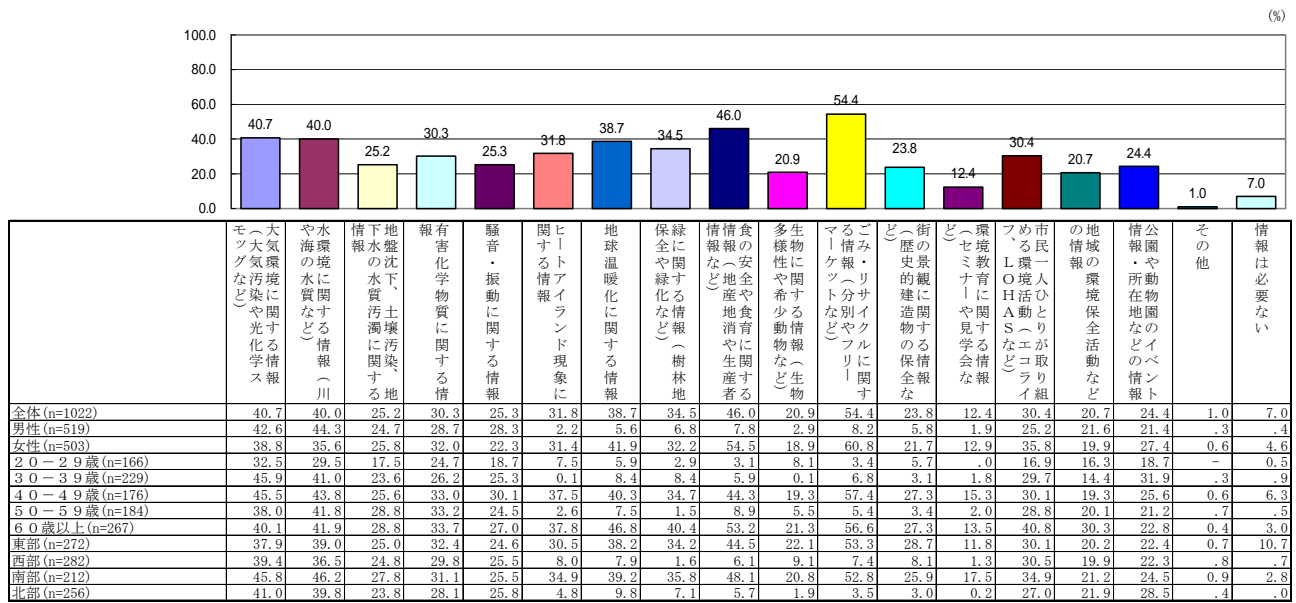
地域の環境保全活動に参加しない、あるいは参加したいと思わない理由は何ですか。(1)から(10)の中であなたの考えに近いものを3つまでお選び下さい。



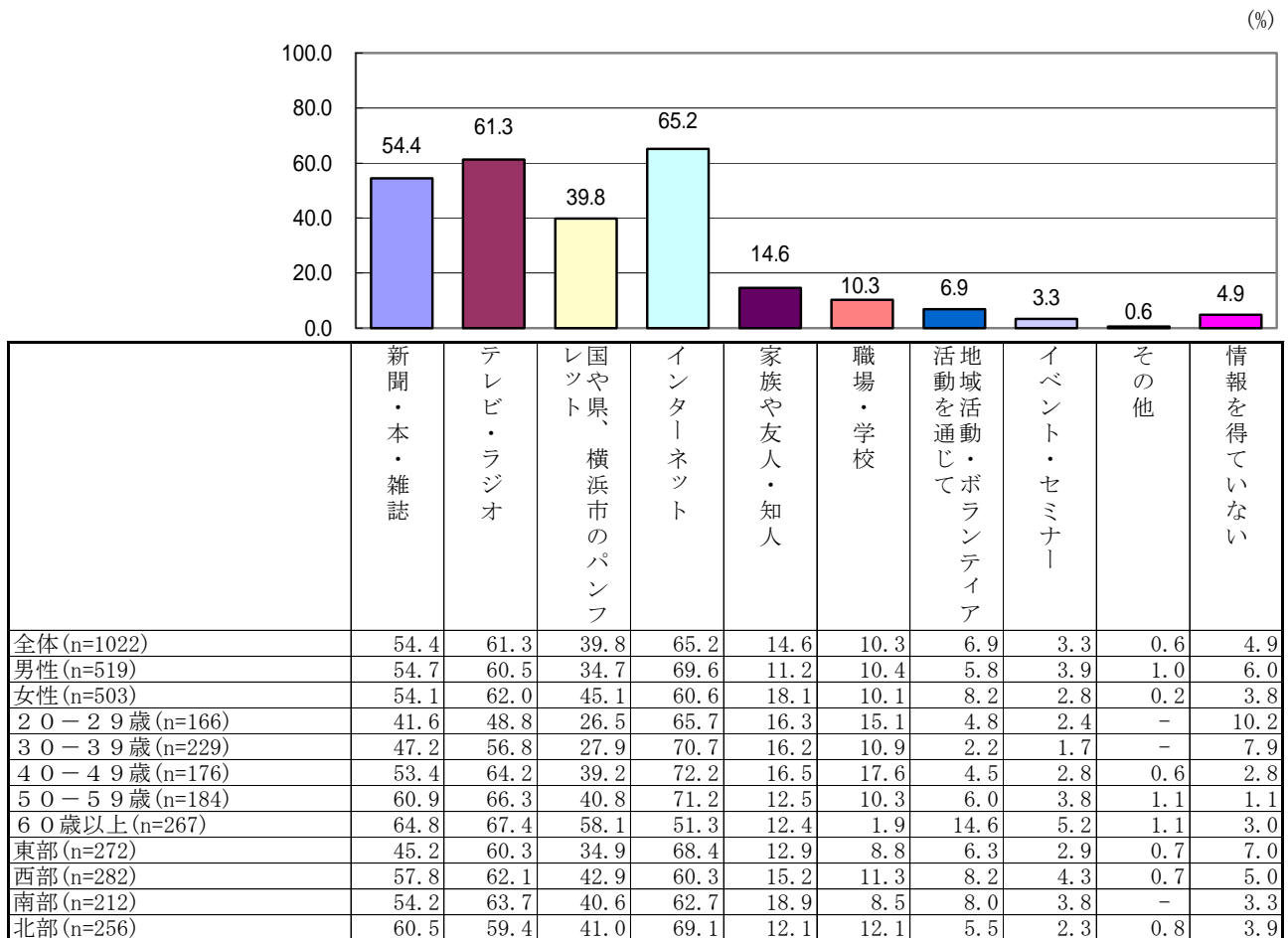
Q14. 環境に関する取組について、家庭・地域・学校・環境活動団体・事業所等と行政との協働・連携の仕組みは整っていると感じられますか。次のうち、あてはまるものを1つお選び下さい。



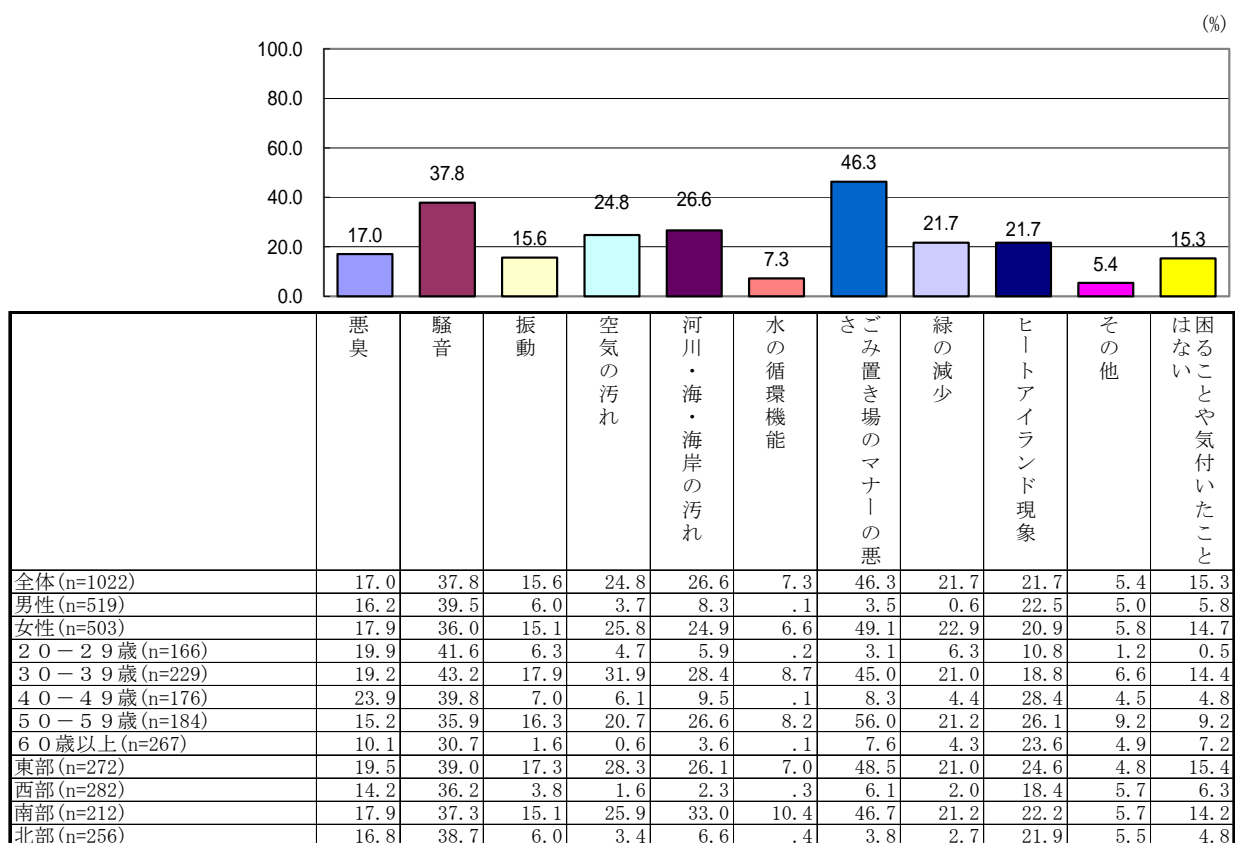
Q15. 環境に関する情報について、あなたが欲しいと思う情報は何か。次のうち、あてはまるものをすべてお選び下さい。



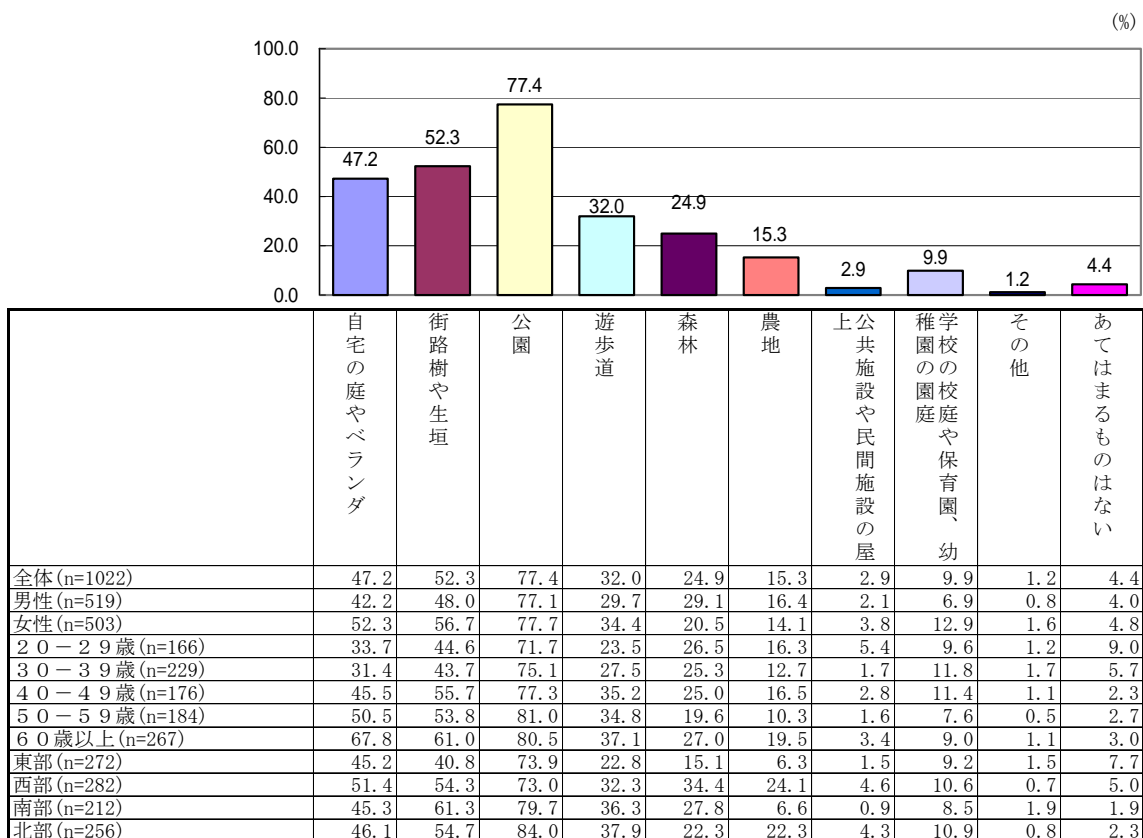
Q16. あなたが環境の情報を得る主な手段は何ですか。次のうち、あてはまるものをすべてお選び下さい。



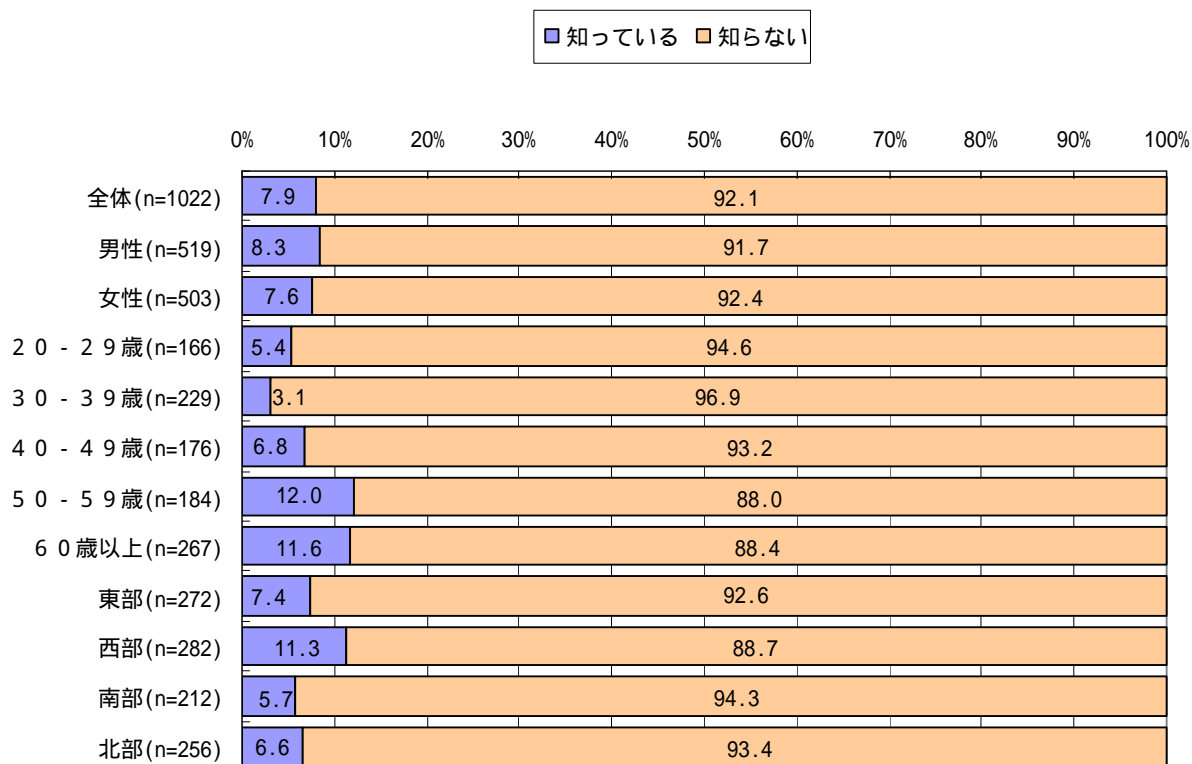
Q17. あなたのお住まいの近くで、環境問題について困ることや気づいたことがありますか。次のうち、あてはまるものをすべてお選び下さい。



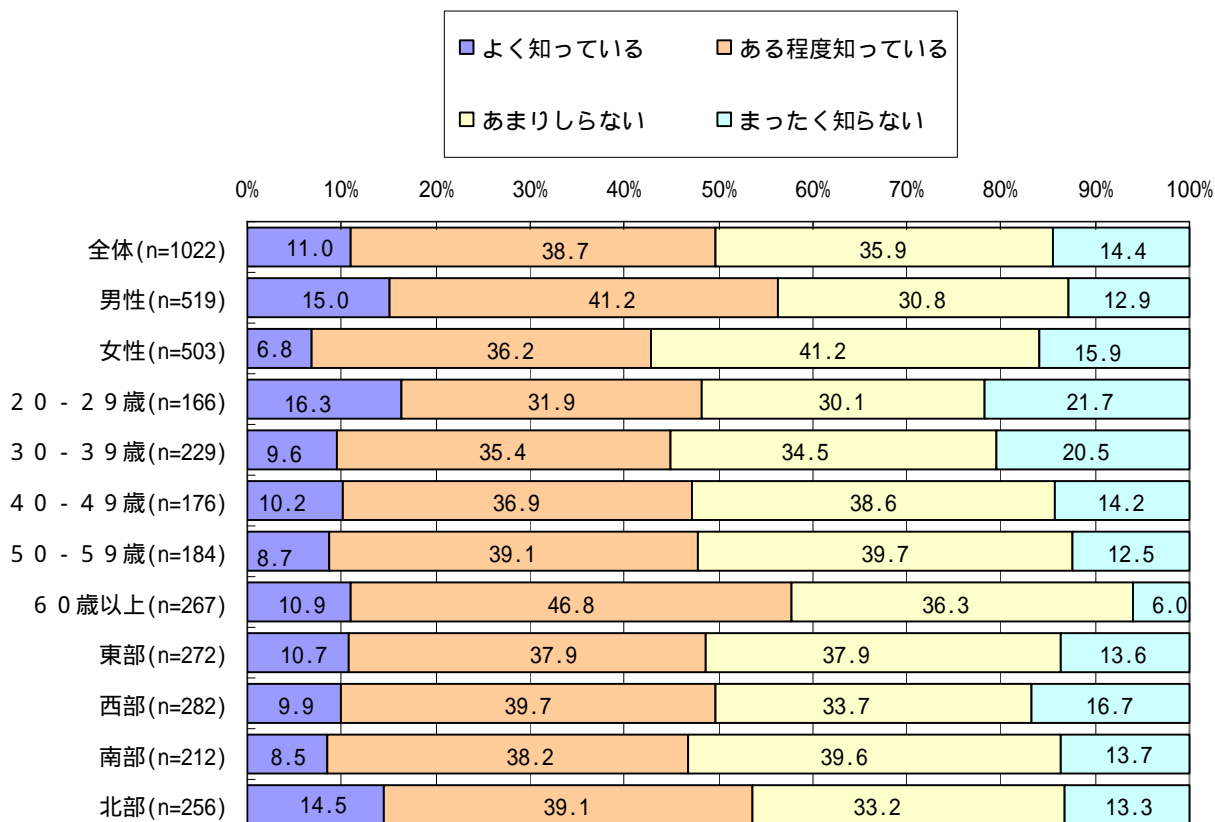
Q18. 身近な緑を感じられる環境はありますか。次のうち、あてはまるものをすべてお選び下さい。



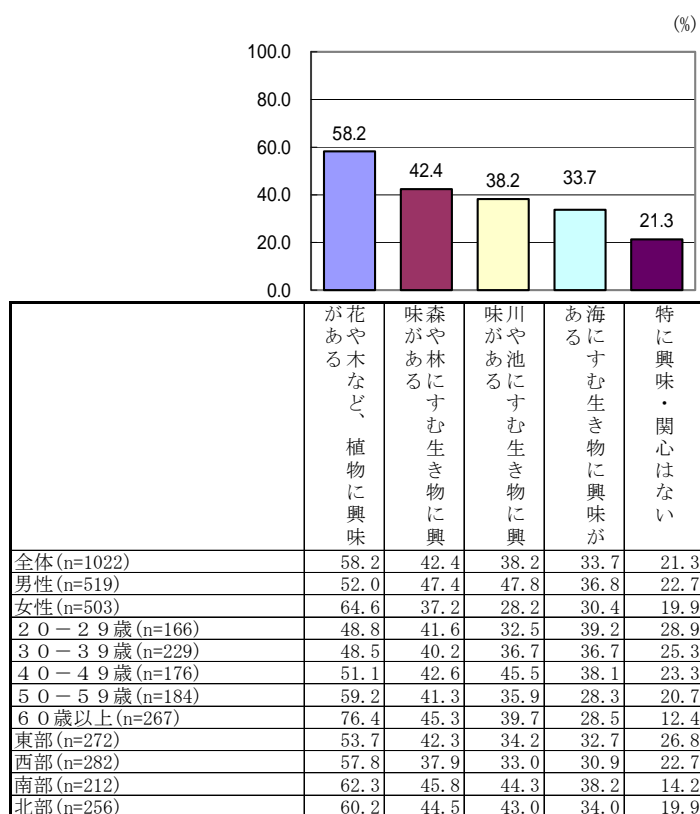
Q19. 横浜市が住宅用雨水浸透マスの設置に、助成制度を設けていることを知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選び下さい。



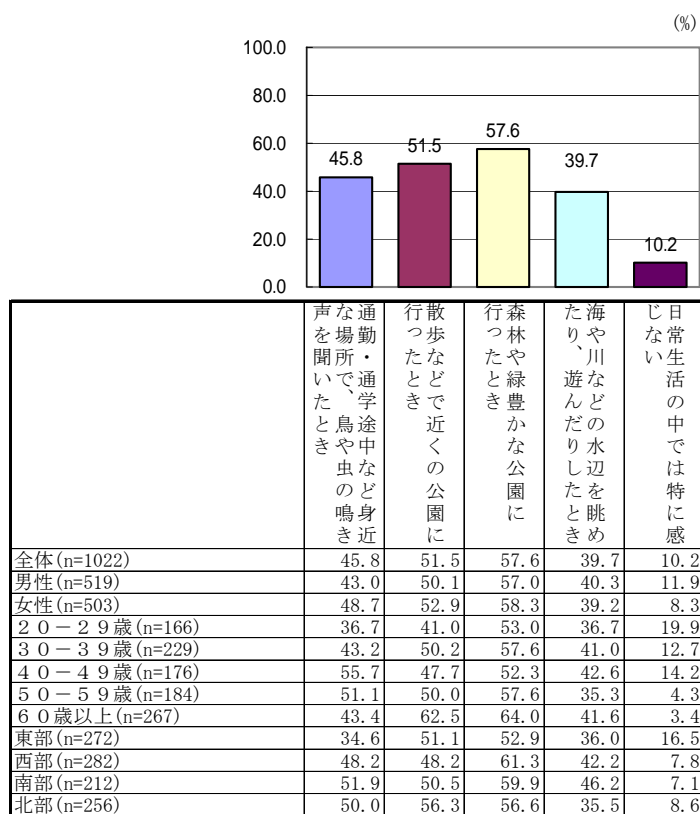
Q20. 生物多様性という言葉を知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選び下さい。



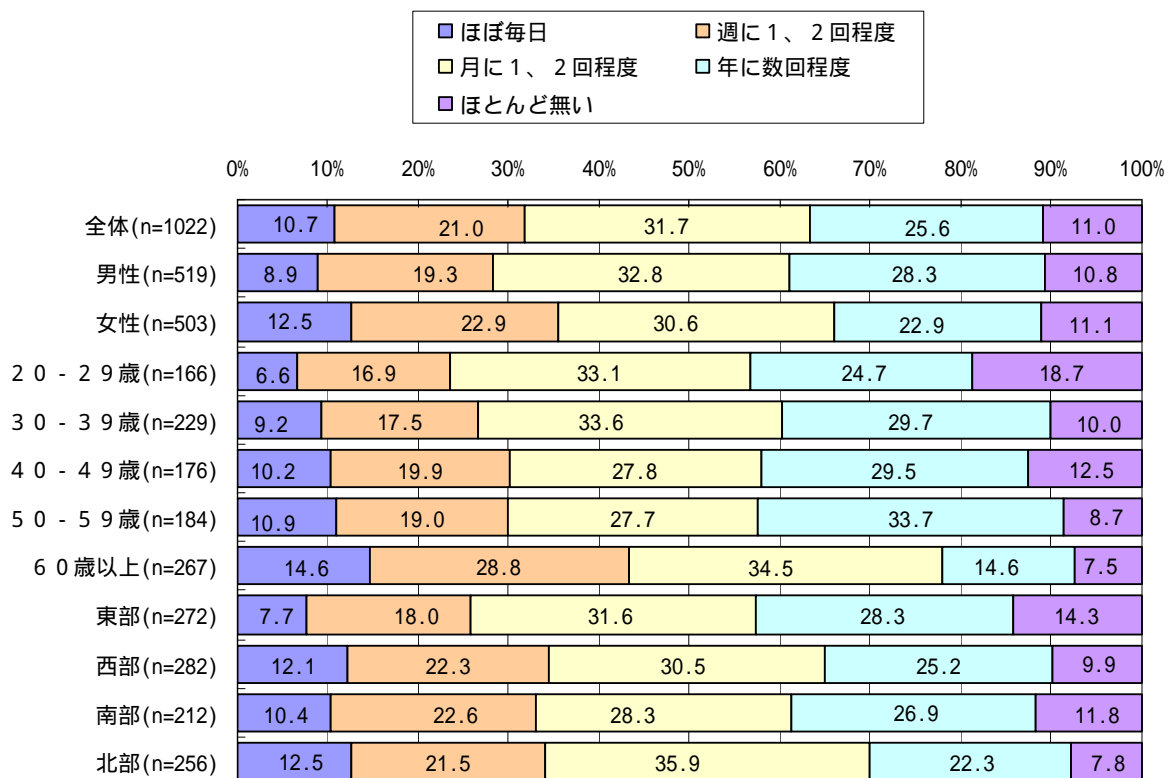
Q21. 身近な動植物（園芸種、ペットを除く）に興味・関心はありますか。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。



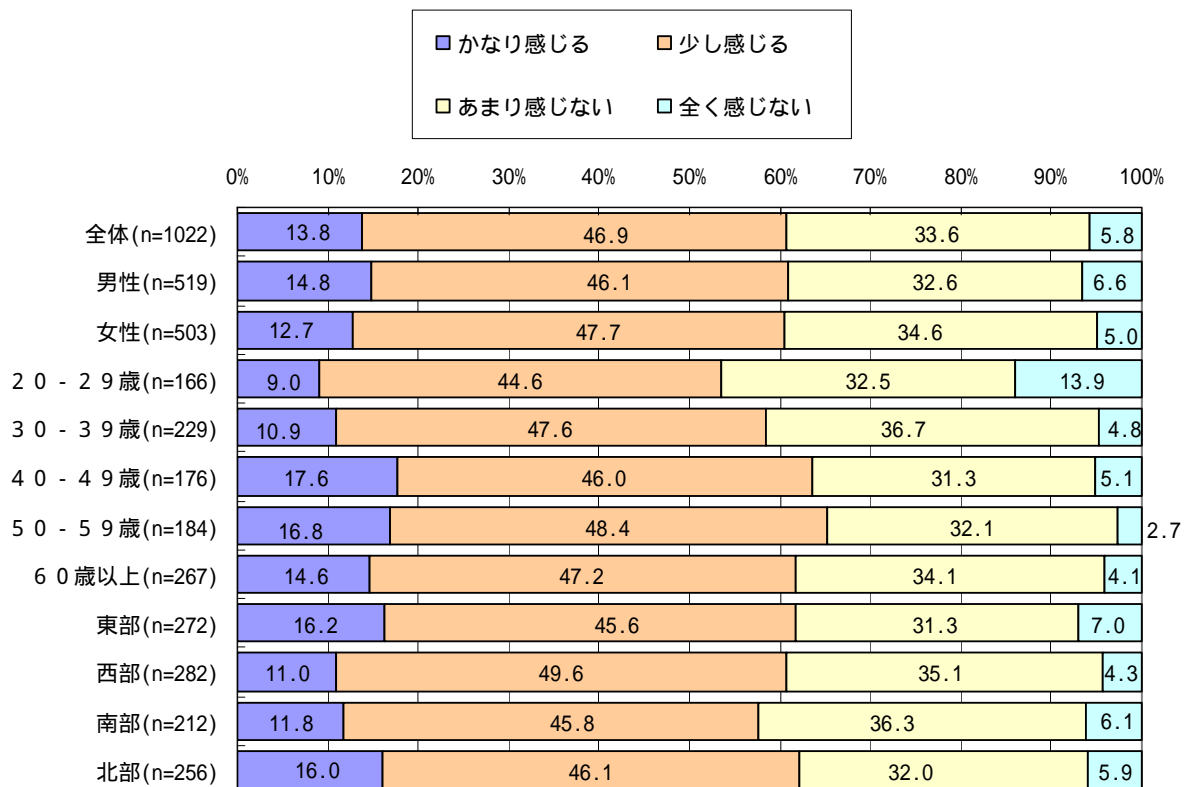
Q22. 日常生活の中で、どういった時に自然の豊かさを感じますか。次のうち、あてはまるものをすべてお選び下さい。



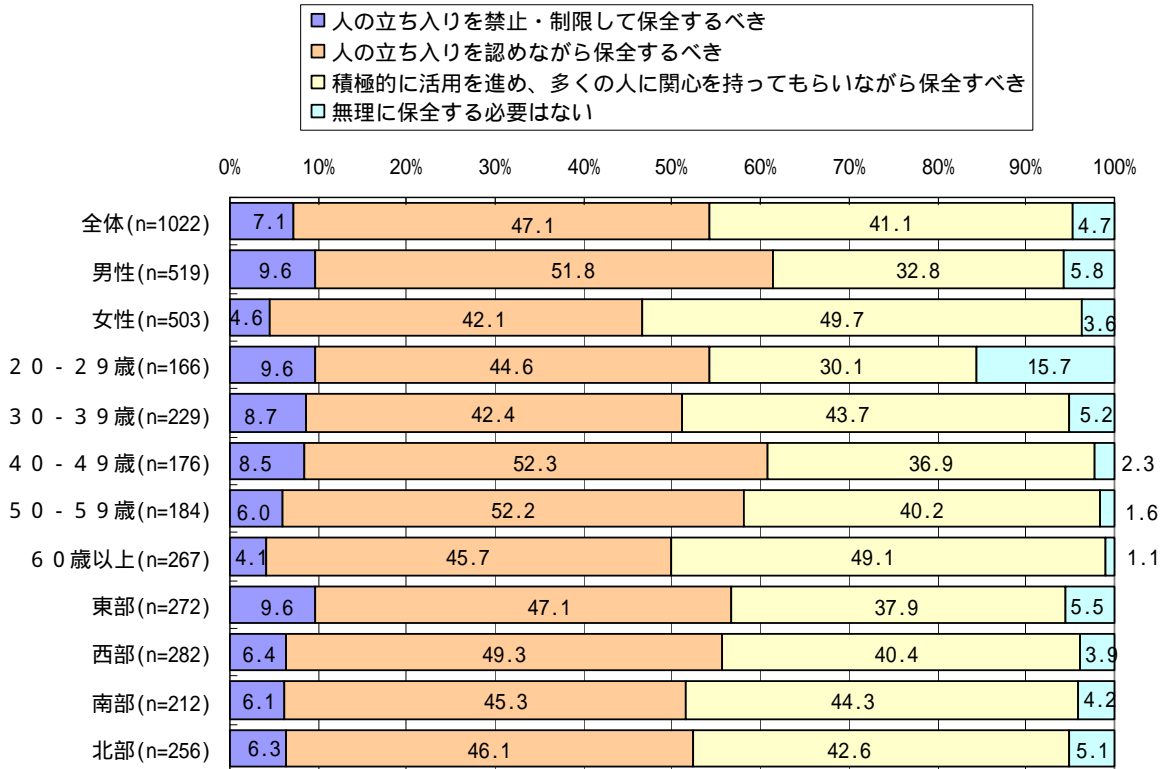
Q23. どれくらいの頻度で、公園や森林、水辺の広場など身近な自然環境に足を運んでいますか。次のうち、あてはまるものを1つお選び下さい。



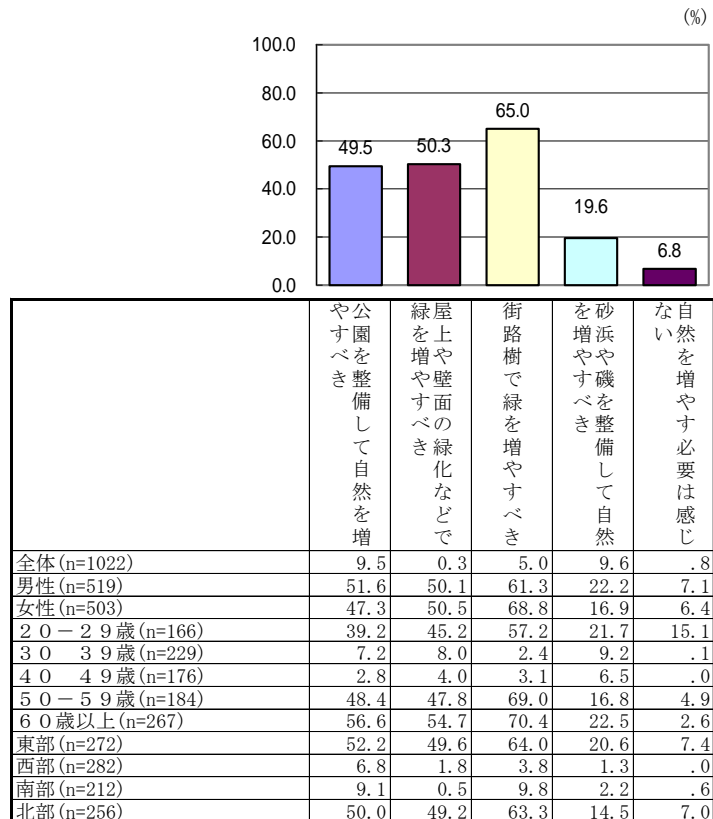
Q24. 身近な動植物（園芸種、ペットを除く）は減っていると感じますか。次のうち、あてはまるものを1つお選び下さい。



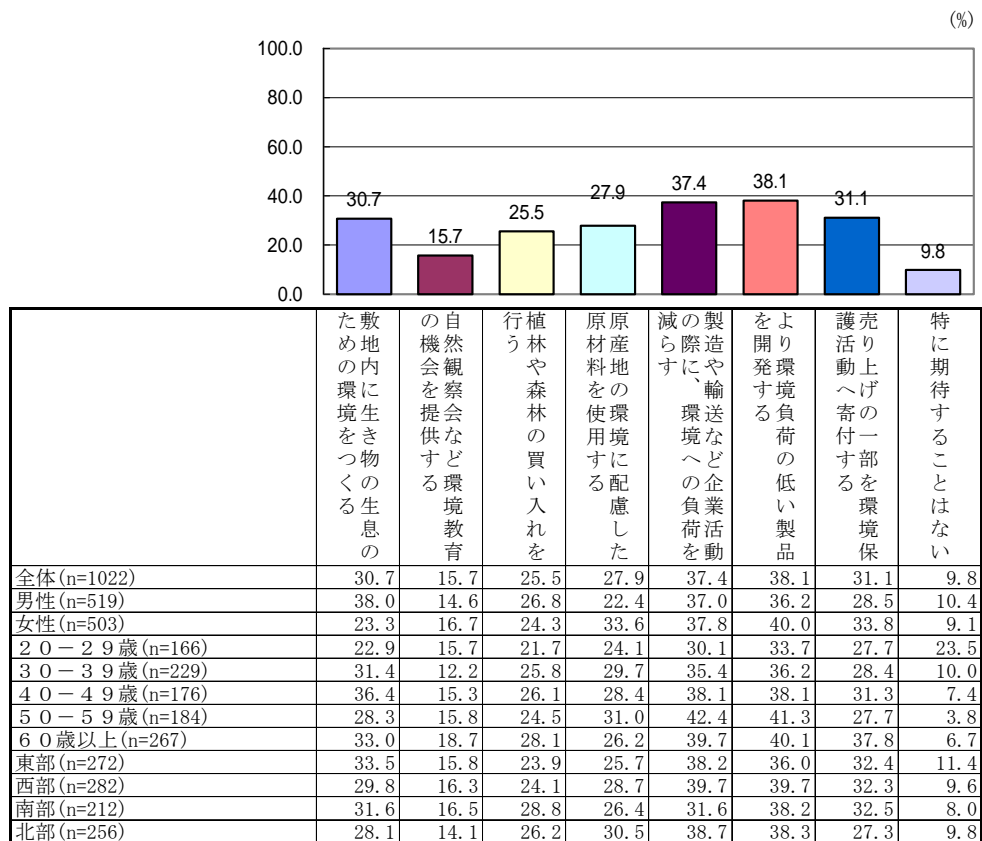
Q25. 横浜には、円海山周辺や舞岡、三保・新治、寺家などの地区に自然が比較的多く残されています。これらの自然環境を保全していくことについてどう考えますか。次のうち、あてはまるものを1つお選び下さい。



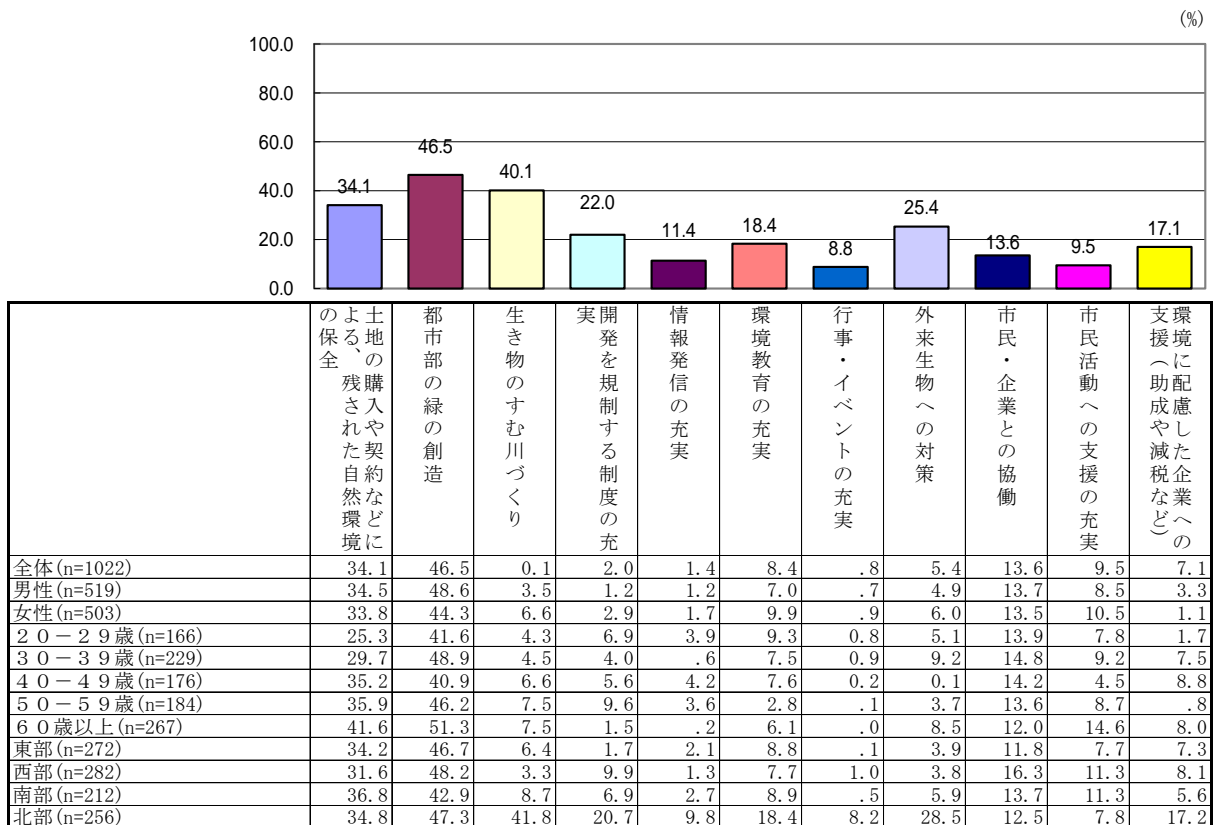
Q26. 横浜の中心部にはほとんど自然がありません。このことについてどう考えますか。次のうち、あてはまるものをすべてお選び下さい。



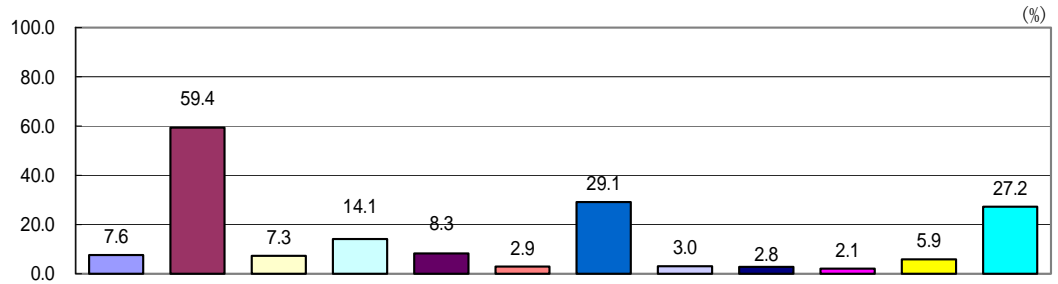
Q27. 企業による自然環境や生き物に配慮した取組が増えています。あなたが企業の取組で特に期待することについて、次のうち、あてはまるものを3つまでお選び下さい。



Q28. 身近な生き物がいる環境を守るための横浜市の取組のうち、特に必要だと思うものは何ですか。次のうち、あてはまるものを3つまでお選び下さい。

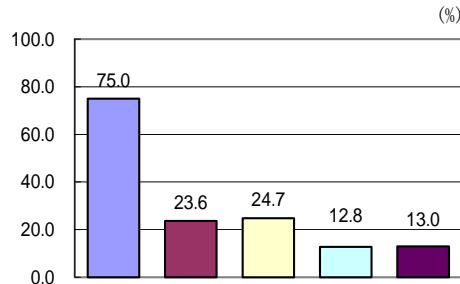


Q29. 横浜市の環境に関する計画・施策等について知っていますか。次のうち、知っている計画・施策をすべてお選び下さい。



	横浜市環境管理計画	横浜G30プラン	横浜市脱温暖化行動方針(CO2削減)	横浜市水と緑の基本計画	横浜みどりアップ計画	横浜みどりアップ計画市民推進会議	横浜みどり税	環境エコアップマスタープラン	横浜市環境教育基本方針	環境教育アクションプラン	横浜市下水道計画指針(2010年版)	知らない計画・施策は
全体(n=1022)	7.6	59.4	7.3	14.1	8.3	2.9	29.1	3.0	2.8	2.1	5.9	27.2
男性(n=519)	7.5	57.2	.9	3.5	.7	.7	5.2	.1	2.5	1.2	.8	0.1
女性(n=503)	7.8	61.6	.8	4.7	.9	.2	3.0	.0	3.2	3.0	.0	4.3
20-29歳(n=166)	9.6	45.8	.0	0.8	1.4	.0	2.9	.2	4.8	3.6	.4	0.4
30-39歳(n=229)	4.4	66.8	.9	.0	.2	.2	1.0	.7	2.2	2.2	.1	2.7
40-49歳(n=176)	6.8	63.6	.3	0.8	.8	.6	6.1	.3	1.7	1.1	.7	5.0
50-59歳(n=184)	8.7	60.9	.0	2.0	.2	.3	5.5	.3	3.3	3.8	.9	3.9
60歳以上(n=267)	9.0	57.7	10.9	5.8	0.1	.0	5.6	.0	2.6	0.4	11.2	6.6
東部(n=272)	8.8	58.5	.5	4.3	.9	.9	6.1	.3	2.6	2.9	.9	6.8
西部(n=282)	7.1	61.3	.1	3.8	.0	.2	9.8	.2	2.8	1.1	.5	6.6
南部(n=212)	6.6	63.7	.1	4.6	.4	.8	4.4	.4	2.8	3.3	.7	3.1
北部(n=256)	7.8	54.7	6.6	13.7	8.2	2.7	27.0	3.1	3.1	1.2	3.9	31.6

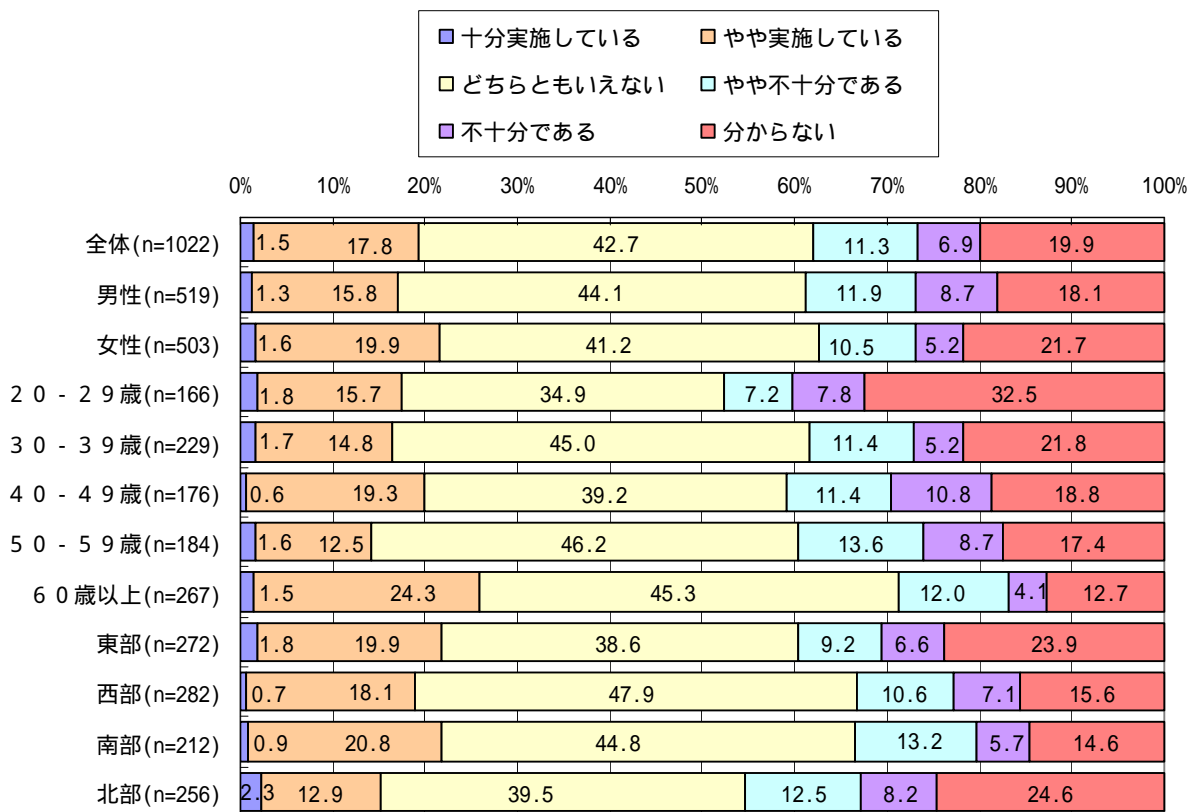
Q30. あなたは、横浜市の情報について、ご覧になるものは何ですか。次のうち、あてはまるものをすべてお選び下さい。



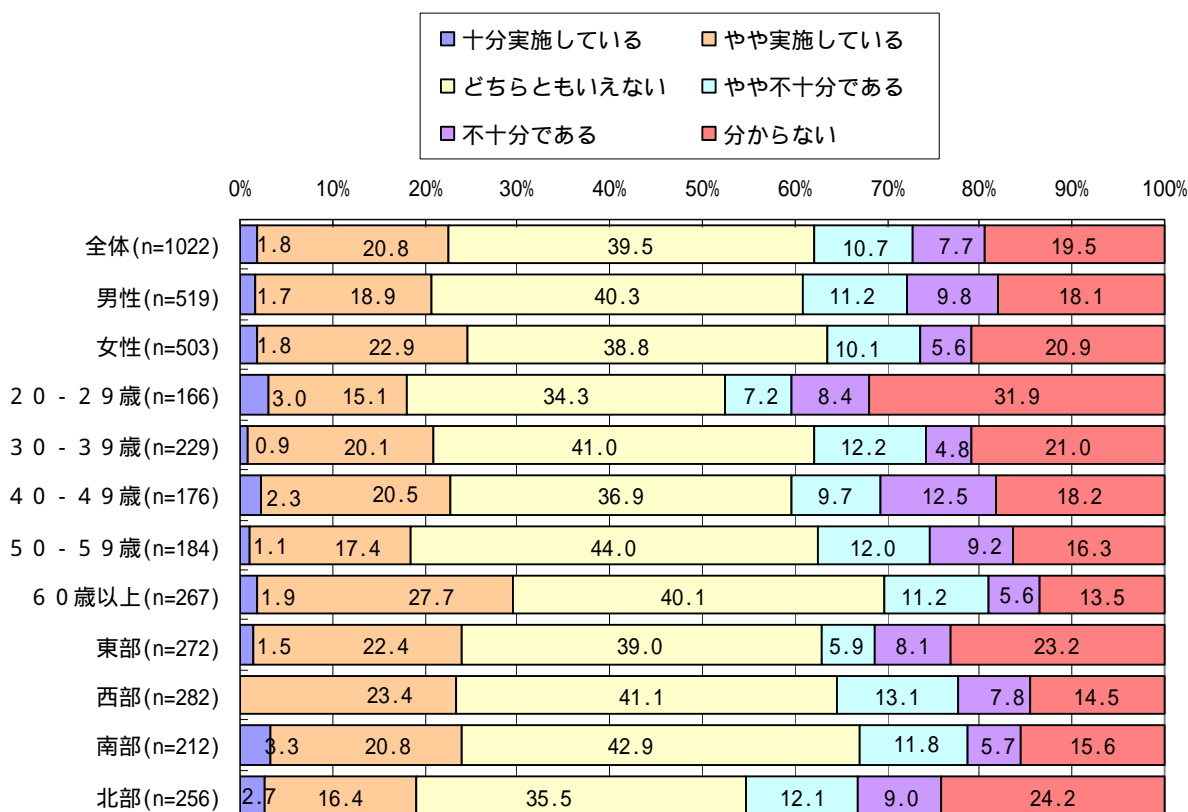
	ご自宅に届く配布物(広報ホームページ)	区の役所や地区センターでの配布物	駅などの横浜市PRポスター	あてはまるものはない
全体(n=1022)	75.0	23.6	24.7	12.8
男性(n=519)	69.4	26.0	22.5	14.1
女性(n=503)	80.7	21.1	26.8	11.5
20-29歳(n=166)	47.6	24.1	15.7	15.1
30-39歳(n=229)	70.3	25.8	22.7	10.5
40-49歳(n=176)	70.5	30.7	25.0	16.5
50-59歳(n=184)	87.0	20.7	19.6	12.5
60歳以上(n=267)	90.6	18.7	35.2	11.2
東部(n=272)	69.5	24.6	19.9	14.7
西部(n=282)	77.3	26.6	24.8	11.7
南部(n=212)	75.0	18.9	30.2	11.8
北部(n=256)	78.1	23.0	25.0	12.9

Q31. 横浜市が現在行っている環境に関する以下の取組について、どのように感じていますか。項目ごとに、最も近いものを1つお選び下さい。

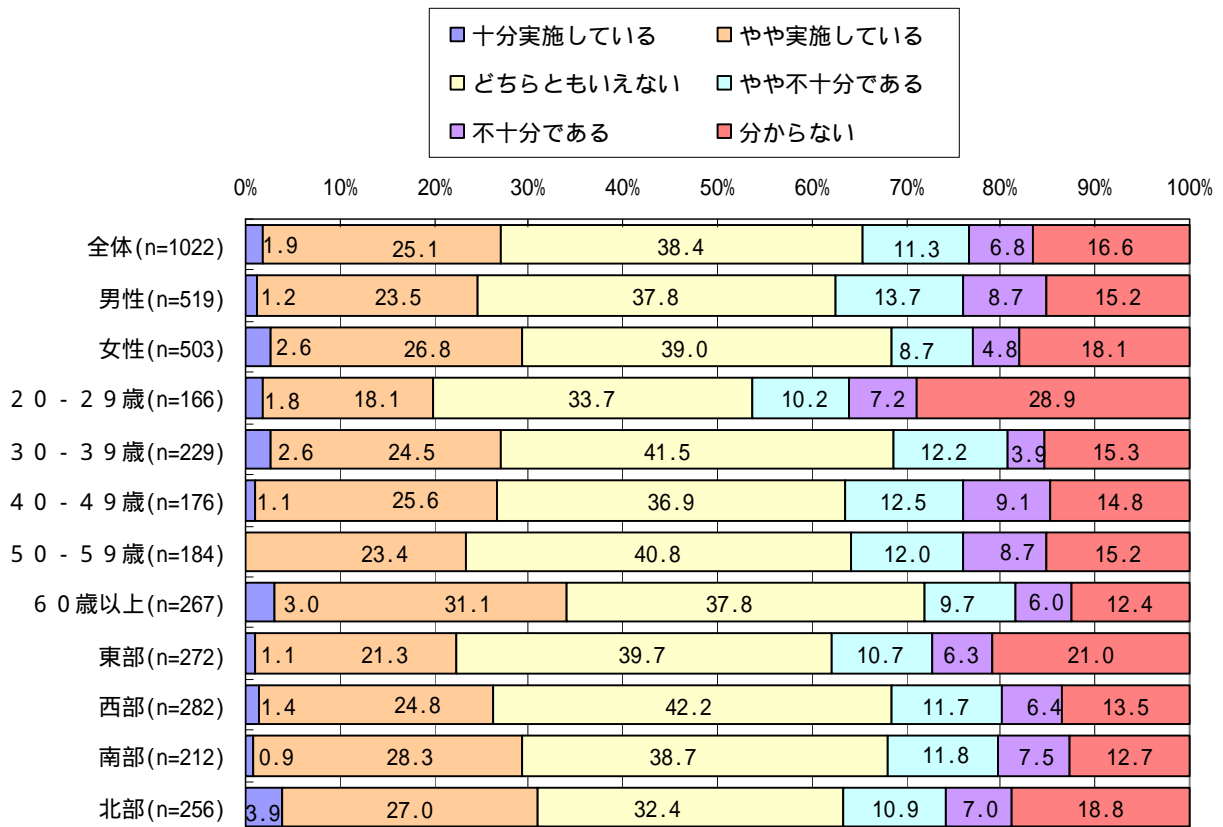
(1) 地球温暖化防止への取組



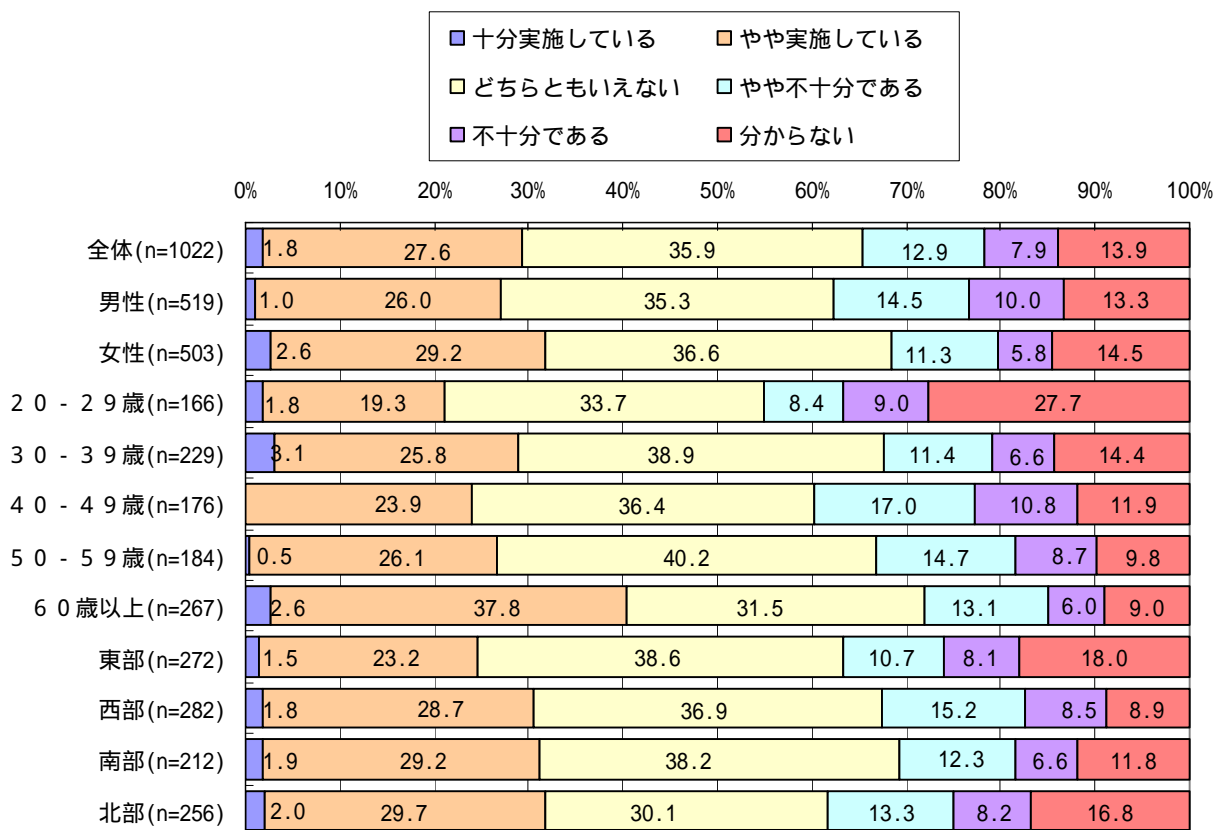
(2) 省エネルギーや新エネルギーの利用の取組



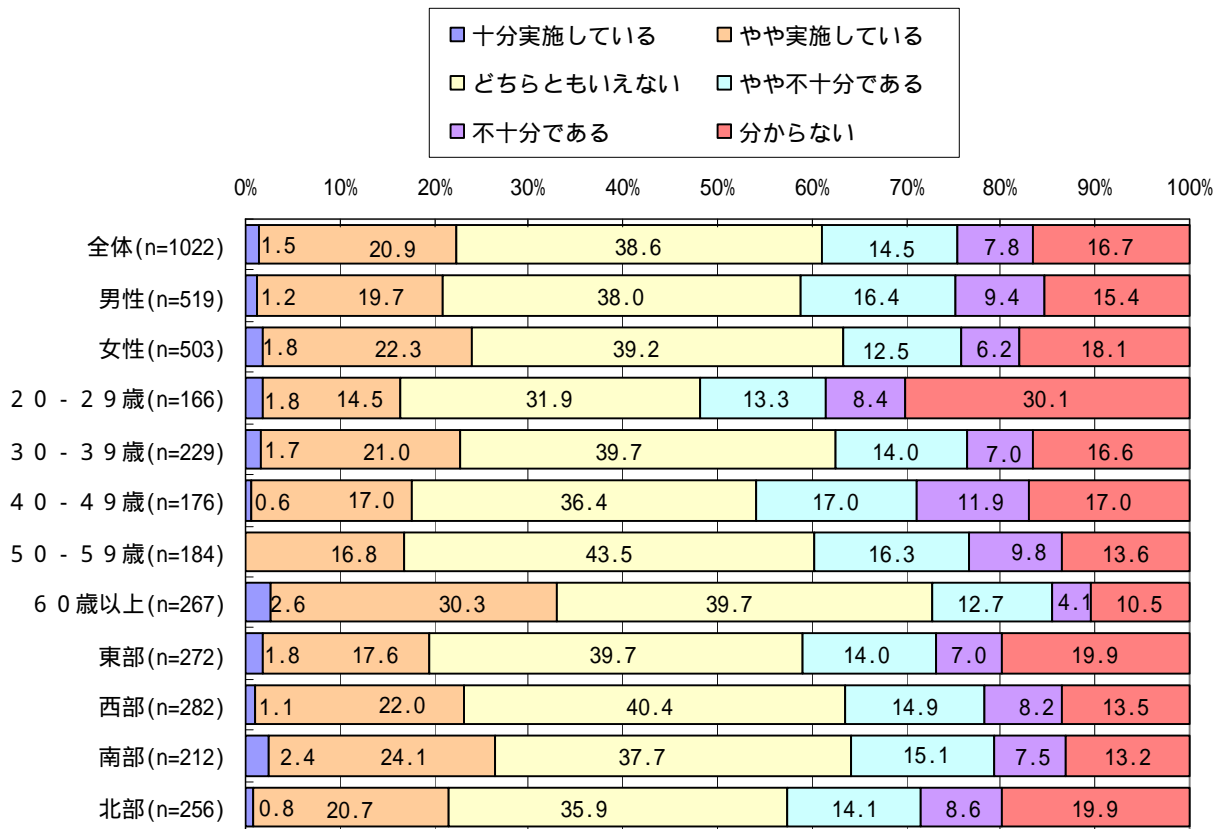
(3) 郊外部のまとまった緑の保全



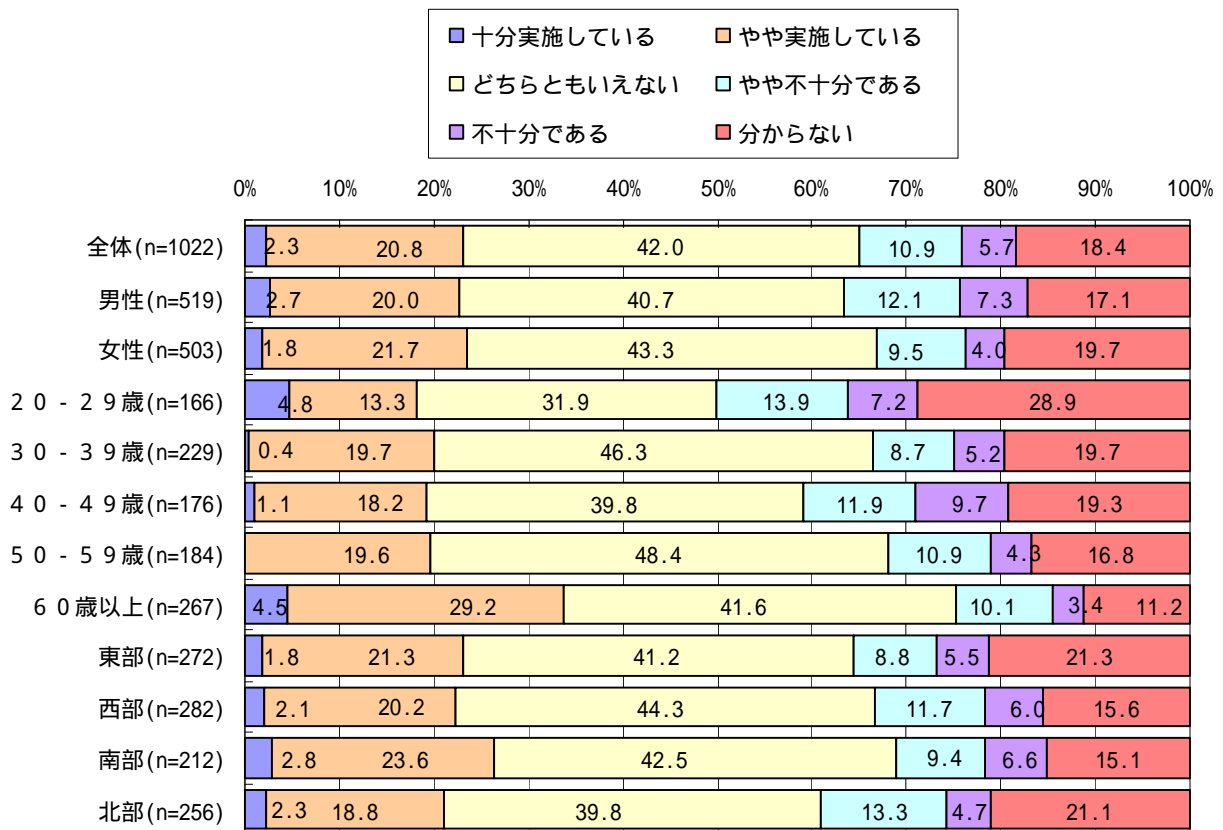
(4) 公園や、道路や河川沿いの緑の保全・創出



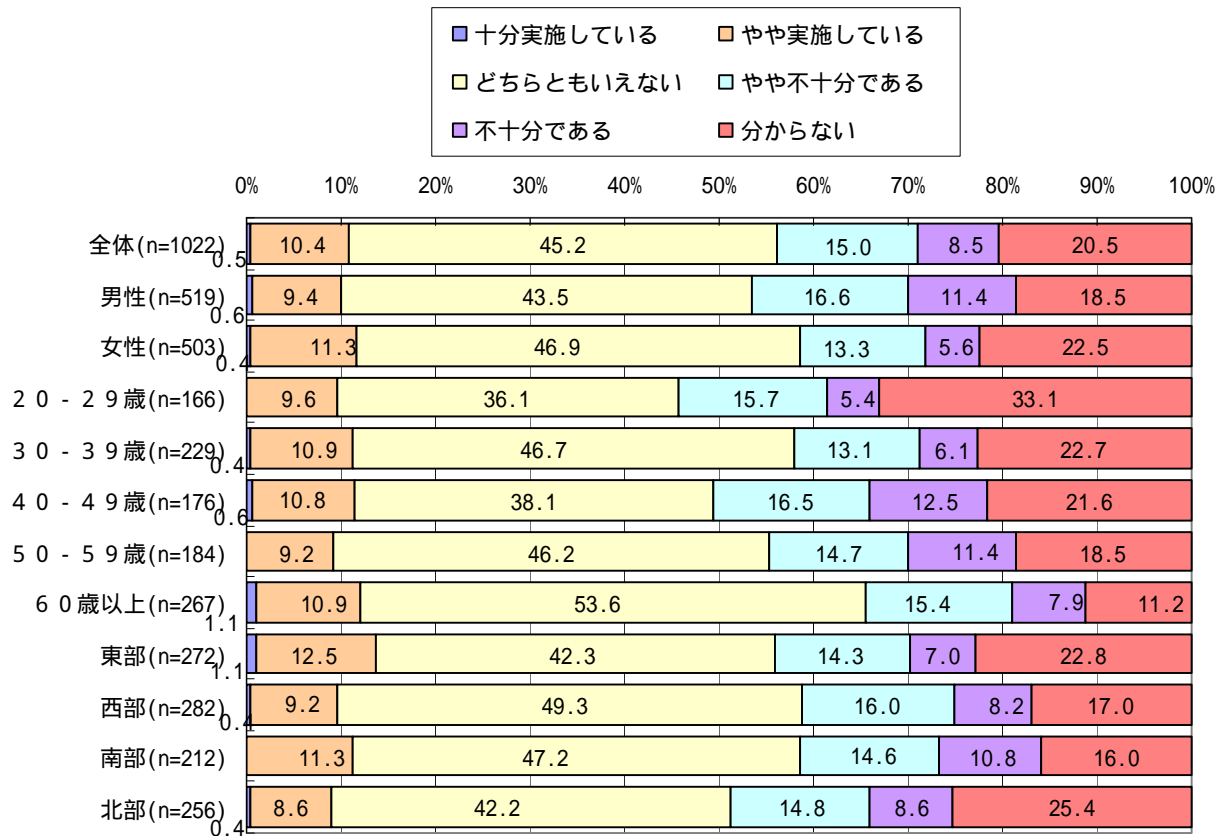
(5) 港や海辺の緑化などによる環境整備



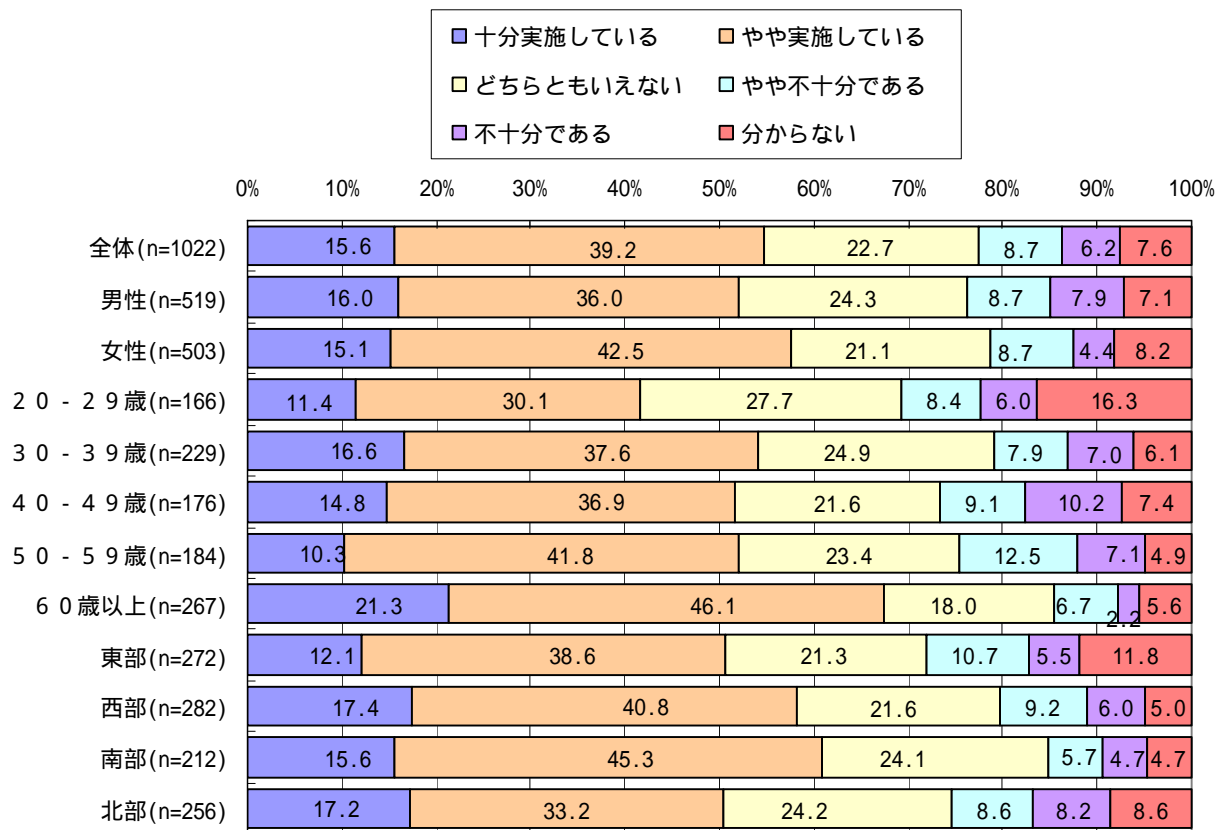
(6) 水の循環機能の強化



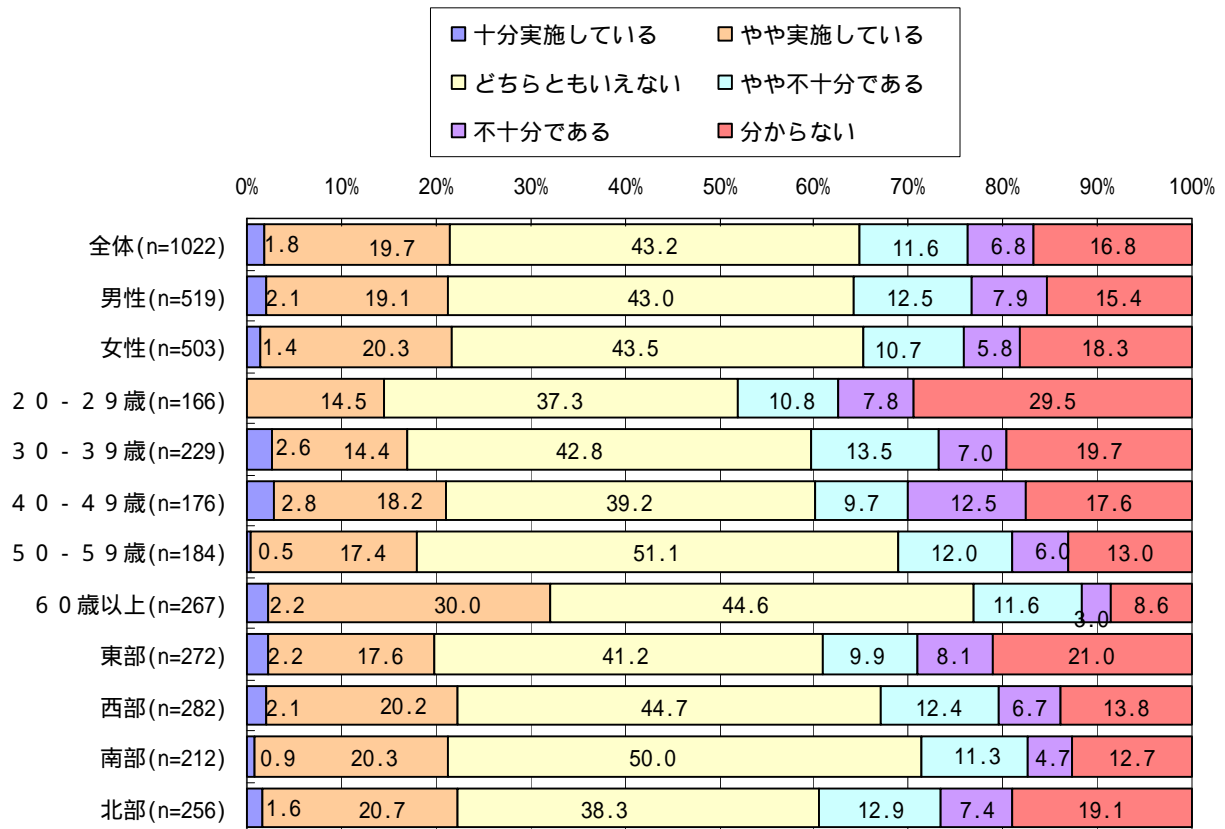
(7) 生物多様性の保全や、外来生物対策



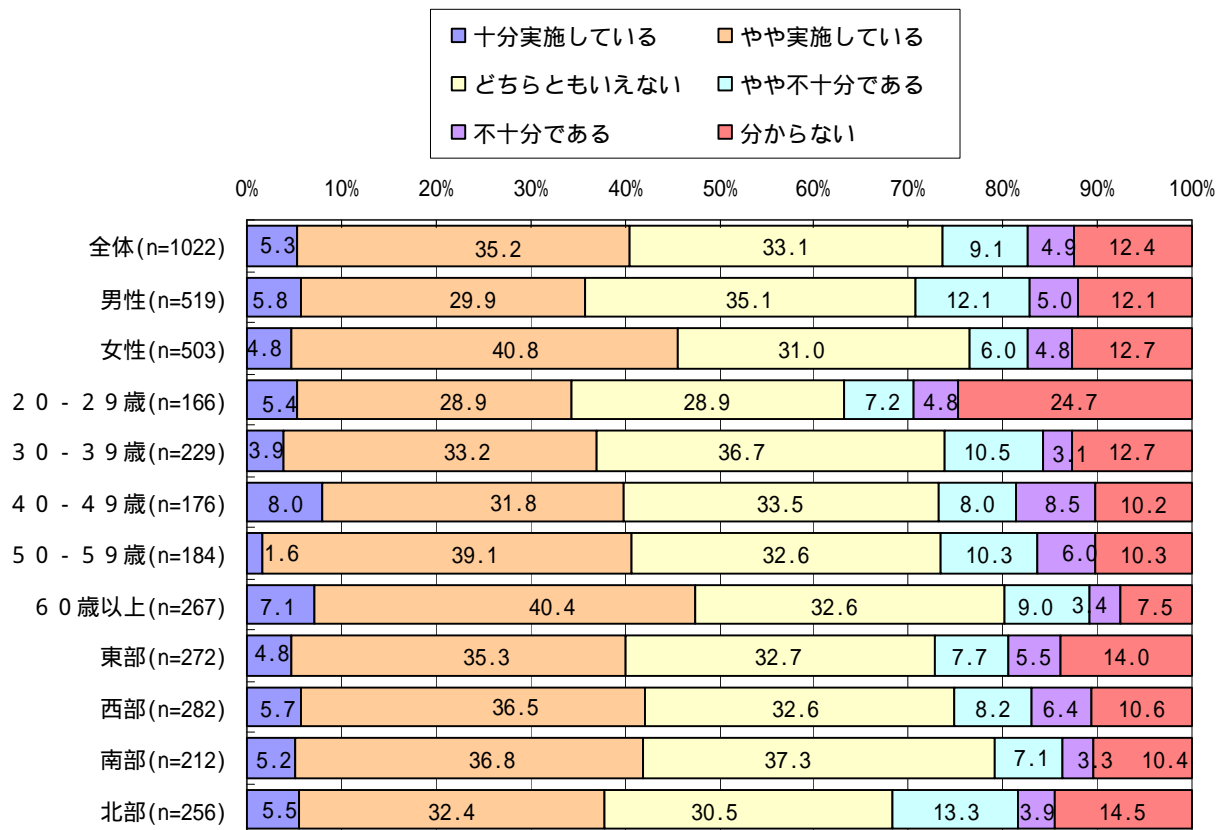
(8) ごみの減量・リサイクル



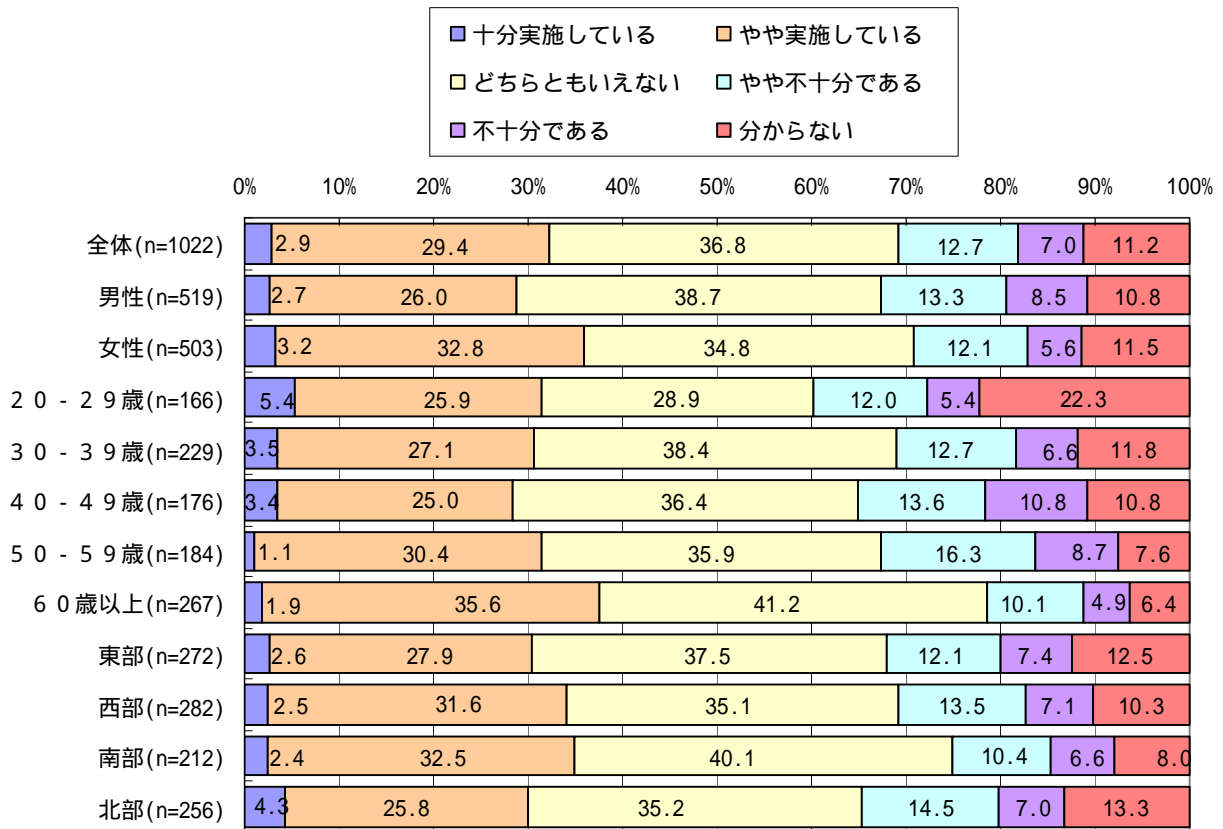
(9) 生活環境の保全 (公害対策)



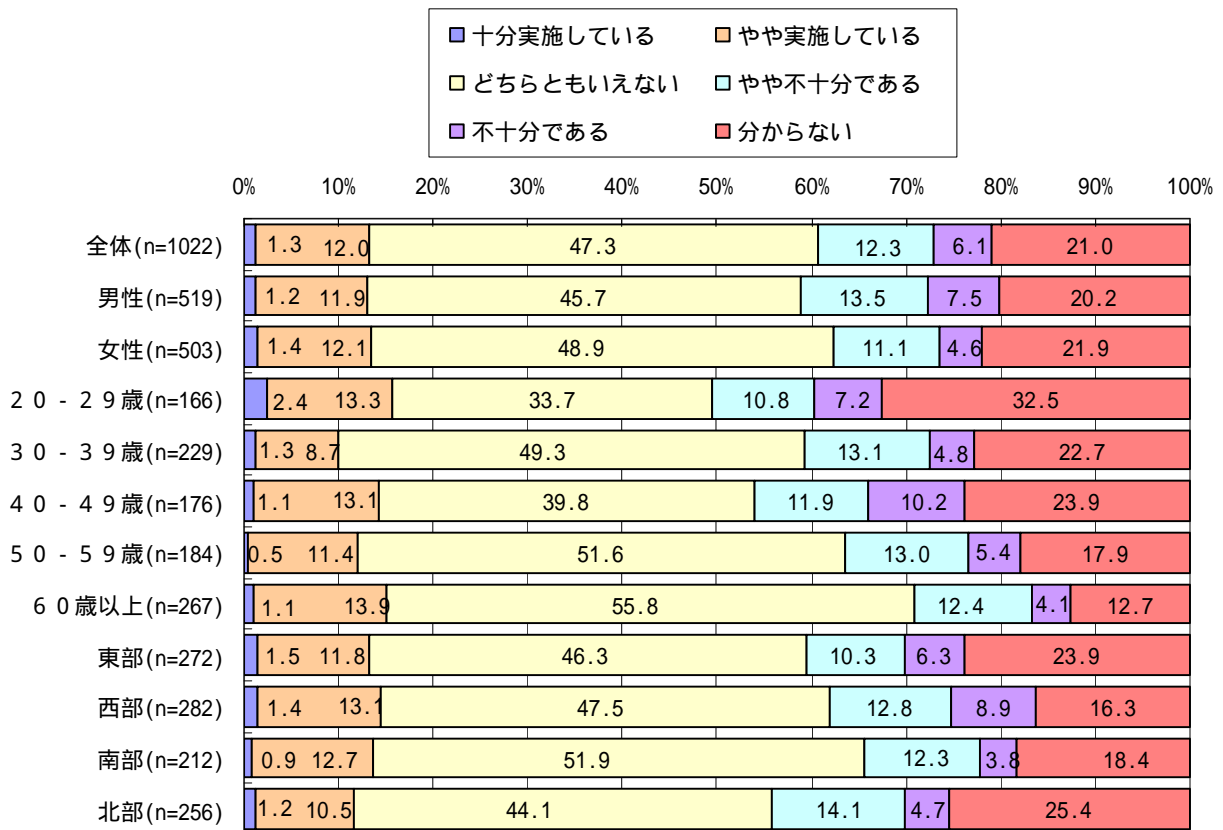
(10) 横浜らしい景観の保全



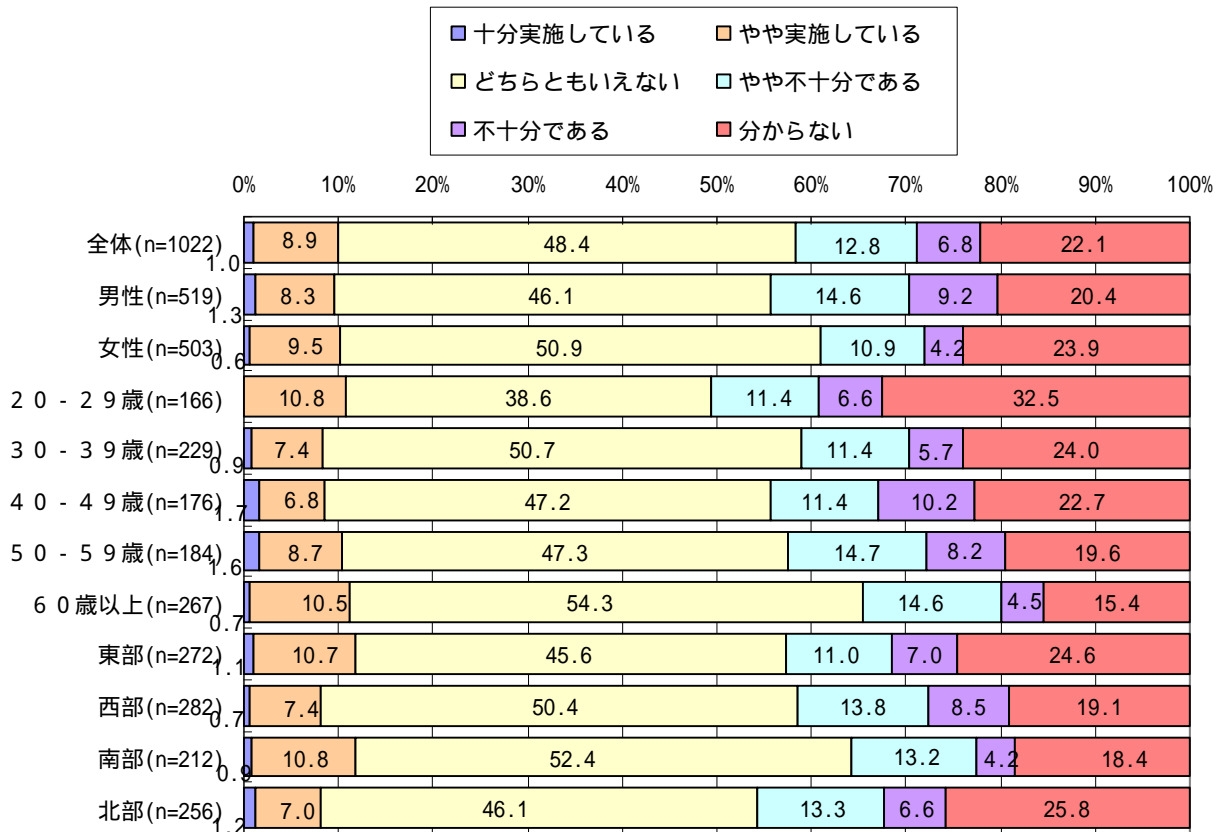
(11) まちの美化



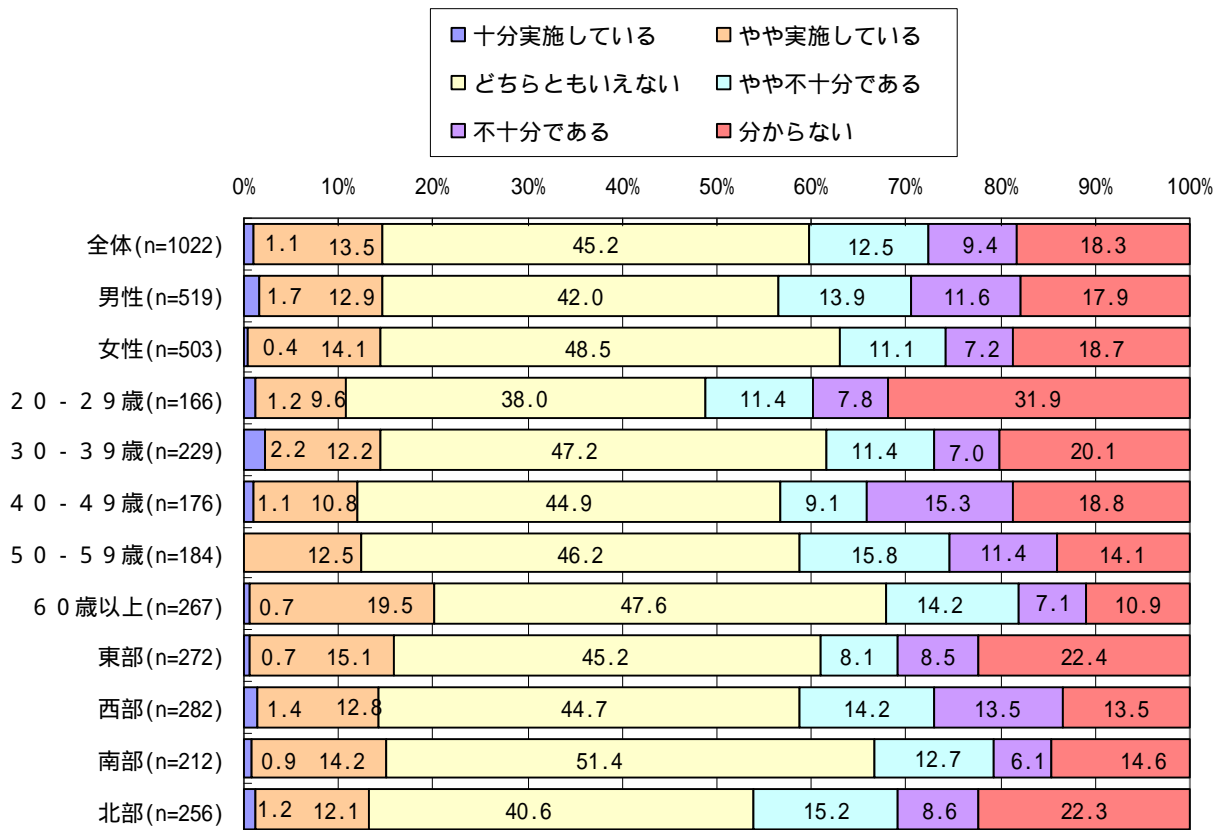
(12) 環境教育・環境学習の推進



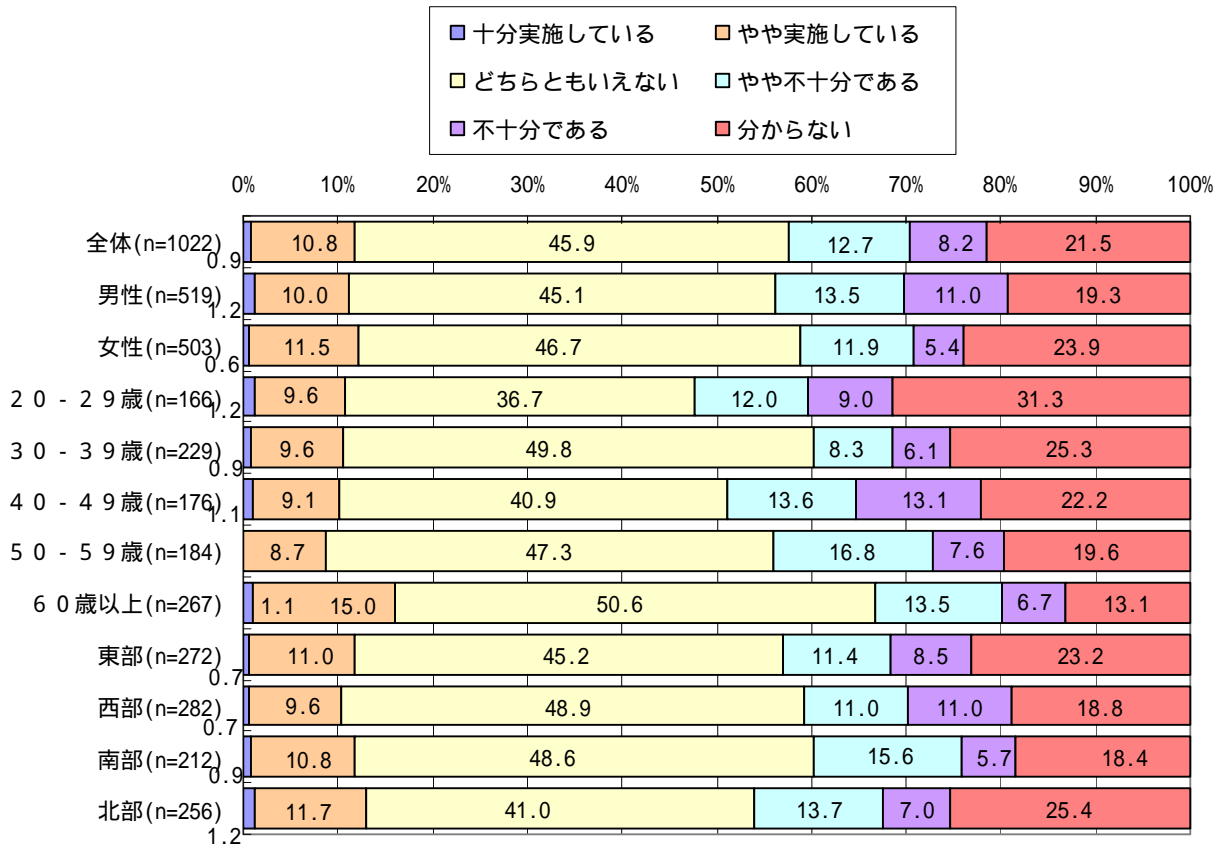
(13) 環境配慮型製品の普及



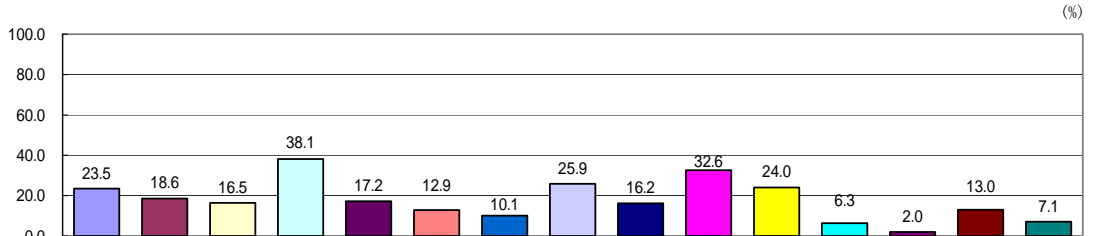
(14) 道路整備や再開発事業等における環境配慮



(15) 市民・企業・行政の協働

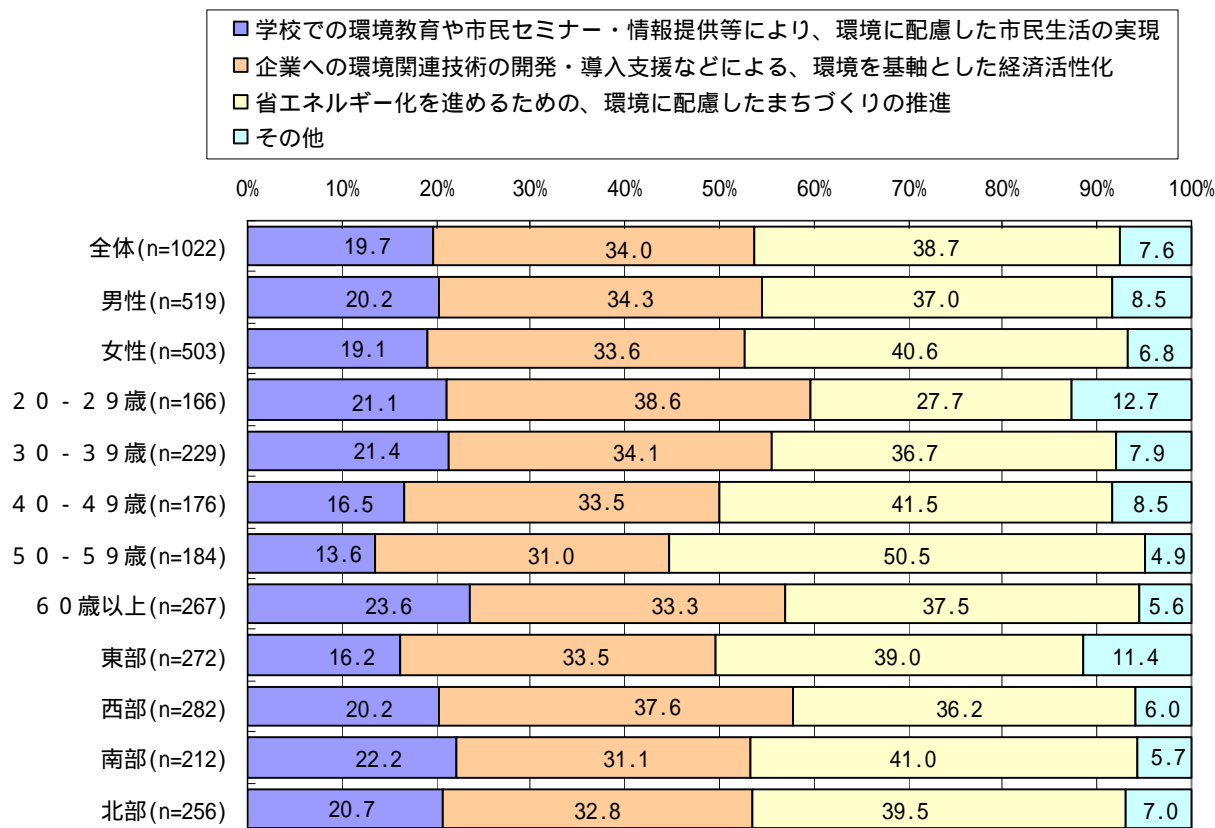


Q32. Q31の(1)~(15)のうち、今後、横浜市に優先的に取り組んで欲しい事項は何ですか。3つお選び下さい。

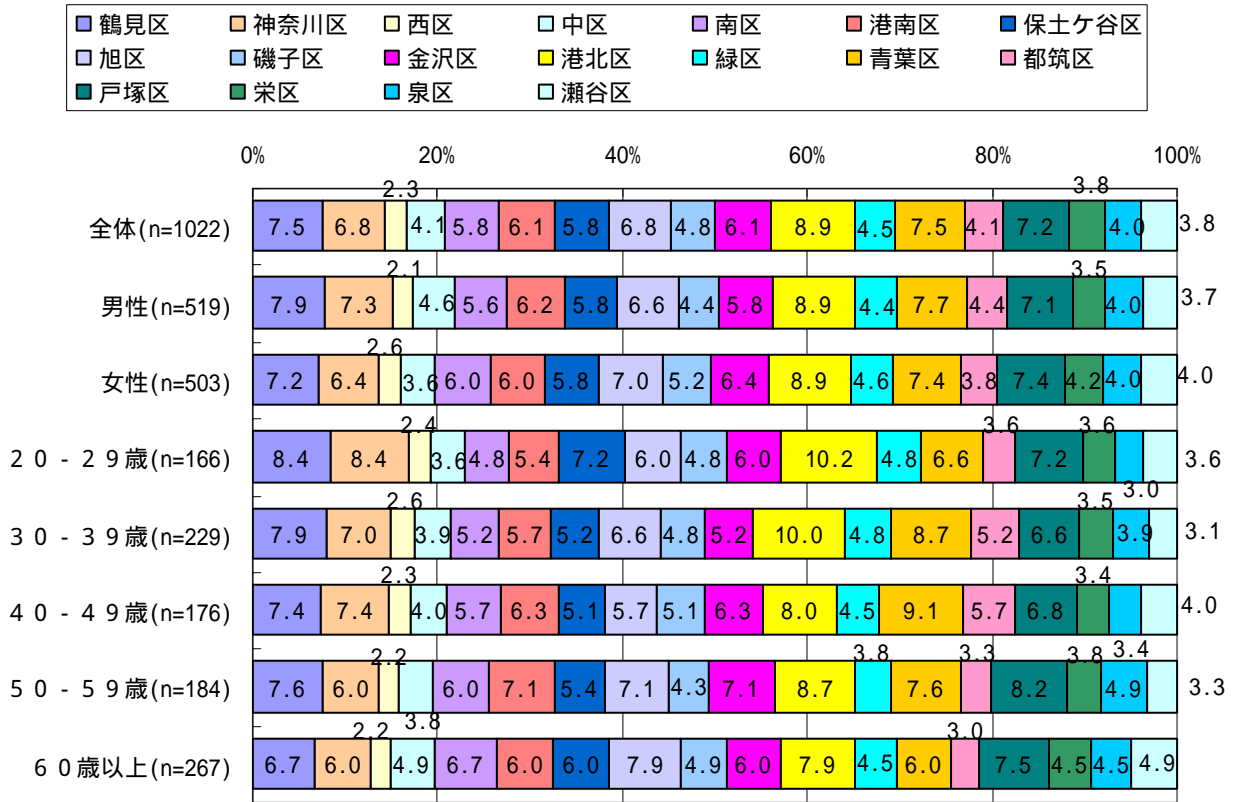


	地球温暖化防止への取組	省エネルギーや新エネルギーの利用の取組	郊外部のまとまった緑の保全	公園や、道路や河川沿いの緑の保全・創出	港や海辺の緑化などによる環境整備	水の循環機能の強化	生物多様性の保全や、外来生物対策	ごみの減量・リサイクル	生活環境の保全（公害対策）	横浜らしい景観の保全	まちの美化	環境教育・環境学習の推進	環境配慮型製品の普及	道路整備や再開発事業等における環境配慮	市民・企業・行政の協働
全体 (n=1022)	23.5	18.6	16.5	38.1	17.2	12.9	10.1	25.9	16.2	32.6	24.0	6.3	2.0	13.0	7.1
男性 (n=519)	20.2	18.1	19.8	44.3	19.1	11.2	11.4	22.0	11.9	29.1	26.4	5.2	1.5	13.5	7.3
女性 (n=503)	26.8	19.1	13.1	31.6	15.3	14.7	8.7	30.0	20.7	36.2	21.5	7.4	2.4	12.5	7.0
20 - 29歳 (n=166)	18.7	21.1	9.0	28.9	20.5	15.1	5.4	26.5	13.9	33.1	34.3	4.8	1.2	6.0	11.4
30 - 39歳 (n=229)	21.0	14.4	14.8	39.3	17.9	11.4	12.2	29.3	16.2	27.9	27.1	6.6	1.3	10.0	4.8
40 - 49歳 (n=176)	26.1	15.3	19.9	39.2	20.5	10.2	10.2	23.9	19.3	31.8	25.6	8.5	4.0	9.1	4.0
50 - 59歳 (n=184)	24.5	19.0	18.5	37.0	16.8	13.0	11.4	26.6	12.5	37.0	20.1	5.4	1.1	17.9	8.7
60歳以上 (n=267)	26.2	22.5	19.1	42.7	12.7	14.6	10.1	23.6	18.4	33.7	16.5	6.0	2.2	19.1	7.5
東部 (n=272)	21.7	21.0	14.7	36.0	22.1	13.6	9.6	27.2	12.9	39.7	26.5	3.3	1.1	6.3	6.3
西部 (n=282)	24.5	20.6	14.2	37.9	13.5	12.4	9.9	26.6	19.1	30.9	23.0	8.5	2.1	19.5	8.5
南部 (n=212)	24.5	15.6	19.3	35.4	18.4	11.8	10.4	22.2	19.3	33.0	24.5	5.2	2.8	13.7	7.1
北部 (n=256)	23.4	16.4	18.8	42.6	15.2	13.7	10.5	27.0	14.1	26.6	21.9	7.8	2.0	12.5	6.6

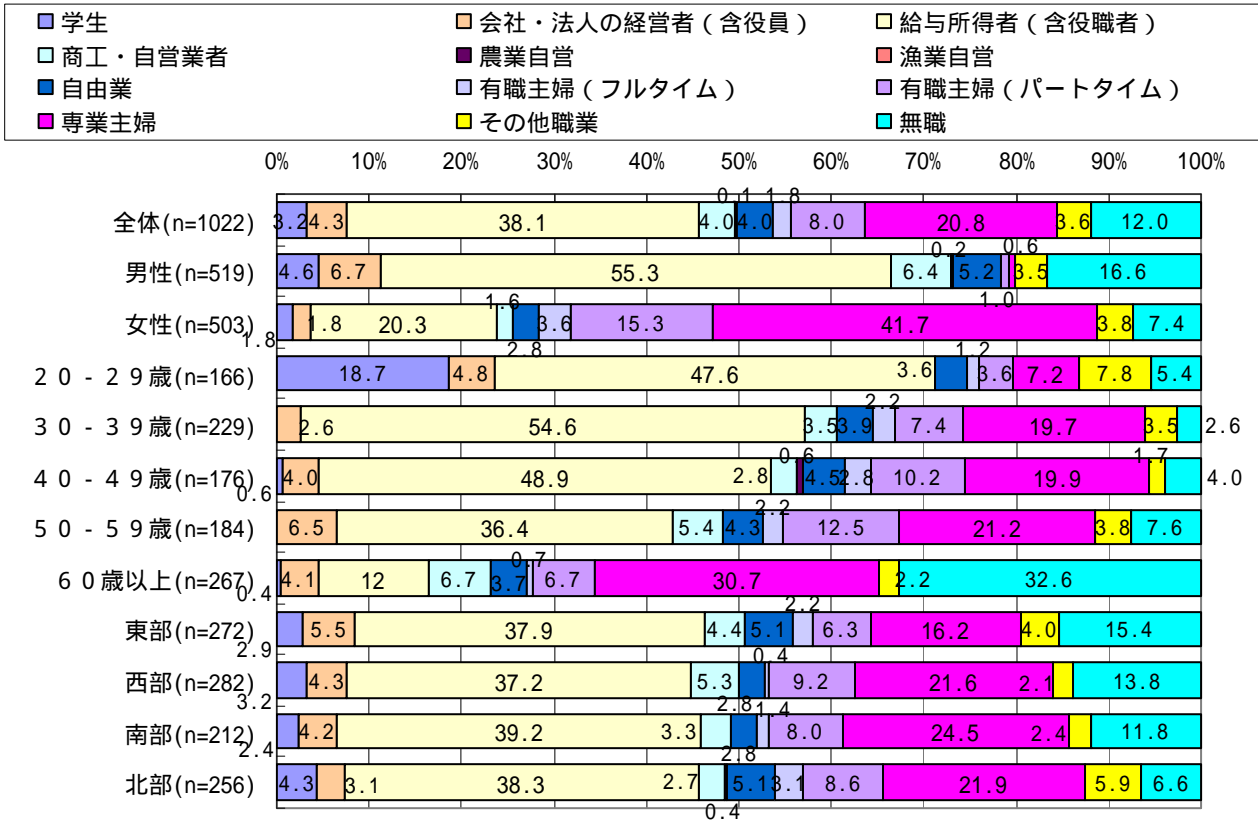
Q33. 市の施策・事業の実施には予算が限られている中で、市内での環境に配慮した取組や行動が実践されるようになるためには、どのような分野で注力すべきだと考えますか。当てはまるものを1つだけお選び下さい。



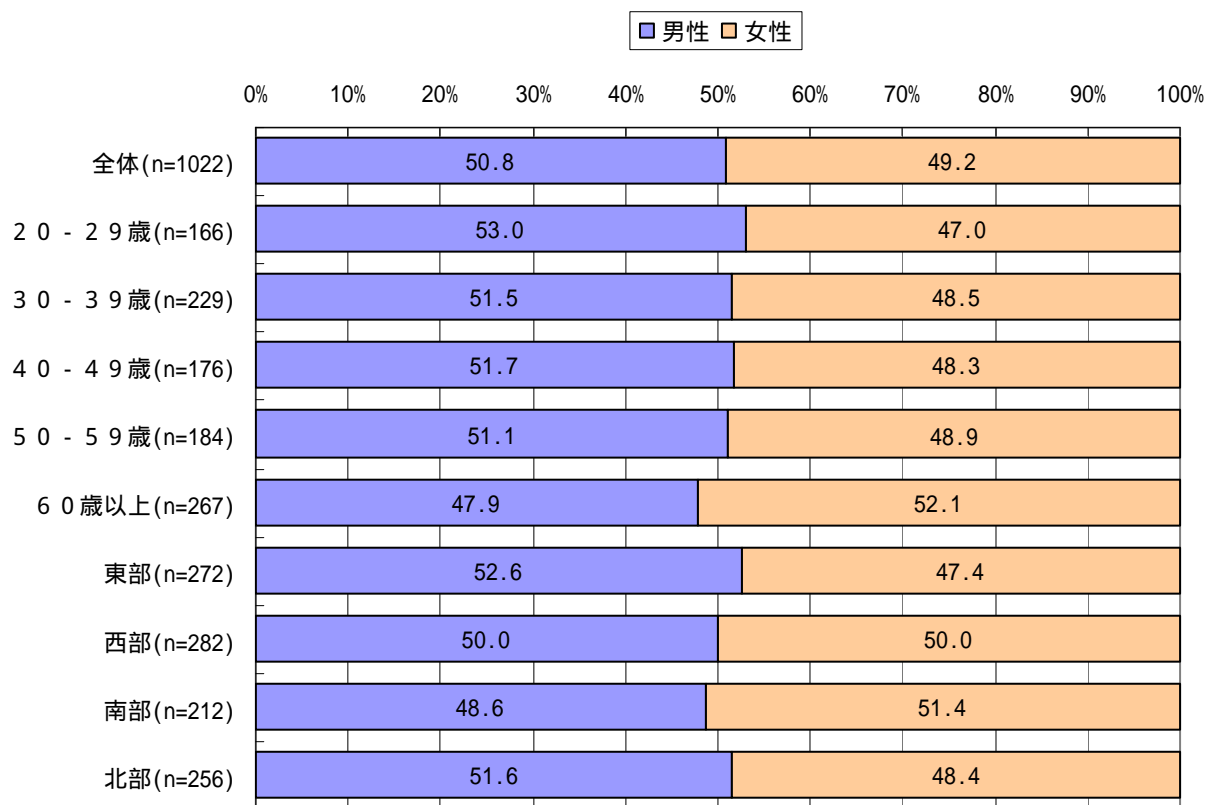
居住地区



職業



性別



年代

